

第3回 栗原市総合計画審議会

日時：令和7年11月26日（水）

午後1時30分から

場所：栗原市役所2階 205・206 会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

(1)第3次栗原市総合計画策定に関するアンケート調査結果について

- ・市民アンケート調査 (資料1-1)
- ・結婚・出産・子育てに関する意識調査 (資料1-2)
- ・若者意識調査 (資料1-3)

(2)第3次栗原市総合計画策定に係る事業報告について

- ・まちづくり若者ワークショップ (資料2)

4 その他

今後のスケジュールについて

5 閉 会

栗原市総合計画審議会委員名簿

任期 令和7年1月24日から

令和9年1月23日まで

	氏 名	住 所	職 名 等	条例 区分	備 考
1	西野 晃司	栗原市築館	東北職業能力開発大学校 建築施工システム技術科 職業能力開発教授	1号	
2	中田 千彦	黒川郡大和町	宮城大学事業構想学群 教授		
3	吉田 浩	仙台市青葉区	東北大学大学院経済学研究科 高齢経済社会研究センター長 教授（加齢経済）		
4	高橋 文彦	栗原市一迫	栗原市農業委員会委員	2号	
5	黒澤 恵里	栗原市高清水	栗原市教育委員会委員		
6	千葉 五月	栗原市築館	築館地区金融団当番推薦	3号	
7	大川 道子	栗原市志波姫	栗原市社会福祉協議会		
8	三浦 淳子	栗原市築館	栗原市保健推進員		
9	狩野 周一	栗原市花山	栗駒高原森林組合代表理事組合長		
10	三浦 直子	栗原市栗駒	栗駒鶯沢商工会女性部長		
11	狩野 良太	栗原市築館	栗原市PTA連合会会長		
12	柴山 均	栗原市若柳	新みやぎ農業協同組合 地区筆頭理事（栗っこ地区）		
13	三浦 勝雄	栗原市若柳	栗原市民生委員児童委員協議会会長		
14	千葉 節朗	栗原市若柳	栗原市企業連絡協議会会長		
15	高橋 寛	栗原市鶯沢	一般社団法人栗原市観光物産協会会長		
16	小野寺 美葉	栗原市志波姫	一般社団法人栗原青年会議所		
17	中條 久美子	栗原市築館	築館地区代表	4号	
18	伊藤 直美	栗原市若柳	若柳地区代表		
19	狩野 常幸	栗原市栗駒	栗駒地区代表		
20	佐々木 篤志	栗原市高清水	高清水地区代表		
21	三浦 華子	栗原市一迫	一迫地区代表		
22	高橋 史仁	栗原市瀬峰	瀬峰地区代表		
23	蘇武 由香利	栗原市鶯沢	鶯沢地区代表		
24	松好 隆美	栗原市金成	金成地区代表		
25	星 光	栗原市志波姫	志波姫地区代表		
26	中條 友紀	栗原市花山	花山地区代表		

※総合計画審議会条例

第2条第2項第1号 知識経験のある者

第2条第2項第2号 行政委員会の委員

第2条第2項第3号 公共的団体の役員又は職員

第2条第2項第4号 その他市長が適当と認める者

第3次栗原市総合計画策定に関する

市民アンケート調査



令和7年11月
栗原市

(1) 目的

令和9年度から令和18年度までの10年間を計画期間としている「第3次栗原市総合計画」の策定にあたり、市民アンケートを実施し、これまでの市の取り組みを評価していただき、その結果を計画に反映するために実施したもの。

(2) 調査対象

栗原市在住の18歳以上の市民から2,500人を無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布・回収、及びインターネットによる回答の併用

(4) 実施時期

配布 令和7年9月12日

回収 令和7年9月30日

(5) 回収件数及び回収率

回収件数 948件（うち紙面による回収件数691件、webによる回収件数257件）

回収率 37.9%

(6) 調査結果

グラフの構成比の端数処理については四捨五入の関係から合計が100.0%にならない場合がある。

①回答者の属性（性別・年齢・家族構成・職業・居住地・居住年数・出身地） P 2

②定住意向 P 4

③総合計画の周知度 P 6

④全年代満足度優先度散布図 P 7

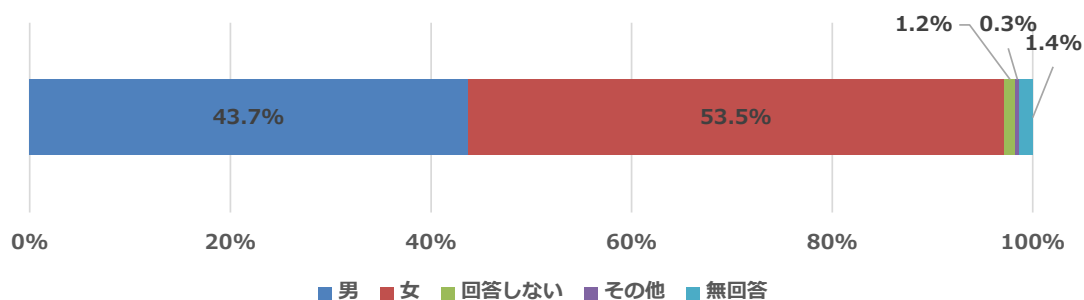
⑤将来像別満足度・優先度（分析） P 9

⑥将来像別年代別満足度・優先度（分析） P 11

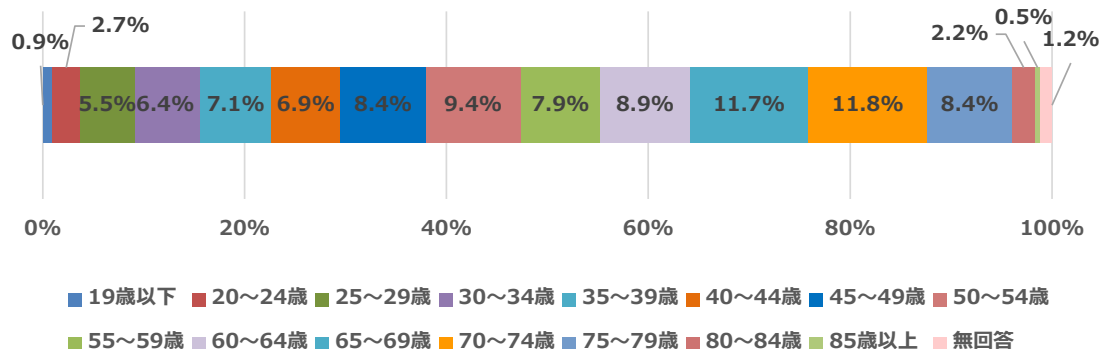
⑦基本方針別満足度・優先度（分析） P 21

①回答者の属性（性別・年齢・家族構成・職業・居住地・居住年数・出身地）

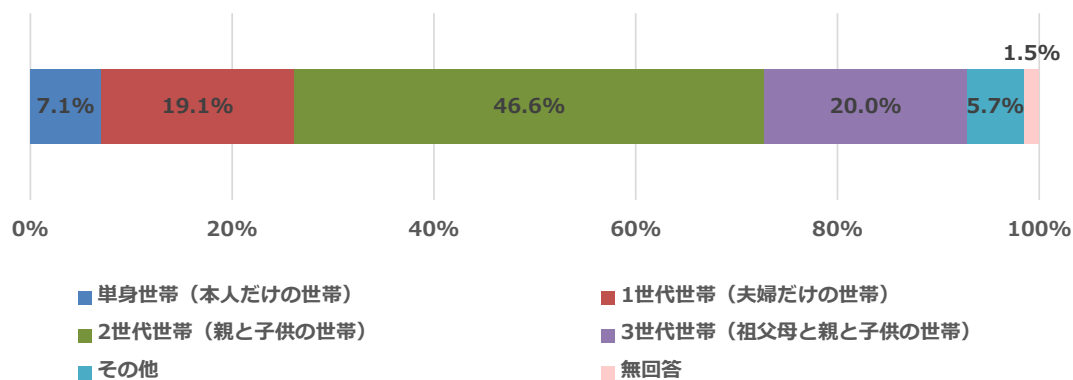
◆性別



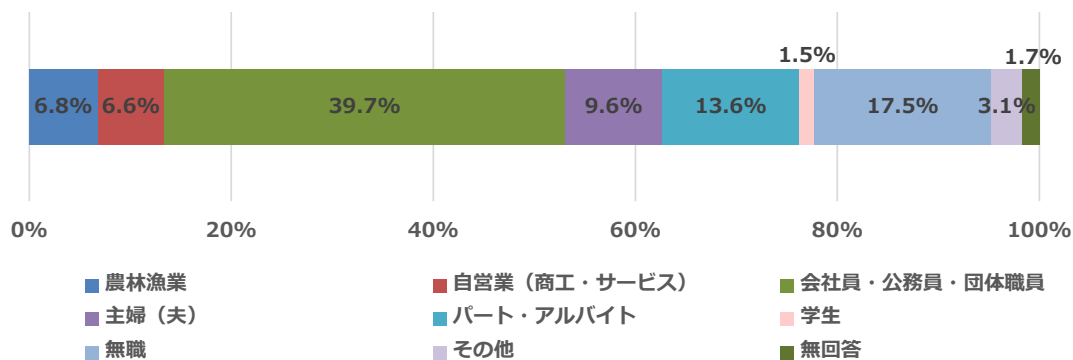
◆年齢



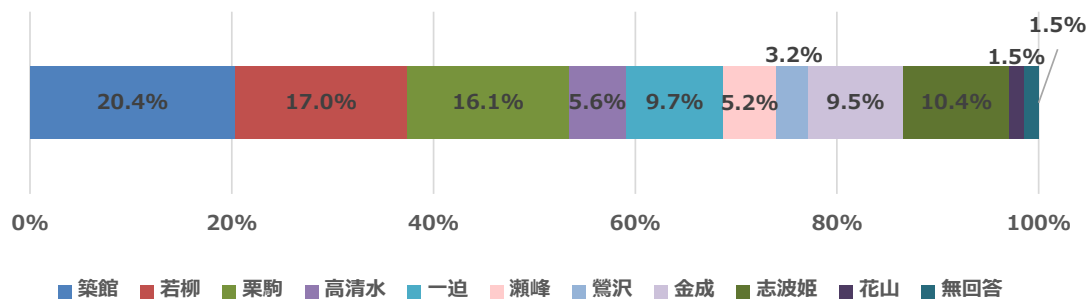
◆家族構成



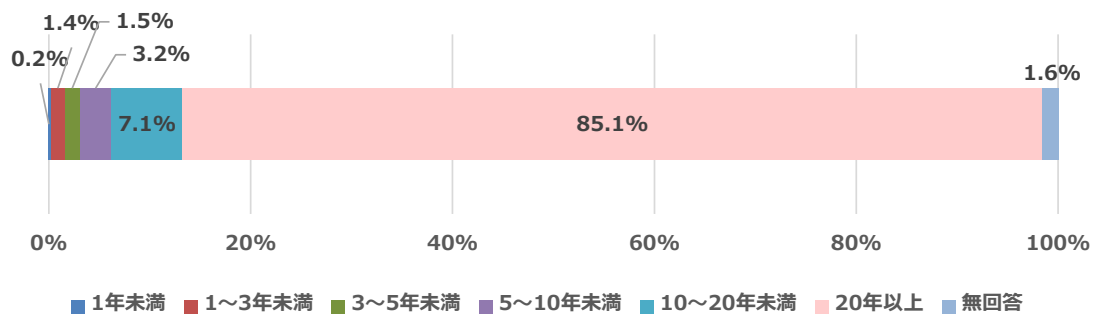
◆職業



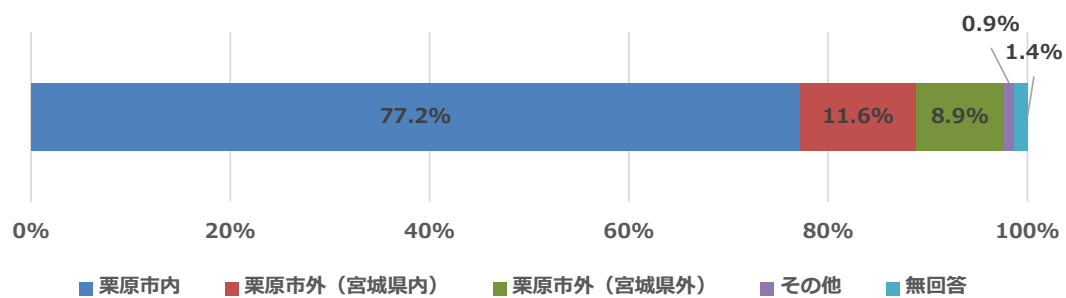
◆居住地



◆居住年数

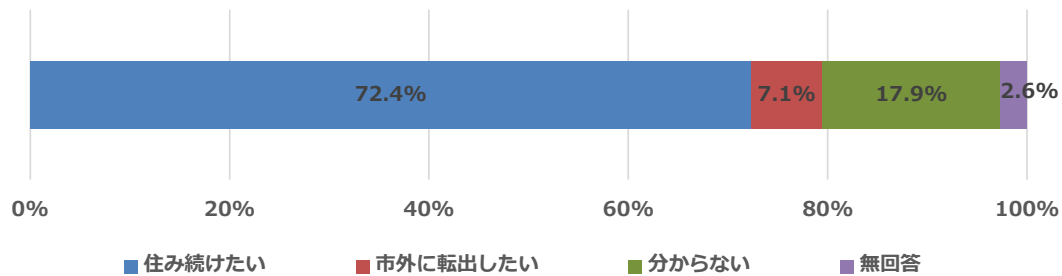


◆出身地

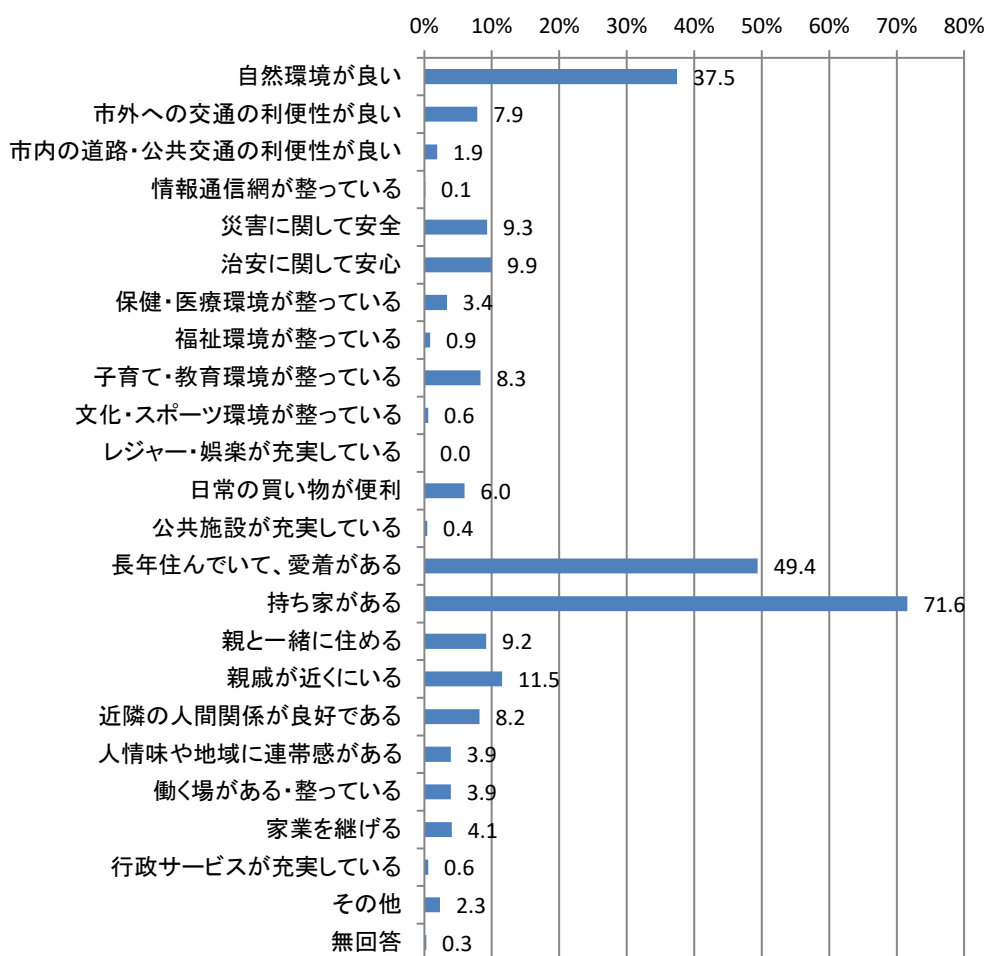


②定住意向

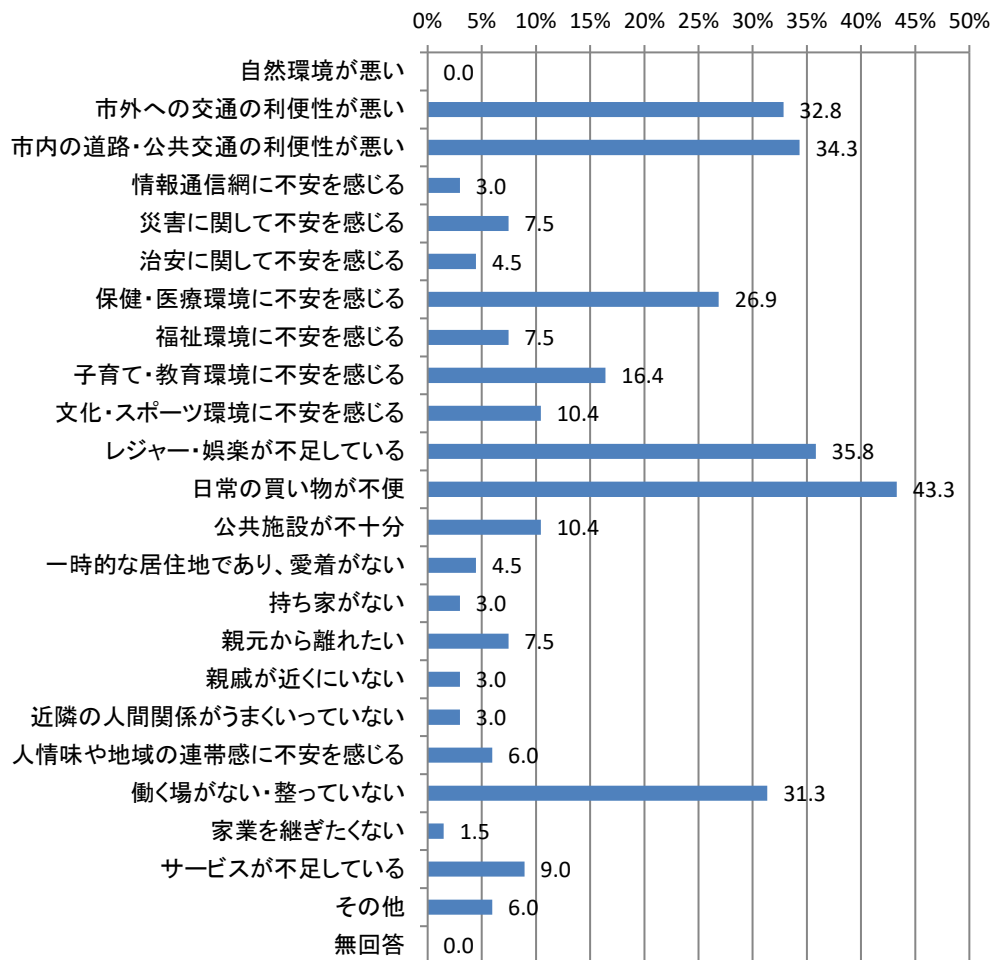
◆これからも栗原市に住み続けたいか



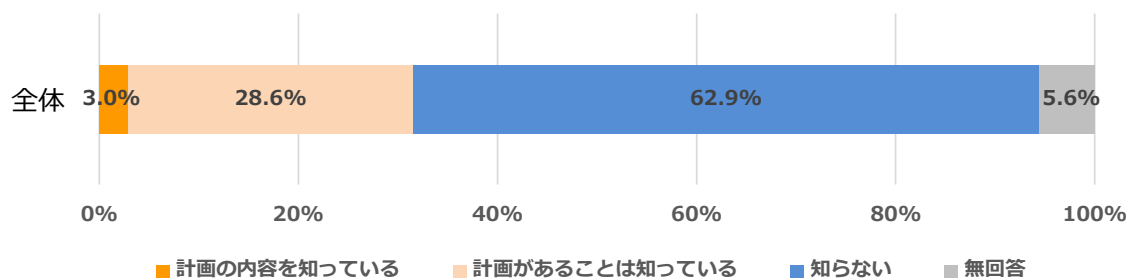
◆住み続けたい理由（複数回答）



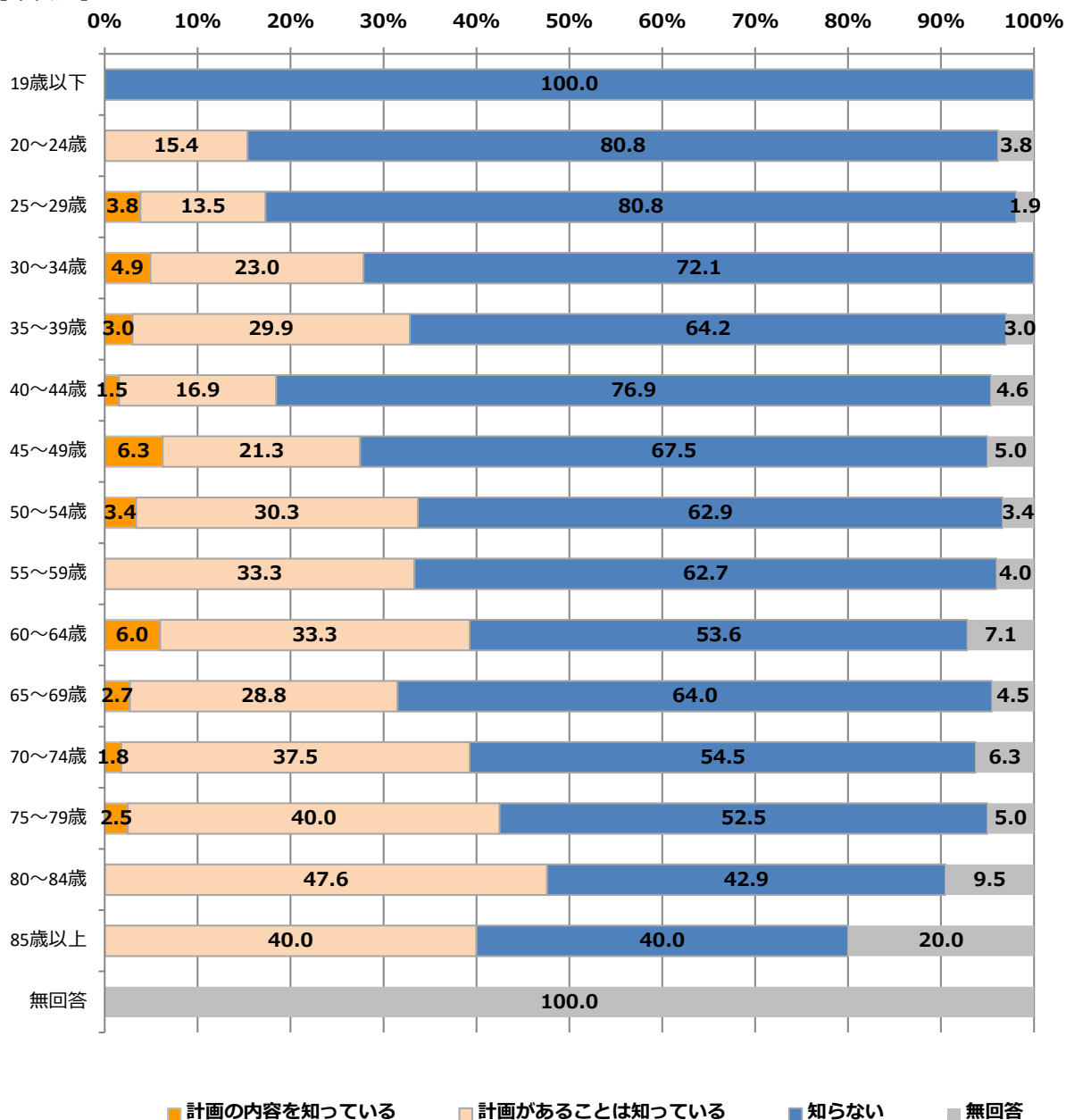
◆栗原市外に転出したい理由（複数回答）



③総合計画の周知度



【年代別】



④ 全年代満足度優先度散布図

第2次栗原市総合計画の施策毎の満足度・優先度について、相関性を把握するため散布図を作成した。
回答選択肢 1（満足、高い）から回答選択肢 4（不満、低い）まで、それぞれ 1 点から 4 点を与え、加重平均を算出した。

なお、回答選択肢 5「わからない」及び「無回答」のサンプルは集計対象から除外している。

$$\text{満足度点数} = \frac{[\text{「満足」(票数)} \times 4 \text{ 点} + \text{「やや満足」(票数)} \times 3 \text{ 点} + \text{「やや不満」(票数)} \times 2 \text{ 点} + \text{「不満」(票数)} \times 1 \text{ 点}]}{\text{回答総数（「わからない」「無回答等」を除く）}}$$

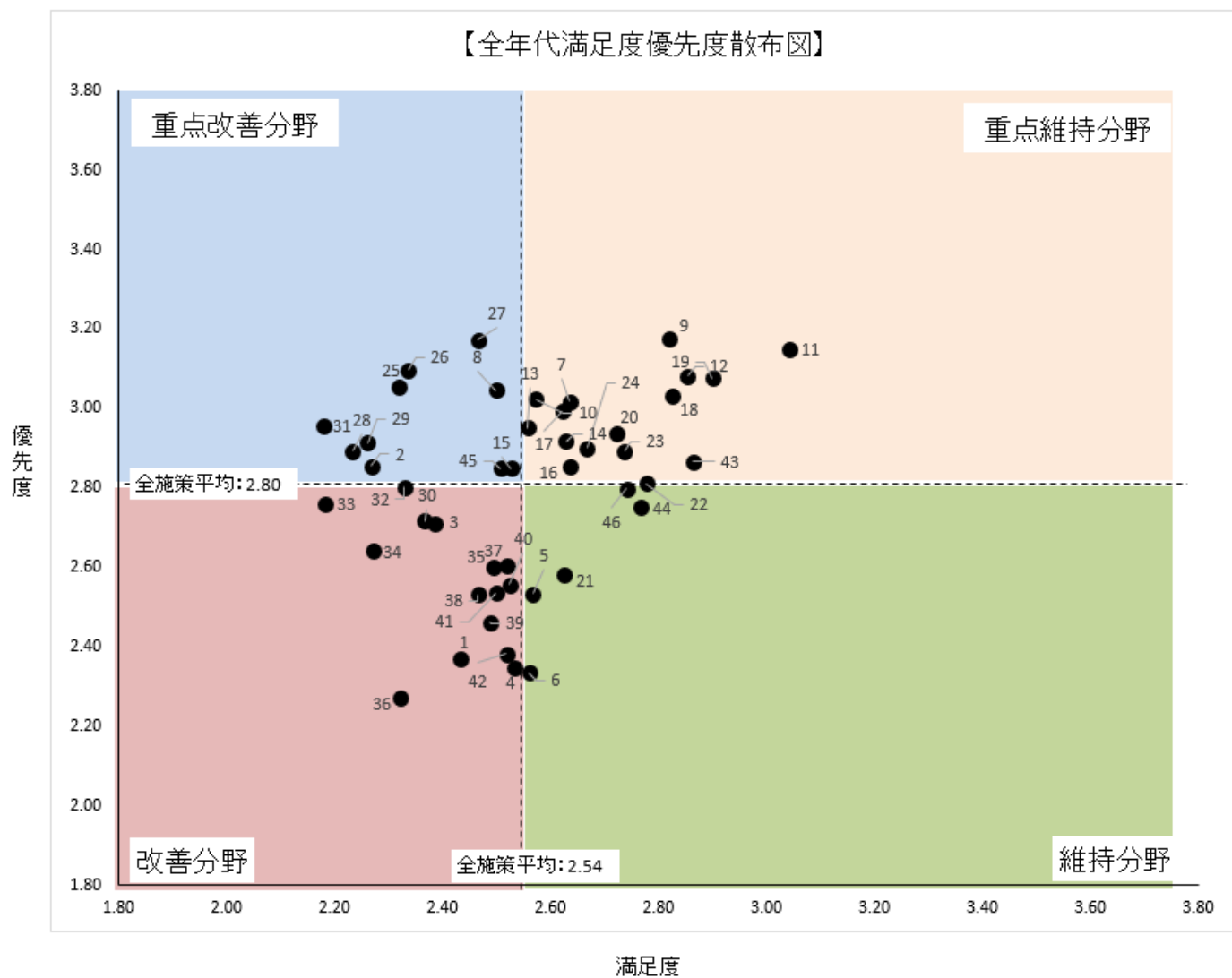
$$\text{優先度点数} = \frac{[\text{「高い」(票数)} \times 4 \text{ 点} + \text{「やや高い」(票数)} \times 3 \text{ 点} + \text{「やや低い」(票数)} \times 2 \text{ 点} + \text{「低い」(票数)} \times 1 \text{ 点}]}{\text{回答総数（「わからない」「無回答等」を除く）}}$$

点数化の結果は以下の通り。

第2次栗原市総合計画			得点	
将来像	基本方針	施策	満足度 得点	優先度 得点
Ⅰ 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために	美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	1 美しい景観の保全・維持	2.43	2.37
		2 生活環境の整備	2.27	2.86
		3 移住・定住の促進	2.39	2.71
	豊かな心と文化を育み、障害を通して学べるまちづくりを目指します	4 文化芸術活動への支援	2.53	2.35
		5 生涯学習を楽しめる環境づくり	2.57	2.53
		6 歴史遺産や伝統文化の保護	2.56	2.33
	安全・安心なまちづくりを推進します	7 防災・減災の推進	2.64	3.02
		8 防犯及び交通事故防止	2.50	3.05
		9 消防・救急体制の充実	2.82	3.17
Ⅱ 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育みまちを創るために	結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します	10 結婚・妊娠・出産への支援	2.57	3.02
		11 子どもの保健・医療・福祉の充実	3.04	3.15
		12 子育て環境の充実	2.85	3.08
	次代を担うたくましい子どもを育成します	13 子どもの学力向上	2.56	2.95
		14 子どもの人間性と社会性の育成	2.63	2.92
		15 子どもの心と体の育成	2.53	2.85
	人とながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します	16 学校・家庭・地域の連携・協働	2.64	2.85
		17 配慮が必要な子どもへの支援	2.62	2.99
		18 教育環境の充実	2.83	3.03
Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために	誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	19 健康増進の推進	2.90	3.08
		20 障がい者への支援	2.72	2.94
		21 スポーツ活動への支援	2.63	2.58
	高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します	22 高齢者の社会参加への支援	2.78	2.81
		23 介護予防の推進	2.74	2.89
		24 在宅生活への支援	2.67	2.90
	市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります	25 市立病院の機能維持	2.32	3.05
		26 医療人材確保と育成	2.34	3.10
		27 地域医療の維持	2.47	3.17
Ⅳ 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために	持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます	28 農業者等の育成	2.23	2.89
		29 農林業の生産基盤等の強化	2.26	2.91
		30 6次産業化への支援	2.37	2.72
	産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	31 企業誘致の推進	2.18	2.96
		32 企業の育成・支援	2.33	2.80
		33 商店街づくりへの支援	2.18	2.76
	地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します	34 観光戦略の構築	2.27	2.64
		35 交流人口の拡大	2.50	2.60
		36 国内・国際交流の推進	2.32	2.27
Ⅴ 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために	小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	37 コミュニティの活性化を支援	2.52	2.61
		38 地域の活性化を支援	2.47	2.53
		39 自治会間の連携を支援	2.49	2.46
	市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	40 自治会活動への支援	2.52	2.56
		41 公益活動を行う団体の育成	2.50	2.54
		42 男女共同参画の推進	2.52	2.38
	市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	43 行政サービスの充実	2.86	2.87
		44 広報・広聴の充実	2.77	2.75
		45 健全な行財政運営の推進	2.51	2.85
放射能対策プロジェクト 放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち		46 安全・安心な暮らしの維持	2.74	2.80
平均			2.54	2.80

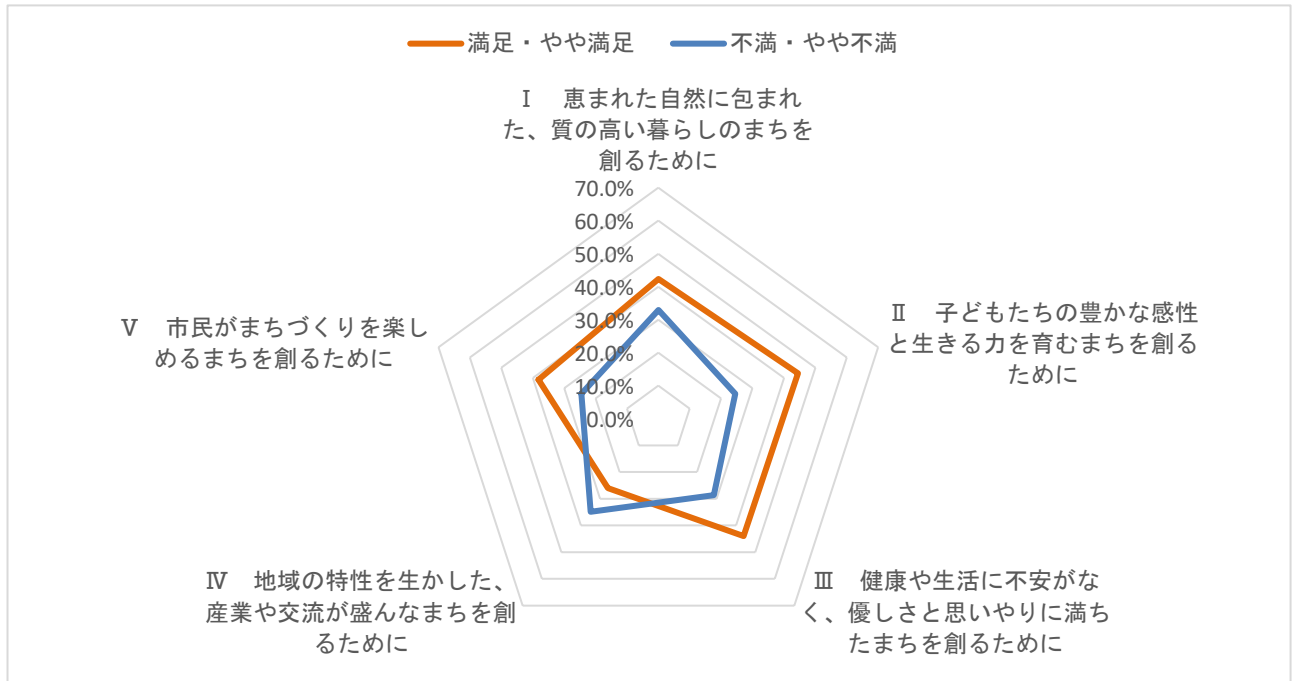
点数化をもとに、分布図を以下の分野区分のもとで作成した。

- 重点改善分野：優先度は高いが満足度が低く、重点的な改善が望まれる分野
- 重点維持分野：優先度も満足度も高い状態を重点的に維持することが望まれる分野
- 改善分野：優先度も満足度も低く、改善が望まれる分野
- 維持分野：優先度は低いが満足度は高く、現状維持が望まれる分野



⑤将来像別 満足度・優先度【分析】

【満足度】

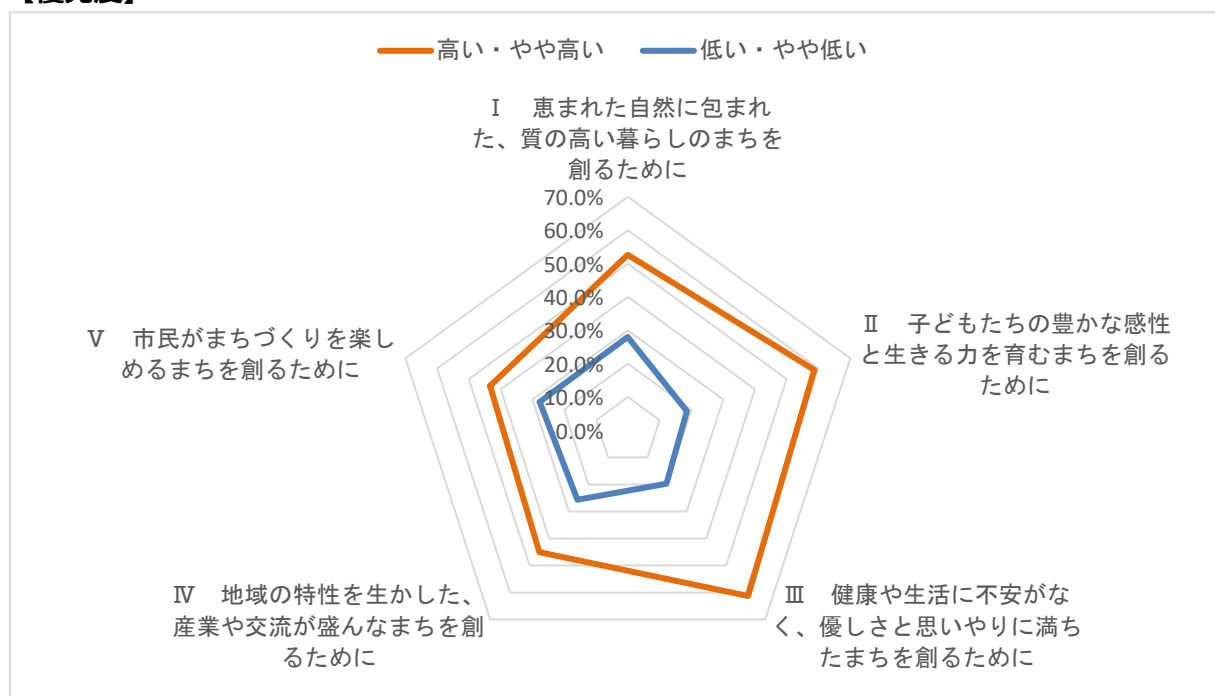


	満足・やや満足	不満・やや不満	わからない
I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために	42.4%	33.0%	22.0%
II 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために	44.5%	24.5%	28.5%
III 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために	44.0%	28.6%	24.7%
IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために	26.0%	34.9%	35.6%
V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために	38.2%	24.5%	33.4%

◆考察

・「満足・やや満足」が最も多かったのは、「II 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」の 44.5%、次いで「III 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の 44.0%、「I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」の 42.4%、「V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」の 38.2%、と続き、これらはいずれも「不満・やや不満」の割合を上回っている。しかし、「満足・やや満足」が 26.0%と最も少なかった、「IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」は、「不満・やや不満」の割合 34.9%が上回っており、市民の評価が厳しい状況となっている。これらの傾向から、子育てや健康、福祉に関する施策である将来像 II 及び III は、市民生活に最も身近なため実感しやすく、「満足・やや満足」が多いが、将来像 IV は、「わからない」の回答が 35.6%と最も多いことから、産業振興策に対する市民の認知度が低く、そのことが満足度の少なさにつながっていると考えられる。

【優先度】



	高い・やや高い	低い・やや低い	わからない
I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために	52.6%	28.0%	14.9%
II 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために	58.7%	18.6%	18.2%
III 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために	61.3%	19.7%	14.1%
IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために	45.1%	25.6%	23.8%
V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために	43.3%	27.7%	23.2%

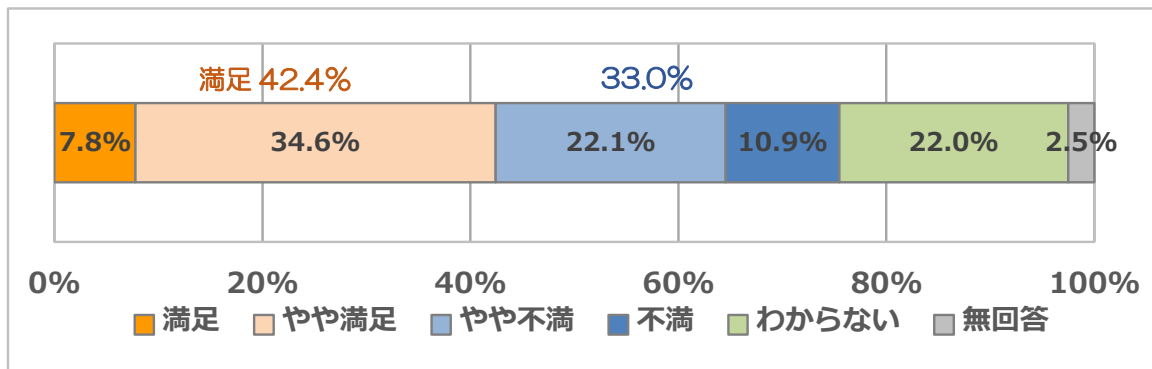
◆考察

・「高い・やや高い」が最も多かったのは、「III 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の 61.3%、次いで「II 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」の 58.7%、「I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」の 52.6%、「IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の 45.1%と続き、最も少なかったのは、「V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」の 43.3%となっている。

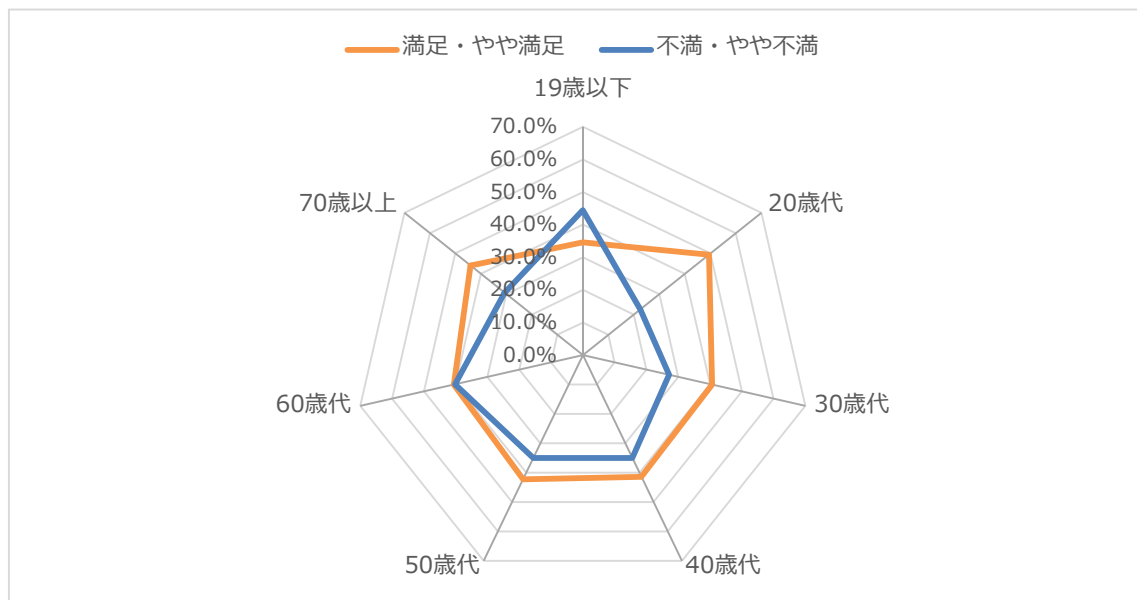
⑥将来像別 年代別 満足度・優先度【分析】

I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために

【満足度】



◆年代別満足度

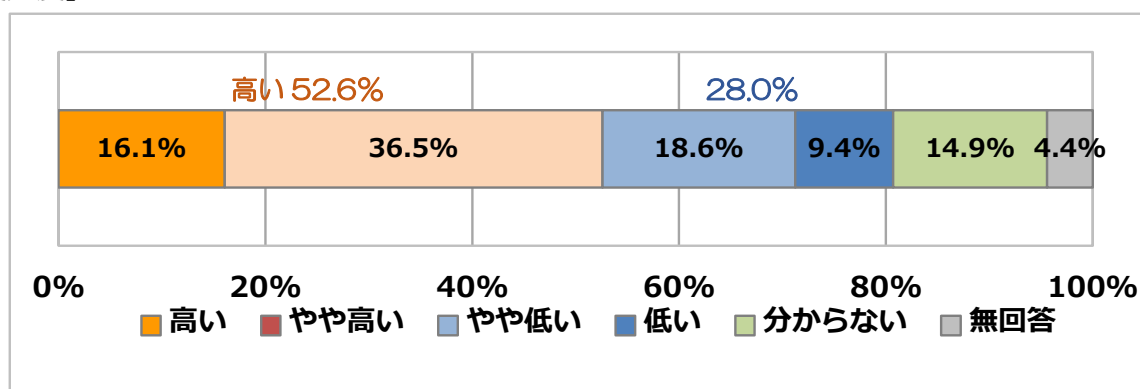


	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足・やや満足	34.6%	49.4%	40.6%	41.4%	42.3%	40.6%	44.0%
不満・やや不満	44.4%	22.5%	27.2%	35.0%	35.0%	40.2%	30.7%

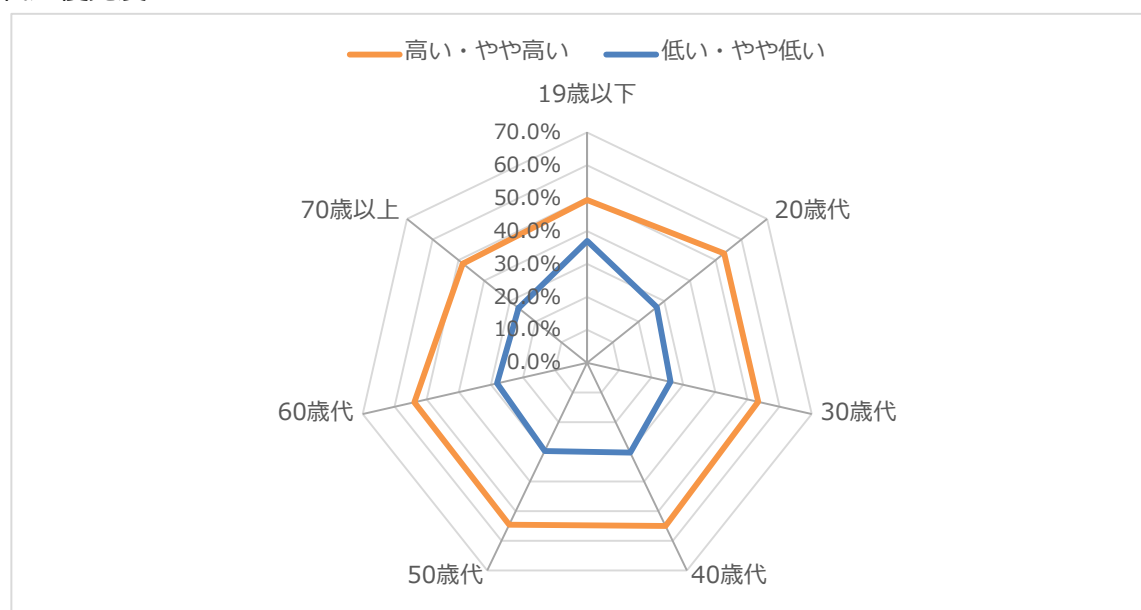
◆考察

- ・「将来像 I 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」の満足度では、19 歳以下の満足度 34.6%以外は、どの年代も 40%以上となっている。「不満・やや不満」は、19 歳以下の 44.4%が最も多く、次いで 60 歳代の 40.2%となっている。
- ・19 歳以下のみが、「満足・やや満足」よりも「不満・やや不満」が多く、他の年代とは異った傾向を示している。

【優先度】



◆年代別優先度



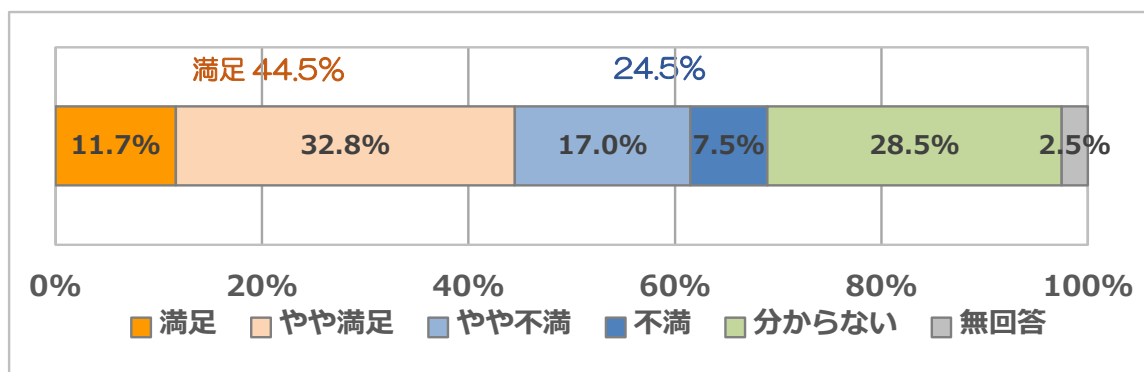
	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
高い・やや高い	49.4%	53.3%	53.4%	55.0%	54.6%	53.9%	48.3%
低い・やや低い	37.0%	27.1%	26.0%	30.3%	29.7%	28.0%	26.6%

◆考察

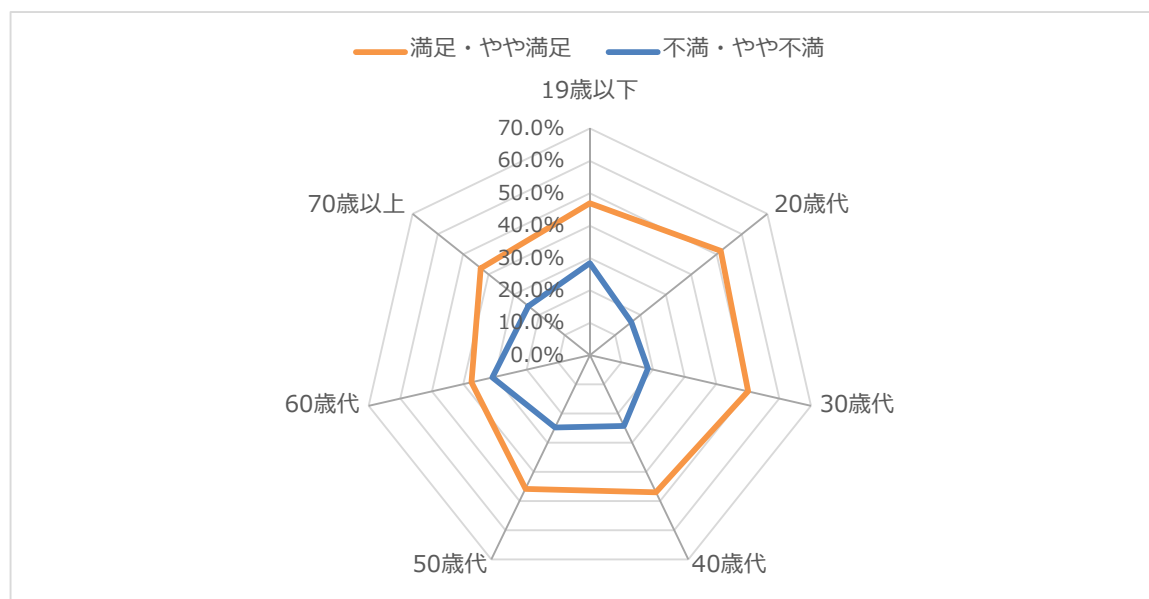
- ・「将来像Ⅰ 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために」の優先度では、19歳以下と70歳以上の優先度が40%代となっており、20歳以上～60歳代では50%代を占めている。「低い・やや低い」は、19歳以下の37.0%が最も多く、次いで40歳代の30.3%となっている。

Ⅱ 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために

【満足度】



◆年代別満足度

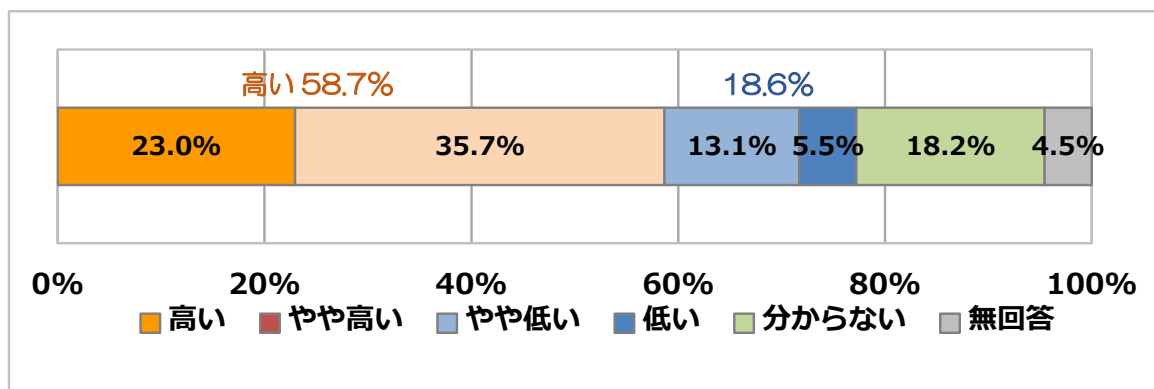


	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足・やや満足	46.9%	51.7%	50.1%	47.0%	45.8%	37.5%	43.1%
不満・やや不満	28.4%	16.4%	18.4%	24.2%	24.8%	30.8%	24.3%

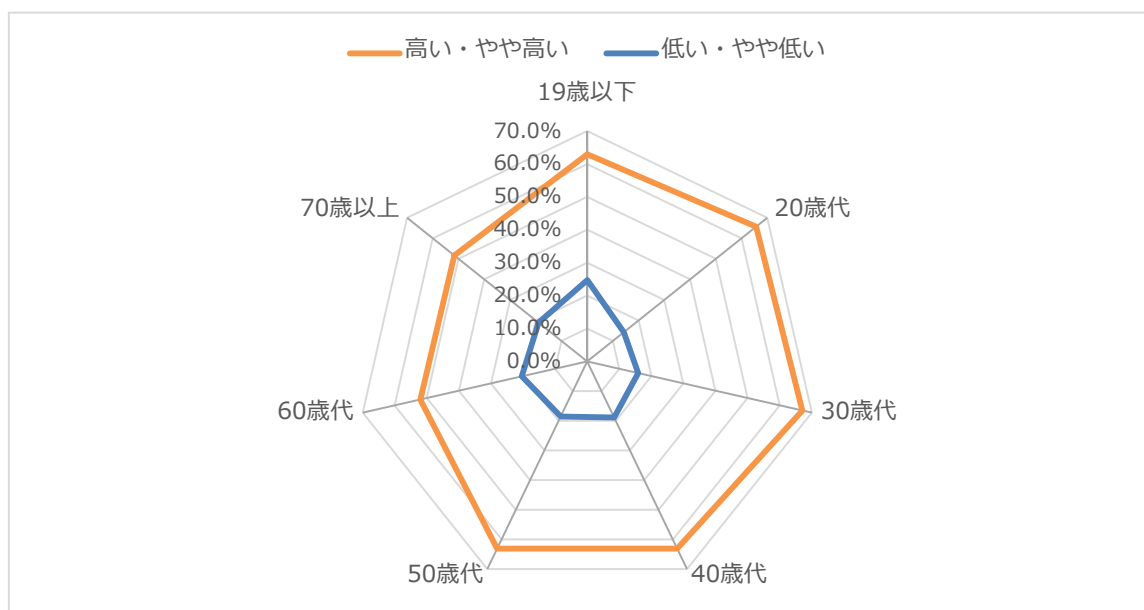
◆考察

・「将来像Ⅱ 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」の満足度では、20歳代の満足度が51.7%と最も多く、次いで30歳代の50.1%が続いている。「不満・やや不満」は、60歳代の30.8%が最も多く、次いで19歳以下が28.4%となっている。

【優先度】



◆年代別優先度



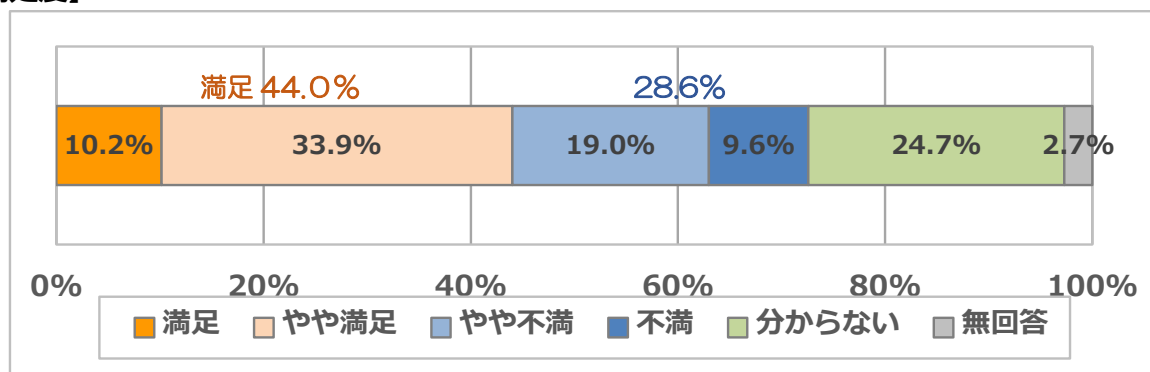
	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
高い・やや高い	63.0%	65.7%	67.1%	63.1%	63.1%	52.0%	51.7%
低い・やや低い	24.7%	14.2%	15.9%	18.9%	18.6%	20.3%	18.9%

◆考察

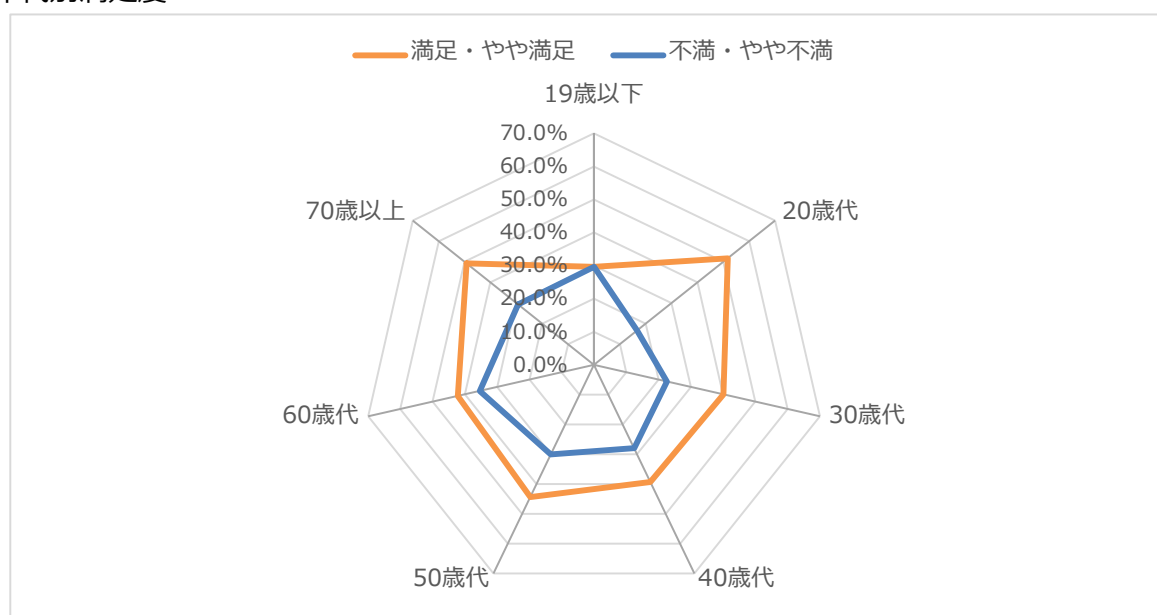
- ・「将来像Ⅱ 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために」の優先度では、30歳代の優先度が67.1%と最も多く、次いで40歳代及び50歳代の63.1%が続いている。「低い・やや低い」は、19歳以下の24.7%が最も多く、次いで60歳代の20.3%となっている。

Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために

【満足度】



◆年代別満足度

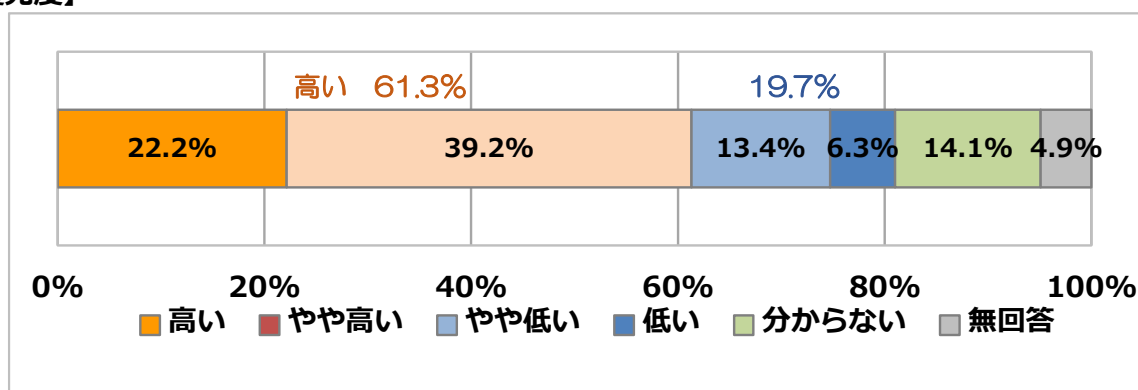


	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足・やや満足	29.6%	51.7%	40.1%	39.3%	44.3%	42.2%	49.2%
不満・やや不満	29.6%	16.7%	22.6%	28.0%	30.0%	35.4%	29.3%

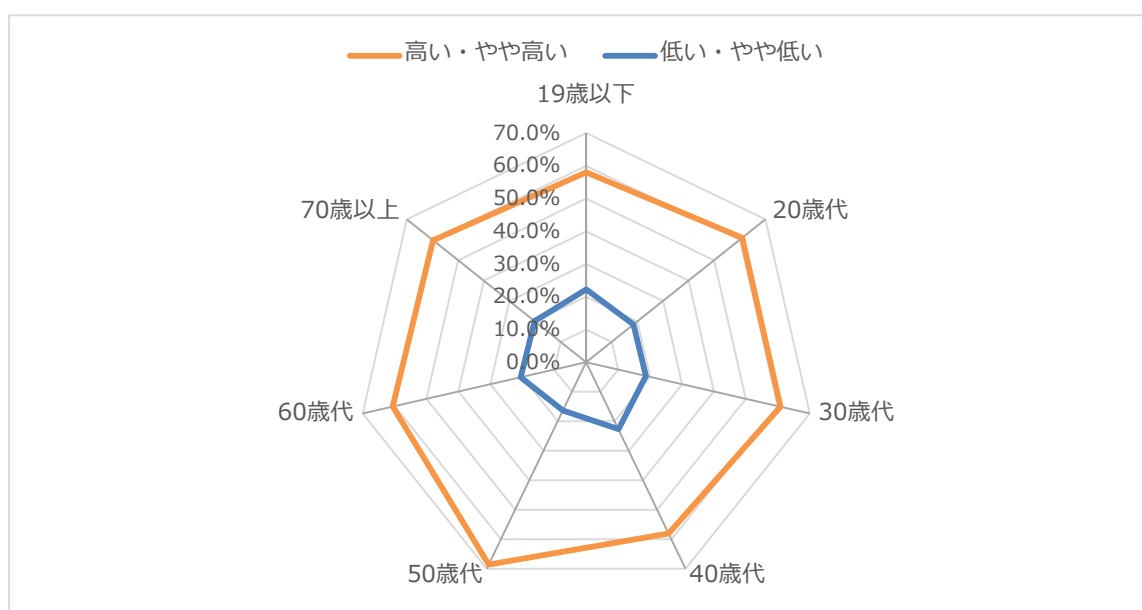
◆考察

- ・「将来像Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の満足度では、20歳代の満足度が51.7%と最も多く、次いで70歳以上の49.2%が続いている。「不満・やや不満」は、60歳代の35.4%が最も多く、次いで50歳代が30.0%となっている。
- ・19歳以下は、「満足・やや満足」と「不満・やや不満」が同数であり、意見が分かれている。

【優先度】



◆年代別優先度



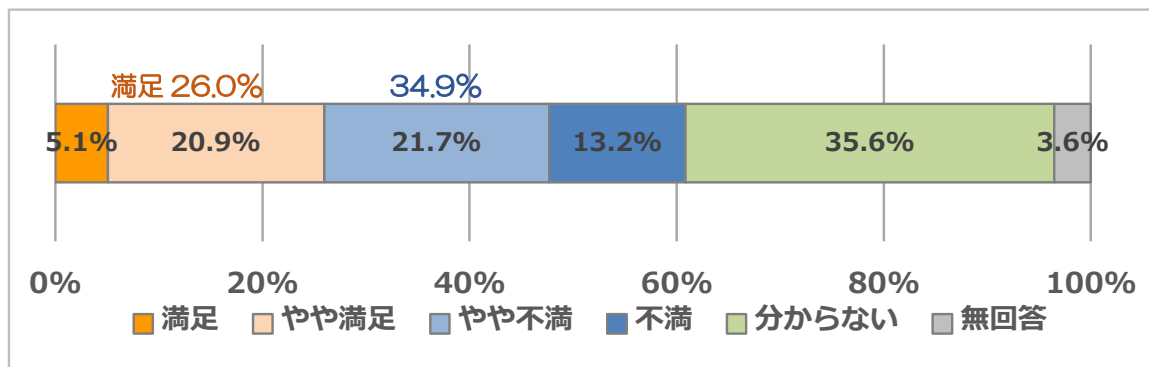
	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
高い・やや高い	58.0%	61.0%	60.9%	58.0%	68.6%	60.6%	59.7%
低い・やや低い	22.2%	18.5%	18.8%	22.7%	16.3%	20.5%	20.1%

◆考察

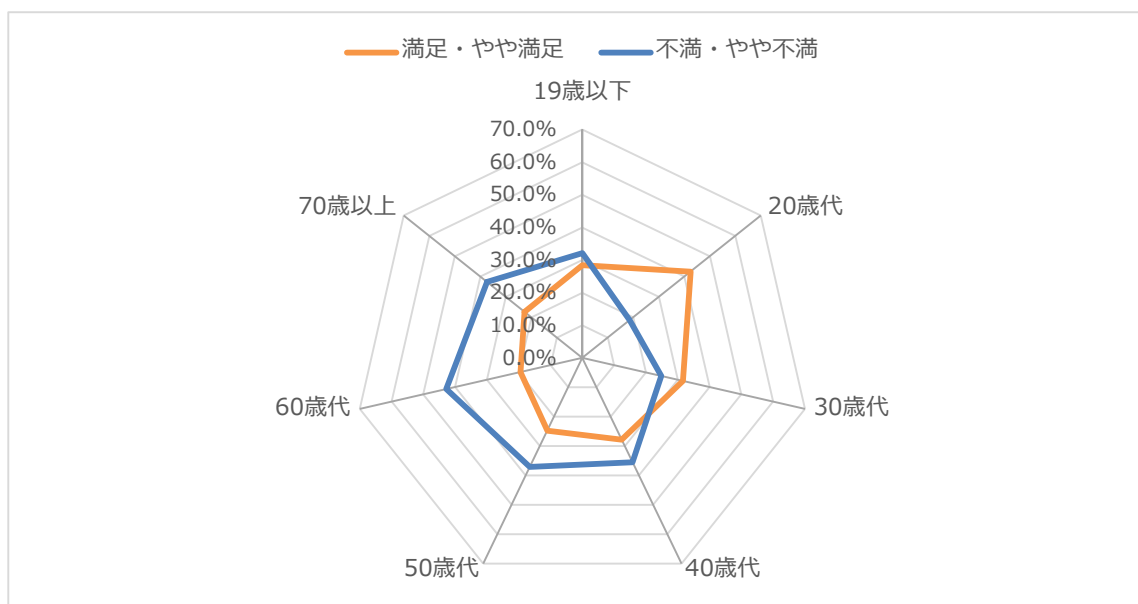
- ・「将来像Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために」の優先度では、50歳代の優先度が68.6%と最も多く、次いで20歳代の61.0%が続いている。「低い・やや低い」は、40歳代の22.7%が最も多く、次いで19歳以下の22.2%となっている。

IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために

【満足度】



◆年代別満足度

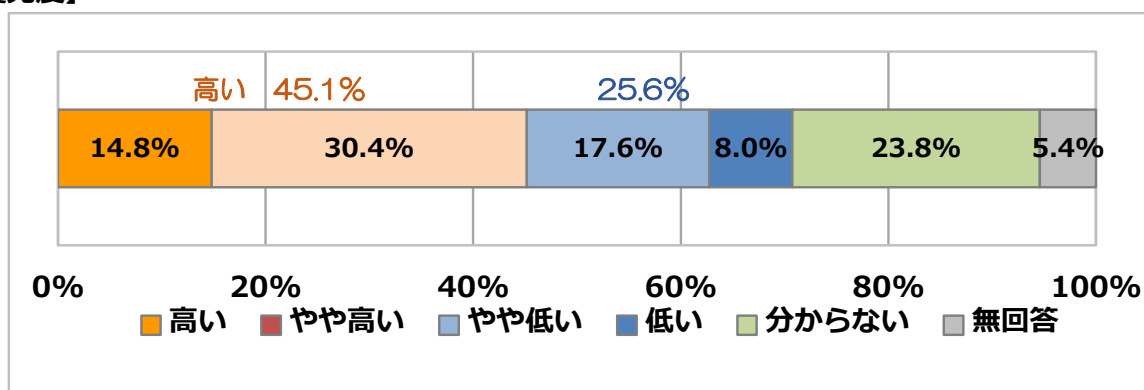


	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足・やや満足	28.4%	42.5%	31.6%	27.8%	24.7%	19.5%	22.6%
不満・やや不満	32.1%	18.5%	24.8%	35.5%	37.1%	42.8%	37.4%

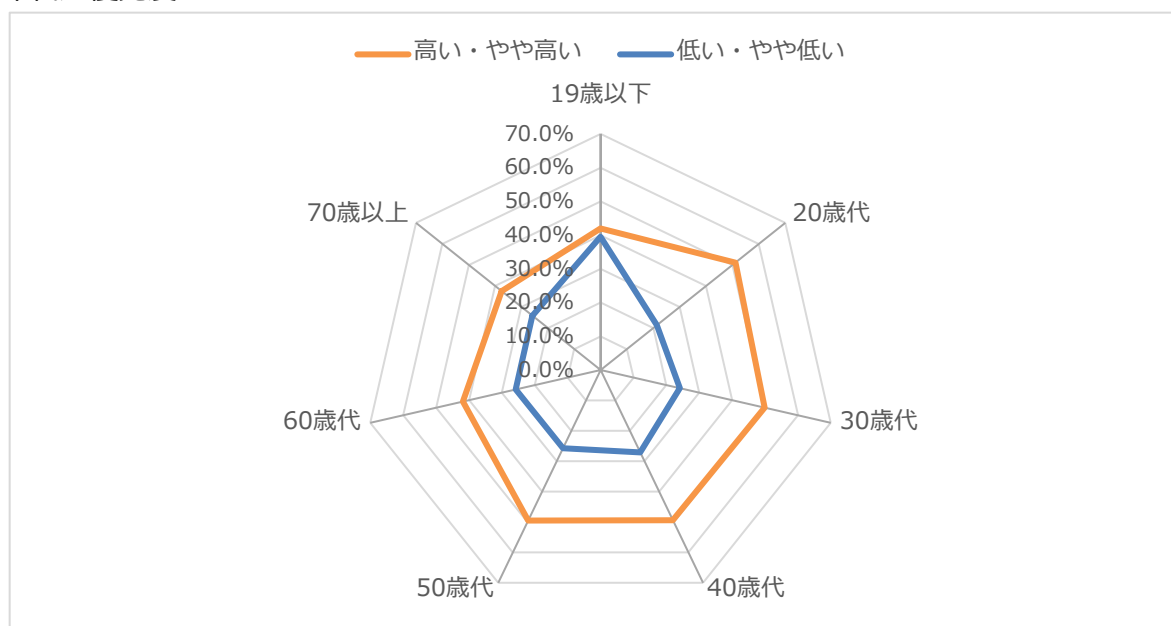
◆考察

- ・「将来像IV 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の満足度では、全体として「わからない」が35.6%と、「満足・やや満足」や「不満・やや不満」を上回っている。
- ・20歳代の満足度が42.5%と最も多く、次いで30歳代の31.6%が続いている。「不満・やや不満」は、60歳代の42.8%が最も多く、次いで70歳以上が37.4%となっている。
- ・20～30歳代は、「満足・やや満足」が「不満・やや不満」を上回っているが、40～70歳以上は、「不満・やや不満」の方が「満足・やや満足」より多く、世代により意見が分かれている。
- ・全体の傾向として、「わからない」が「満足・やや満足」と「不満・やや不満」を上回っている。

【優先度】



◆年代別優先度



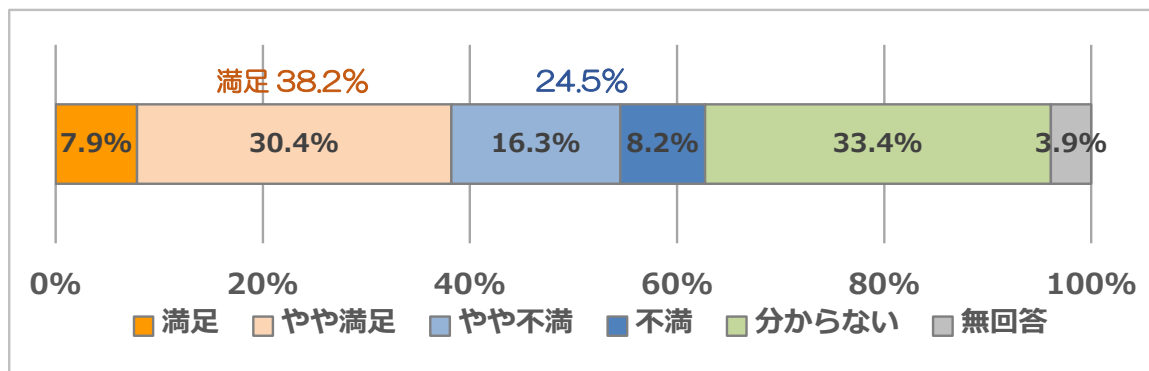
	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
高い・やや高い	42.0%	51.1%	49.9%	49.4%	49.5%	41.9%	37.6%
低い・やや低い	39.5%	21.4%	24.1%	27.1%	25.7%	25.8%	25.9%

◆考察

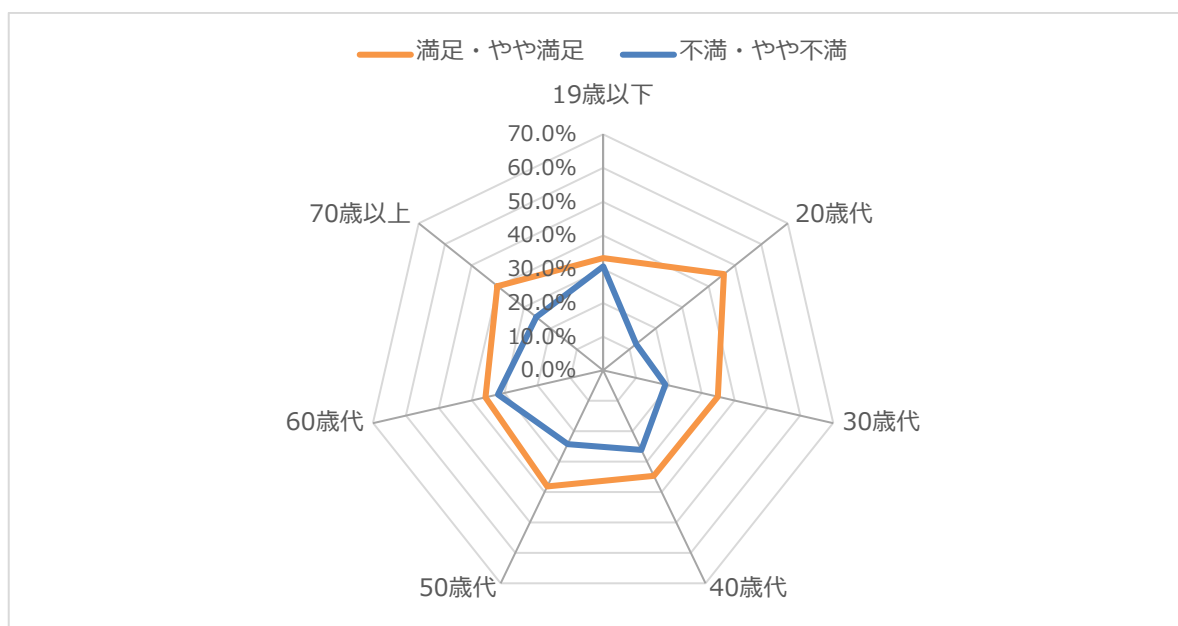
- ・「将来像Ⅳ 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の優先度では、20歳代の優先度が51.1%と最も多く、次いで30歳代の49.9%が続いている。「低い・やや低い」は、19歳以下の39.5%が最も多く、次いで40歳代の27.1%となっている。

V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために

【満足度】



◆年代別満足度

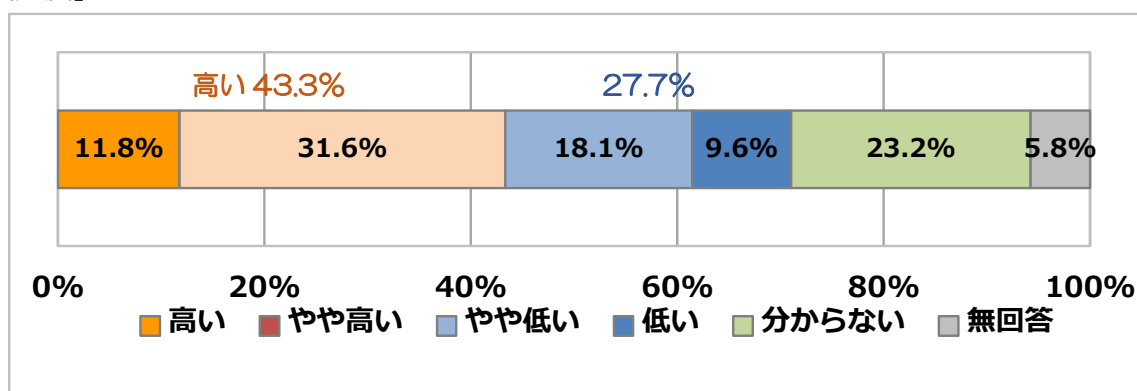


	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
満足・やや満足	33.3%	45.9%	34.9%	34.6%	38.1%	35.8%	40.1%
不満・やや不満	30.9%	12.5%	18.9%	26.1%	24.3%	32.0%	25.4%

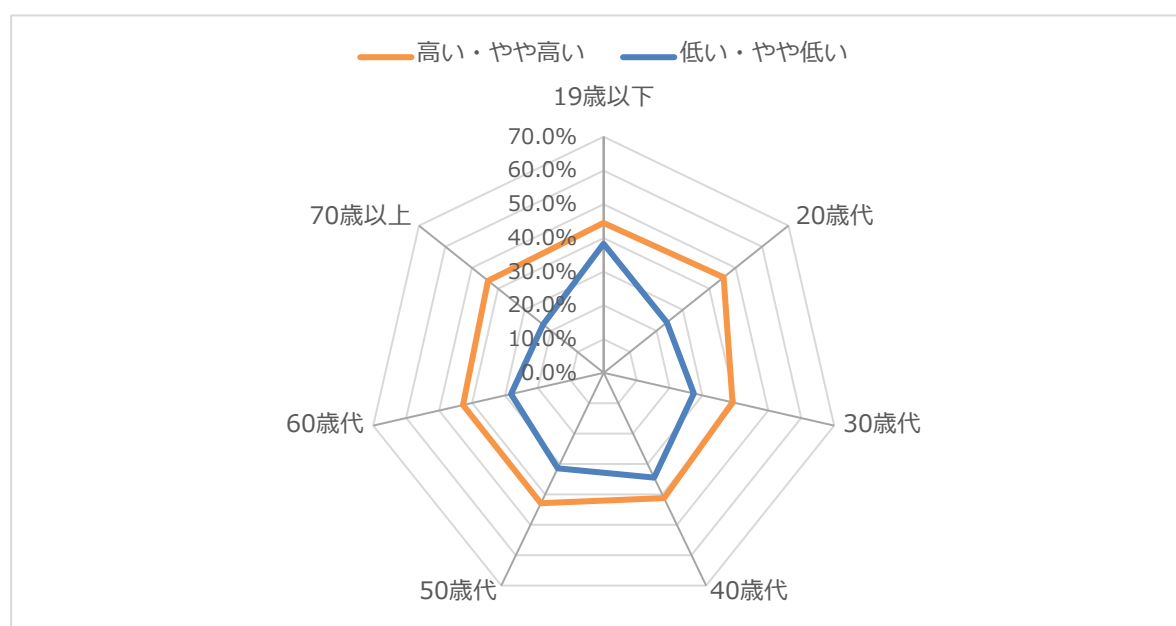
◆考察

・「将来像V 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」の満足度では、20歳代の満足度が45.9%と最も多く、次いで70歳以上の40.1%が続いている。「不満・やや不満」は、60歳代の32.0%が最も多く、次いで19歳以下が30.9%となっている。

【優先度】



◆年代別優先度



	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
高い・やや高い	44.4%	45.4%	39.1%	41.1%	42.9%	42.7%	43.8%
低い・やや低い	38.3%	23.9%	27.4%	34.4%	31.4%	28.1%	22.9%

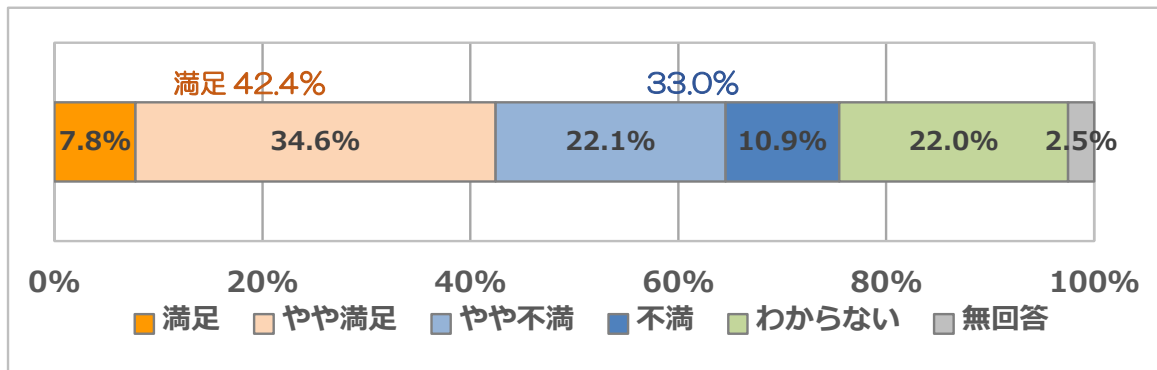
◆考察

- ・「将来像Ⅴ 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために」の優先度では、20歳代の優先度が45.4%と最も多く、次いで19歳以下の44.4%が続いている。「低い・やや低い」は、19歳以下の38.3%が最も多く、次いで40歳代の34.4%となっている。

⑦基本方針別 満足度・優先度【分析】

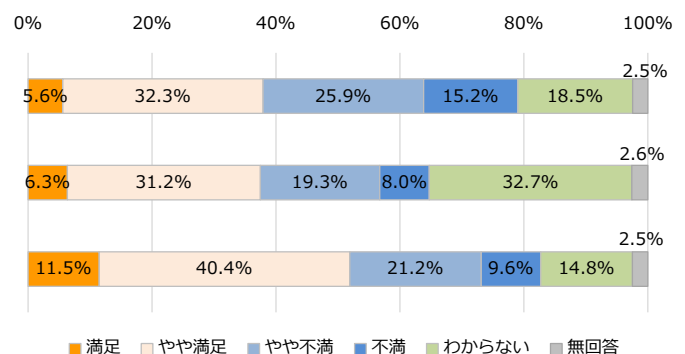
将来像Ⅰ 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまちを創るために

【満足度】



◆基本方針

- 1 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します
- 2 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します
- 3 安全・安心なまちづくりを推進します



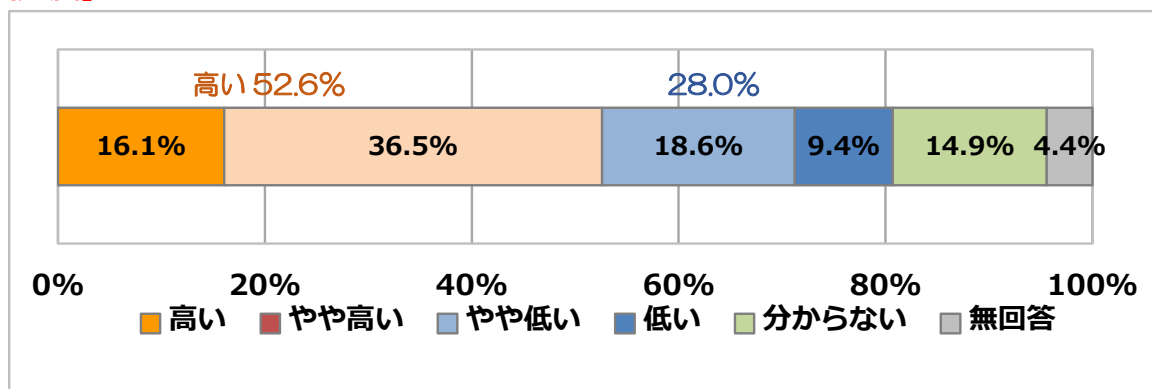
◆前回比較

基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	わからない	無回答
美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	今回	37.9%	41.1%	18.5%	2.5%
	前回	45.3%	36.7%	15.4%	2.6%
	比較	-7.4%	4.4%	3.1%	-0.1%
豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します	今回	37.5%	27.3%	32.7%	2.6%
	前回	40.3%	30.1%	27.0%	2.6%
	比較	-2.8%	-2.8%	5.7%	0.0%
安全・安心なまちづくりを推進します	今回	51.9%	30.8%	14.8%	2.5%
	前回	54.6%	31.2%	11.4%	2.8%
	比較	-2.7%	-0.4%	3.4%	-0.3%

◆考察

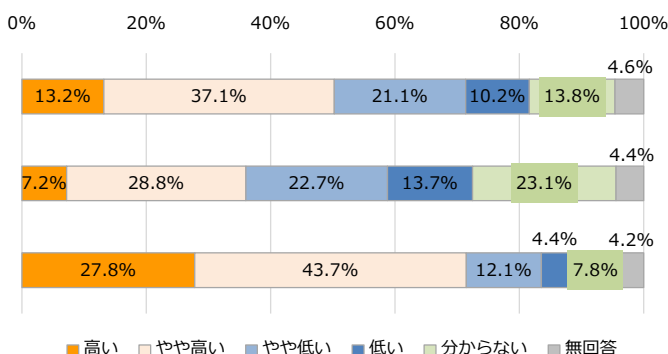
- ・全体の回答としては、「満足・やや満足」が42.4%を占めている。「満足・やや満足」の中で最も割合が多かった項目は、【3 安全・安心なまちづくりを推進します】の51.9%、次いで【1 美しい自然を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します】の37.9%、【2 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します】の37.5%となっている。しかし、「満足・やや満足」が前回の割合より少なくなり、「わからない」が多くなっていることから、現状の生活環境より向上することを求めている傾向が見られる。

【優先度】



◆基本方針

- 1 美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します
- 2 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します
- 3 安全・安心なまちづくりを推進します



◆前回比較

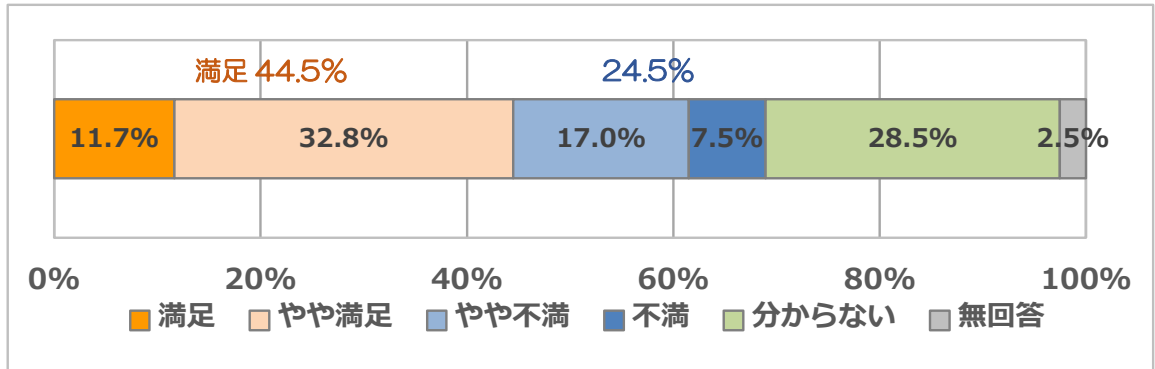
基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	分からない	無回答
美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	今回	50.2%	31.4%	13.8%	4.6%
	前回	53.7%	27.5%	14.4%	4.4%
	比較	-3.5%	3.9%	-0.6%	0.2%
豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します	今回	36.0%	36.5%	23.1%	4.4%
	前回	39.5%	35.4%	21.1%	4.0%
	比較	-3.5%	1.1%	2.0%	0.4%
安全・安心なまちづくりを推進します	今回	71.5%	16.5%	7.8%	4.2%
	前回	69.0%	17.8%	8.9%	4.3%
	比較	2.5%	-1.3%	-1.1%	-0.1%

◆考察

- ・全体の回答としては、「高い・やや高い」は52.6%と半数以上を占めている。「高い・やや高い」の中で最も割合が多かった項目は、【3 安全・安心なまちづくりを推進します】の71.5%、最も少なかったのは【2 豊かな心と文化を育み、生涯を通じて学べるまちづくりを目指します】の36.0%となっている。この結果から、住民は安全・安心な生活環境を優先したまちづくりを望んでいる傾向が見られる。

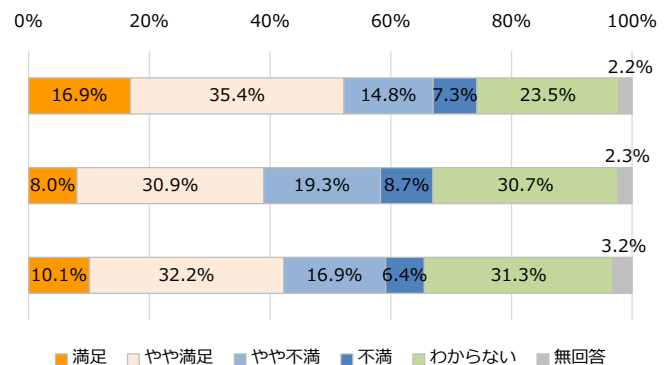
将来像Ⅱ 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまちを創るために

【満足度】



◆基本方針

- 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します
- 次代を担うたくましい子どもを育成します
- 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します



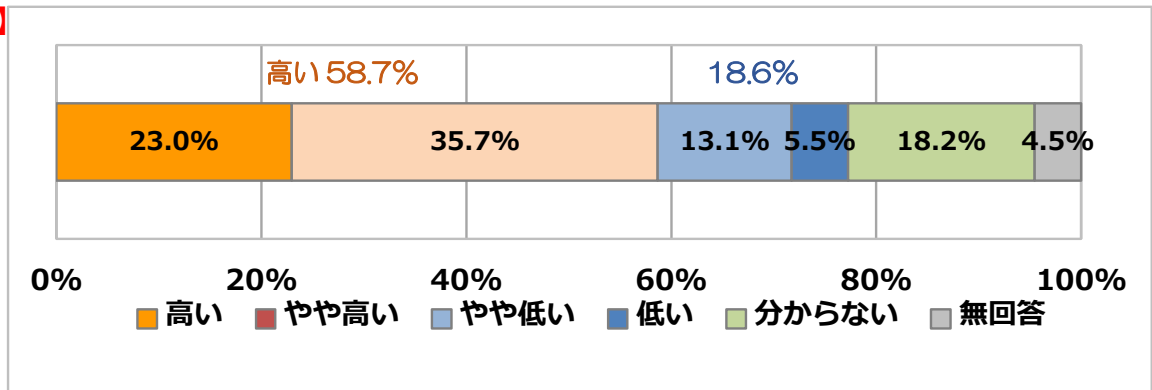
◆前回比較

基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	分からない	無回答
結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します	今回	52.3%	22.0%	23.5%	2.2%
	前回	56.5%	20.4%	20.8%	2.4%
	比較	-4.2%	1.6%	2.7%	-0.2%
次代を担うたくましい子どもを育成します	今回	39.0%	28.0%	30.7%	2.3%
	前回	43.4%	26.5%	27.3%	2.8%
	比較	-4.4%	1.5%	3.4%	-0.5%
人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します	今回	42.3%	23.3%	31.3%	3.2%
	前回	44.9%	23.0%	28.0%	4.1%
	比較	-2.6%	0.3%	3.3%	-0.9%

◆考察

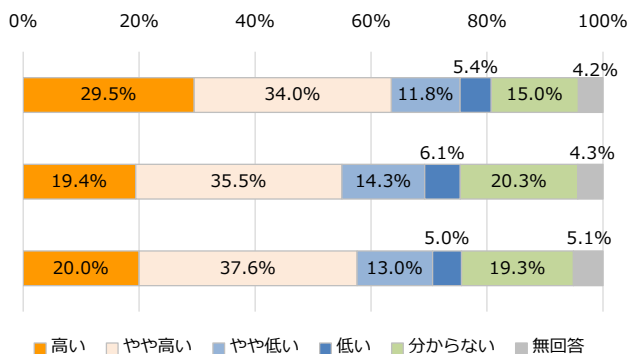
・全体の回答としては、「満足・やや満足」が44.5%と約半数を占めている。「満足・やや満足」の中で最も割合が多かった項目は、【1 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します】の52.3%、次いで【3 人とつながり、支えあい、互いに高めあう子どもを育てる環境を目指します】の42.3%、【2 次代を担うたくましい子どもを育成します】の39.0%となっている。全体的に満足度が前回に比べて低くなっており、「不満・やや不満」「分からない」の割合が増えている。

【優先度】



◆基本方針

- 1 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します
- 2 次代を担うたくましい子どもを育成します
- 3 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します



◆前回比較

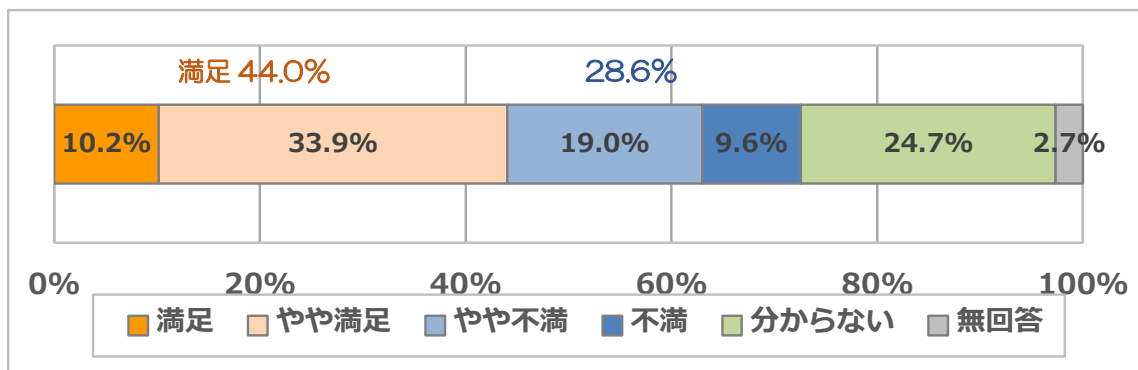
基本方針	区分	高い・やや高い	低い・やや低い	分からない	無回答
結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します	今回	63.5%	17.2%	15.0%	4.2%
	前回	64.5%	15.9%	15.5%	4.1%
	比較	-1.0%	1.3%	-0.5%	0.1%
次代を担うたくましい子どもを育成します	今回	55.0%	20.4%	20.3%	4.3%
	前回	56.6%	18.7%	20.4%	4.3%
	比較	-1.6%	1.7%	-0.1%	0.0%
人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します	今回	57.6%	18.0%	19.3%	5.1%
	前回	55.6%	18.4%	20.1%	5.9%
	比較	2.0%	-0.4%	-0.8%	-0.8%

◆考察

- ・全体の回答としては、「高い・やや高い」58.7%と半数以上を占めている。「高い・やや高い」の中で、最も割合が多かった項目は、【1 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します】の63.5%、次いで【3 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します】の57.6%、【2 次代を担うたくましい子どもを育成します】の55.0%となっている。

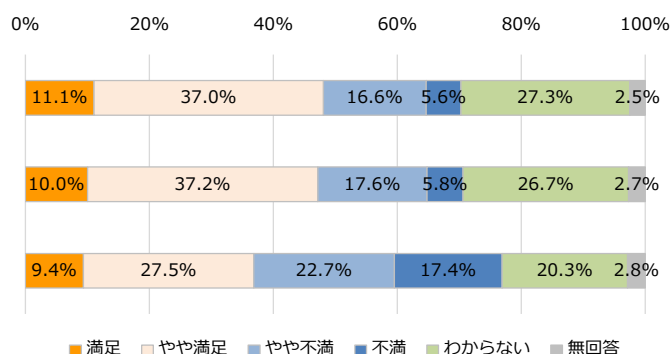
将来像Ⅲ 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまちを創るために

【満足度】



◆基本方針

- 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります
- 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します
- 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります



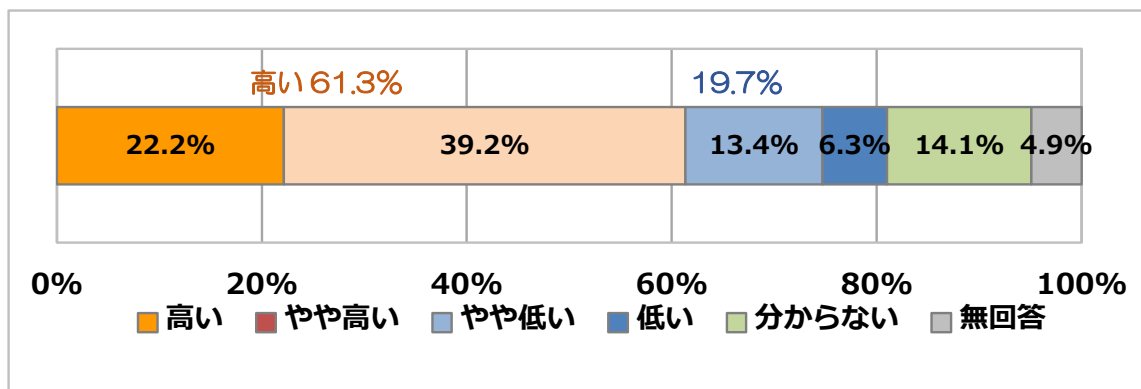
◆前回比較

基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	分からない	無回答
誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	今回	48.1%	22.2%	27.3%	2.5%
	前回	52.5%	21.9%	22.1%	3.5%
	比較	-4.4%	0.3%	5.2%	-1.0%
高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します	今回	47.2%	23.4%	26.7%	2.7%
	前回	44.8%	28.3%	23.9%	2.9%
	比較	2.4%	-4.9%	2.8%	-0.2%
市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります	今回	36.8%	40.0%	20.3%	2.8%
	前回	37.6%	43.0%	16.6%	2.9%
	比較	-0.8%	-3.0%	3.7%	-0.1%

◆考察

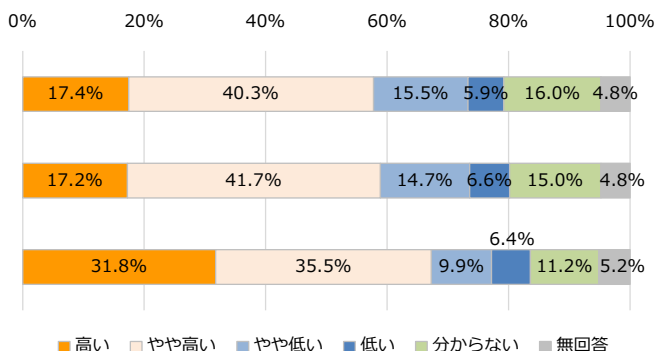
- 全体の回答としては、「満足・やや満足」が44.0%となっている。「満足・やや満足」の中で最も割合が多かった項目は、【1 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります】の48.1%、次いで【2 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します】の47.2%となっている。しかし、【1 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります】の項目では、前回の52.5%と比較すると4.4%の減少となり、「分からない」が5.2%増加している。

【優先度】



◆基本方針

- 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりま
- 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを
目指します
- 市民が安心して暮らせるための地域医療を守りま
す



◆前回比較

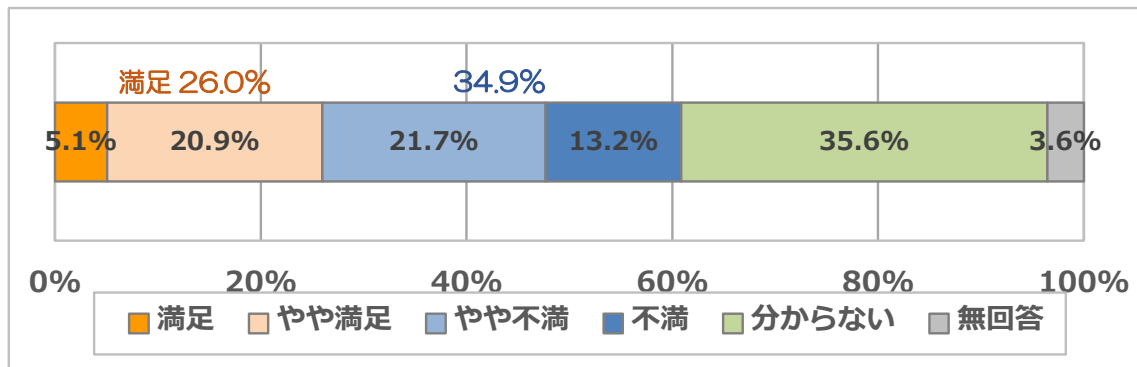
基本方針	区分	高い・ やや高い	低い・ やや低い	分からない	無回答
誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりま す	今回	57.8%	21.4%	16.0%	4.8%
	前回	57.9%	21.6%	15.4%	5.1%
	比較	-0.1%	-0.2%	0.6%	-0.3%
高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまち を目指します	今回	58.9%	21.3%	15.0%	4.8%
	前回	60.5%	19.8%	15.1%	4.6%
	比較	-1.6%	1.5%	-0.1%	0.2%
市民が安心して暮らせるための地域医療を守り ます	今回	67.3%	16.3%	11.2%	5.2%
	前回	64.4%	20.7%	10.4%	4.5%
	比較	2.9%	-4.4%	0.8%	0.7%

◆考察

- 全体の回答としては、「高い・やや高い」が61.3%と半数以上を占めている。「高い・やや高い」の中で最も割合が多かった項目は、【3 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります】が67.3%、【2 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します】の58.9%、【1 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりま

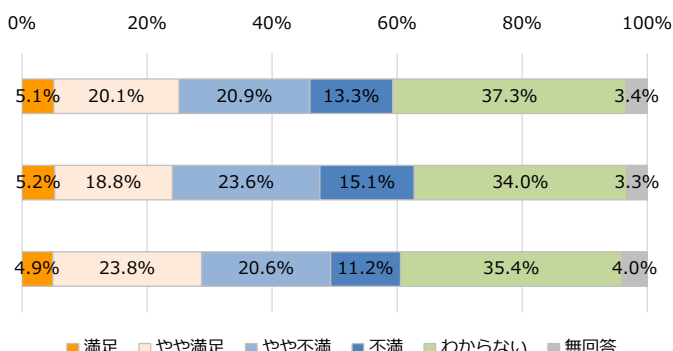
将来像Ⅳ 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るために

【満足度】



◆基本方針

- 1 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます
- 2 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します
- 3 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します



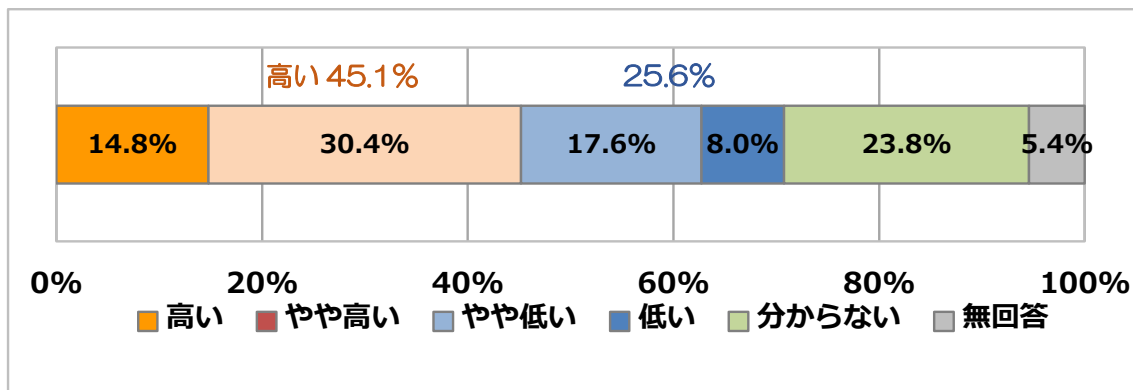
◆前回比較

基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	分からない	無回答
持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます	今回	25.1%	34.2%	37.3%	3.4%
	前回	26.8%	34.1%	36.2%	2.9%
	比較	-1.7%	0.1%	1.1%	0.5%
産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	今回	24.1%	38.7%	34.0%	3.3%
	前回	26.5%	39.6%	30.5%	3.4%
	比較	-2.4%	-0.9%	3.5%	-0.1%
地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します	今回	28.7%	31.8%	35.4%	4.0%
	前回	28.3%	31.8%	36.9%	3.0%
	比較	0.4%	0.0%	-1.5%	1.0%

◆考察

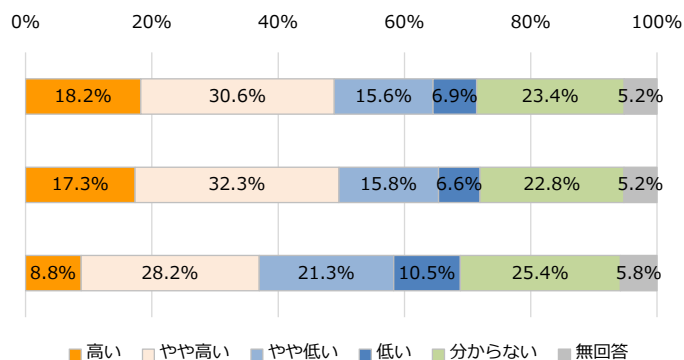
- ・全体の回答としては、「満足・やや満足」や「不満・やや不満」よりも、「わからない」が35.6%と上回っており、さらに「不満・やや不満」が34.9%と「満足・やや満足」の26.0%を上回っている。「不満・やや不満」の中で最も割合が多かった項目は、【2 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します】が38.7%、【1 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます】の34.2%、【3 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します】の31.8%の順となっている。

【優先度】



◆基本方針

- 1 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます
- 2 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します
- 3 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します



◆前回比較

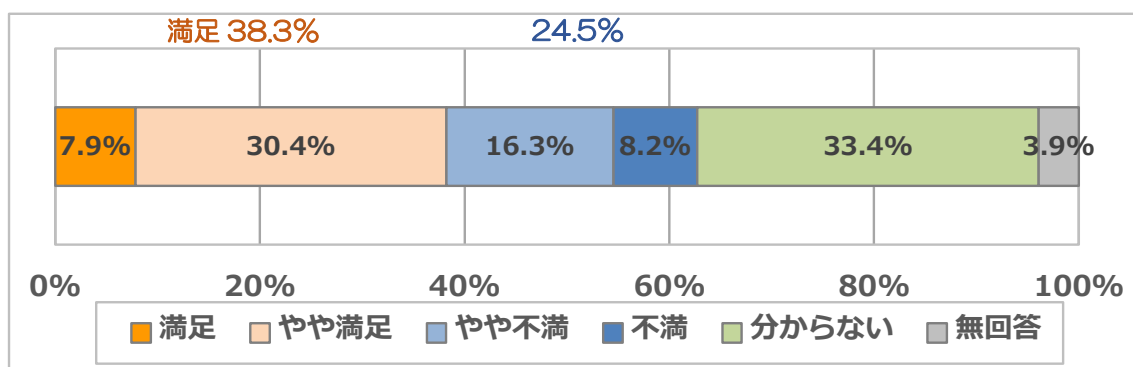
基本方針	区分	高い・やや高い	低い・やや低い	分からない	無回答
持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます	今回	48.9%	22.5%	23.4%	5.2%
	前回	44.2%	24.8%	26.4%	4.6%
	比較	4.7%	-2.3%	-3.0%	0.6%
産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	今回	49.6%	22.4%	22.8%	5.2%
	前回	47.4%	25.2%	22.4%	5.0%
	比較	2.2%	-2.8%	0.4%	0.2%
地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します	今回	37.0%	31.9%	25.4%	5.8%
	前回	35.5%	31.3%	28.5%	4.7%
	比較	1.5%	0.6%	-3.1%	1.1%

◆考察

- ・全体の回答としては、「高い・やや高い」が45.1%となっている。「高い・やや高い」の中で最も割合が多かった項目は、【2 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します】の49.6%、次いで【1 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組めます】の48.9%、【3 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します】の37.0%となっており、満足度に比べて優先度は高い傾向にある。

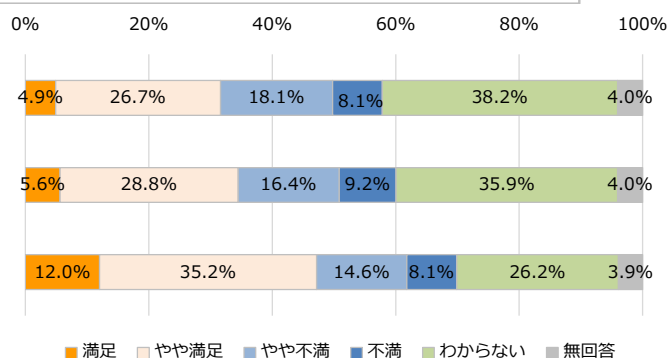
将来像Ⅴ 市民がまちづくりを楽しめるまちを創るために

【満足度】



◆基本方針

- 1 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します
- 2 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します
- 3 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います



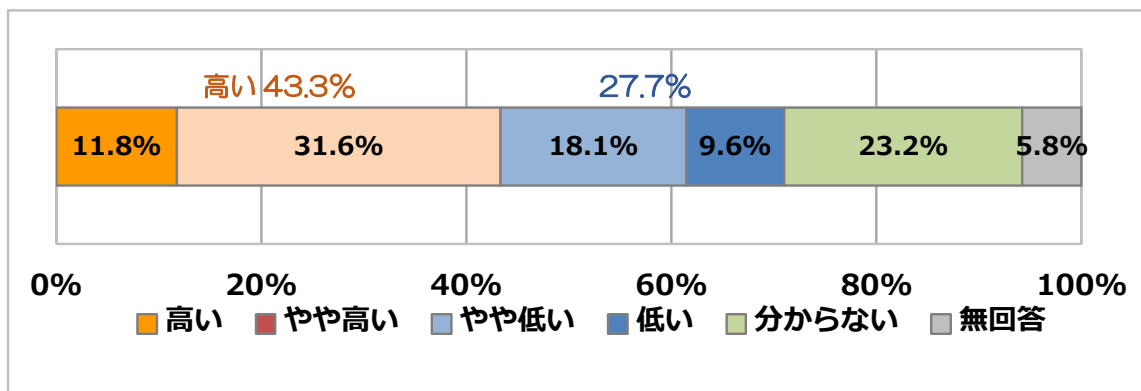
◆前回比較

基本方針	区分	満足・やや満足	不満・やや不満	分からない	無回答
小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	今回	31.6%	26.2%	38.2%	4.0%
	前回	35.9%	26.3%	34.5%	3.4%
	比較	-4.3%	-0.1%	3.7%	0.6%
市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	今回	34.4%	25.5%	35.9%	4.2%
	前回	37.3%	25.5%	34.0%	3.2%
	比較	-2.9%	0.0%	1.9%	1.0%
市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	今回	47.2%	22.7%	26.2%	3.9%
	前回	47.5%	26.7%	22.2%	3.5%
	比較	-0.3%	-4.0%	4.0%	0.4%

◆考察

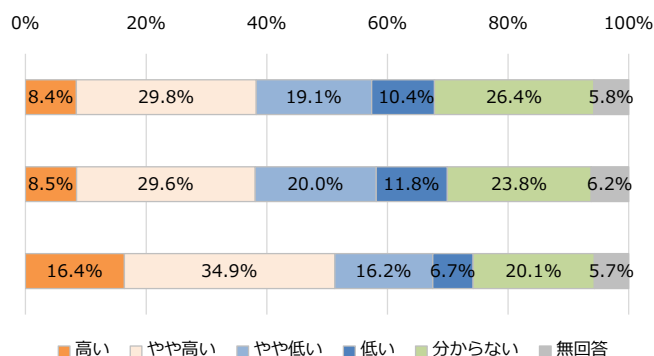
- ・全体の回答としては、「満足・やや満足」が38.2%となっている。「満足・やや満足」の中で最も割合が多かった項目は、【3 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います】が47.2%、次いで【2 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します】が34.4%となっている。前回との比較では、「満足・やや満足」が全項目減少し、「わからない」が増加しており、行政サービスの項目では「不満・やや不満」が減少し「分からない」が増加している。

【優先度】



◆基本方針

- 1 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します
- 2 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します
- 3 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います



◆前回比較

基本方針	区分	高い・やや高い	低い・やや低い	分からない	無回答
小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	今回	38.3%	29.5%	26.4%	5.8%
	前回	40.8%	27.5%	26.7%	5.0%
	比較	-2.5%	2.0%	-0.3%	0.8%
市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	今回	38.1%	31.9%	23.8%	6.2%
	前回	40.1%	29.4%	25.8%	4.7%
	比較	-2.0%	2.5%	-2.0%	1.5%
市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	今回	51.3%	22.9%	20.1%	5.7%
	前回	54.9%	23.0%	17.1%	5.0%
	比較	-3.6%	-0.1%	3.0%	0.7%

◆考察

- ・全体の回答としては、「高い・やや高い」が43.3%となっている。「高い・やや高い」の中で最も割合の多かった項目は、【3 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います】の51.3%、次いで【1 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します】の38.3%、【2 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します】の38.1%の順となっている。いずれの項目も優先度が減少している。

第3次栗原市総合計画策定に関する 結婚・出産・子育てに関する意識調査



令和7年11月
栗原市

(1) 目的

令和9年度から令和18年度までの10年間を計画期間としている「第3次栗原市総合計画」の策定にあたり、結婚・出産・子育てに関する多様な価値観やご意見を把握し、それぞれのライフスタイルに寄り添った支援のあり方を検討するために実施したもの。

(2) 調査対象

栗原市在住の18歳～49歳の市民から2,500人を無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布・回収、及びインターネットによる回答の併用

(4) 実施時期

配布 令和7年9月12日

回収 令和7年9月30日

(5) 回収件数及び回収率

回収件数 707件（うち紙面による回収件数405件、インターネットによる回収件数302件）

回収率 28.3%

(6) 調査結果

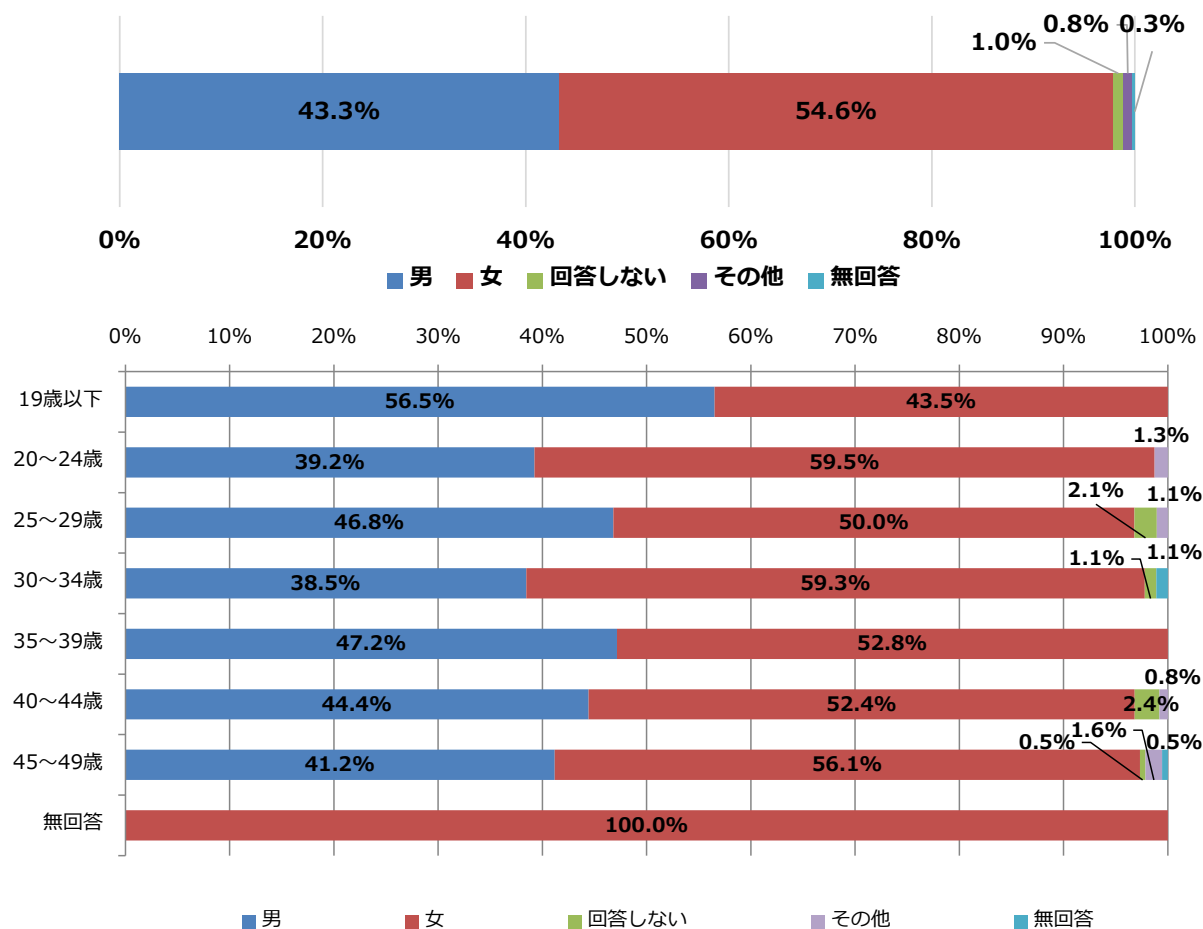
グラフの構成比の端数処理については四捨五入の関係から合計が100.0%にならない場合があります。

- | | |
|--|-------|
| ①回答者の属性（性別・年齢・家族構成・職業・居住地・住宅の建て方・居住年数） | P 2 |
| ②結婚・出産・子育てについて | P 8 |
| ③仕事のあり方について | P 3 0 |
| ④栗原市の施策について | P 3 4 |

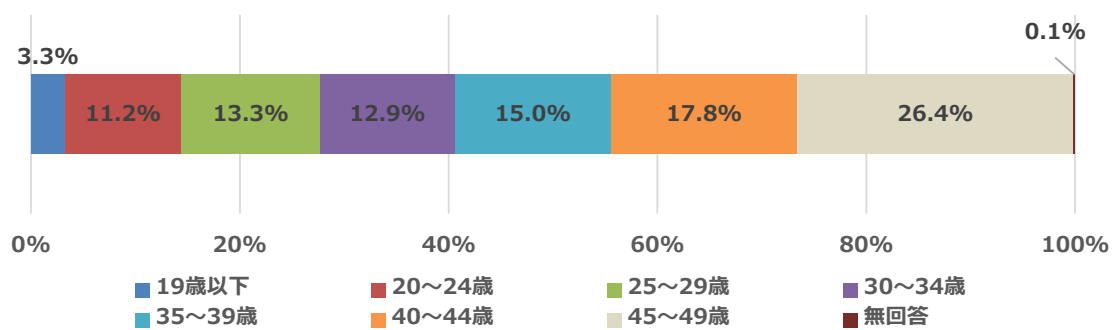
①回答者の属性

(性別・年齢・家族構成・職業・居住地・住まいのあり方・居住年数)

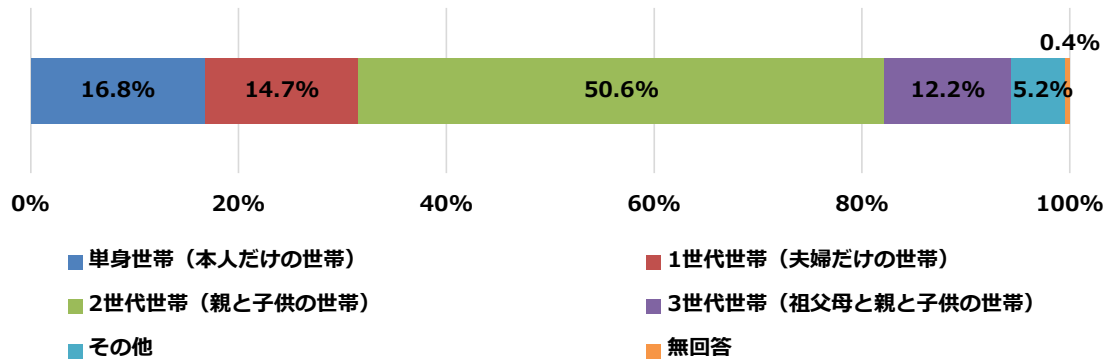
◆性別



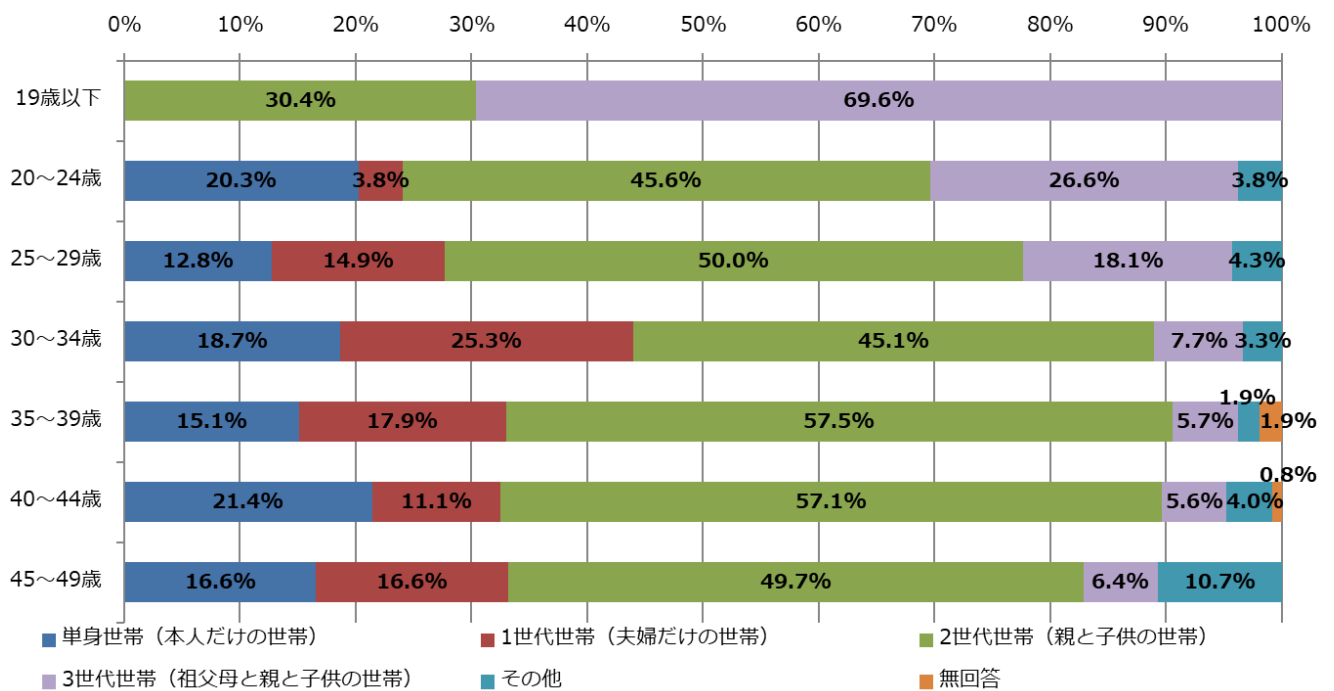
◆年齢



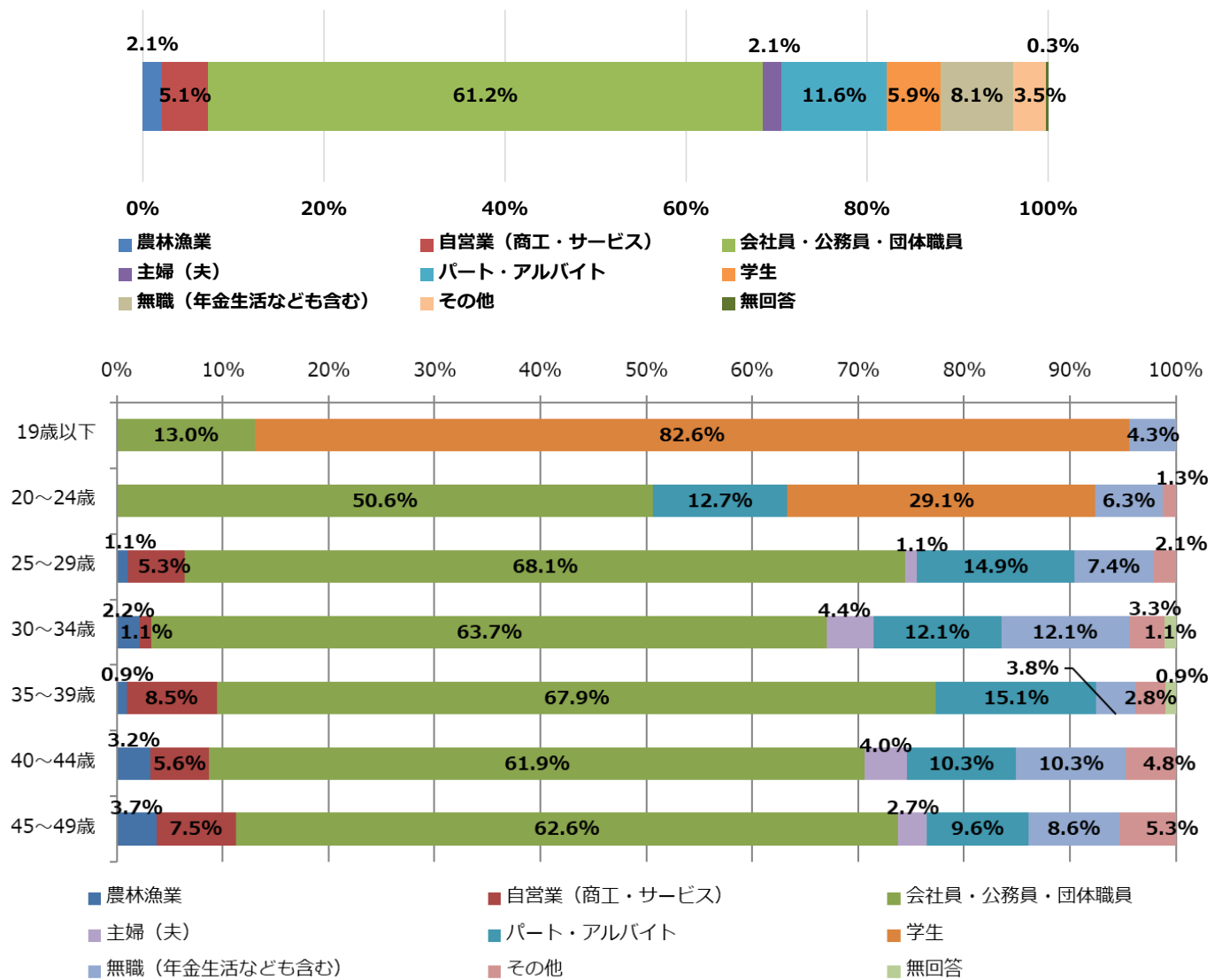
◆家族構成



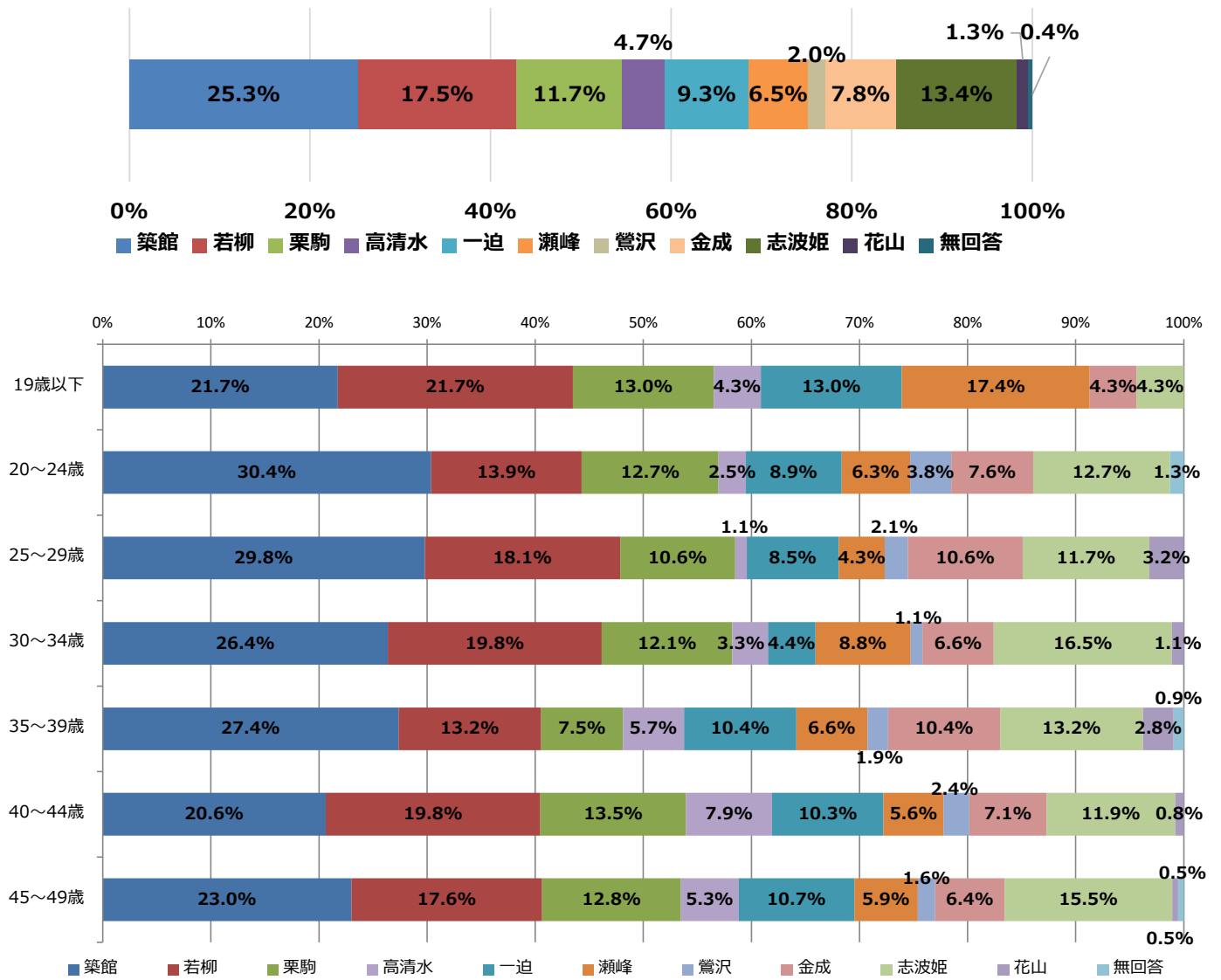
【年代別】



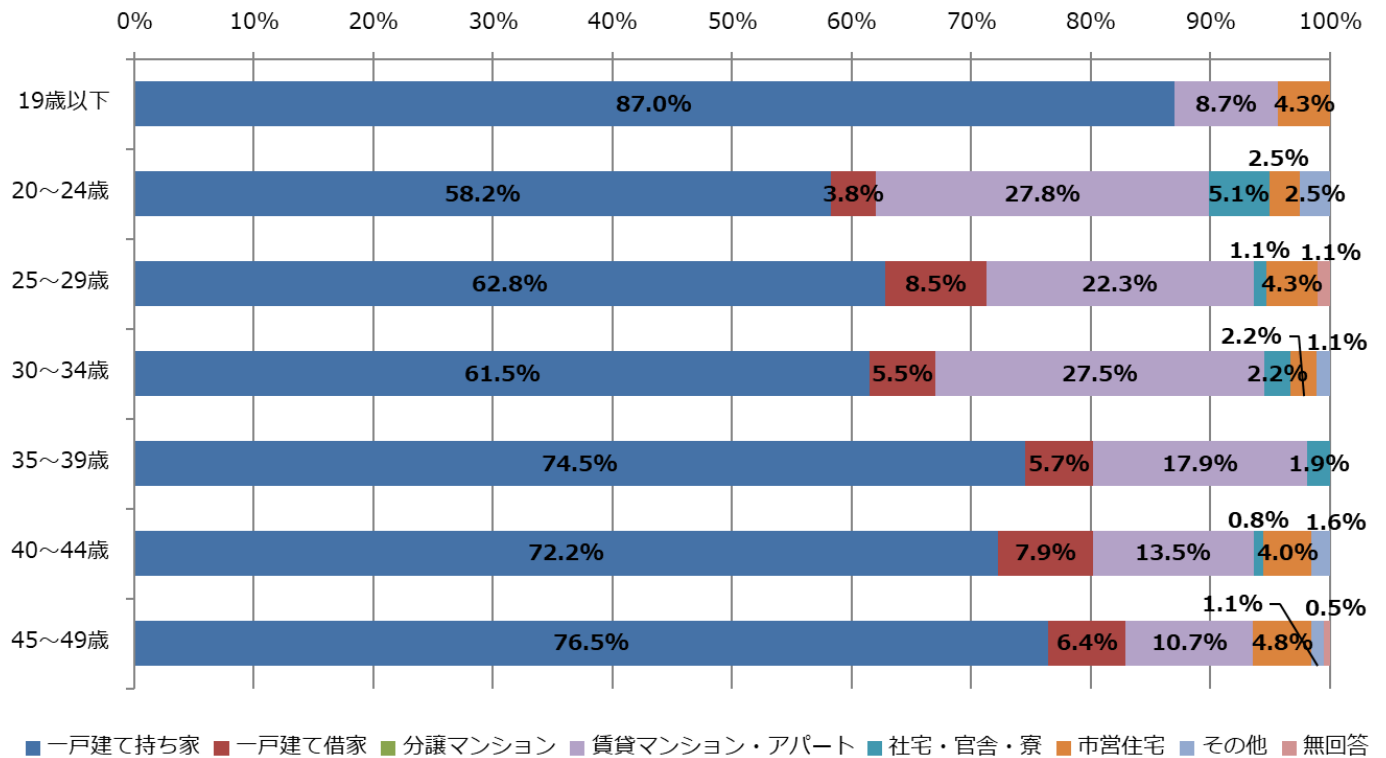
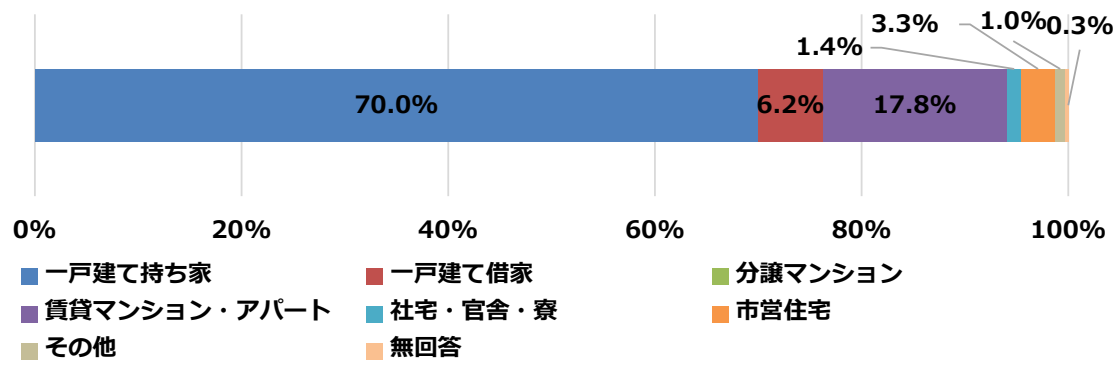
◆職業



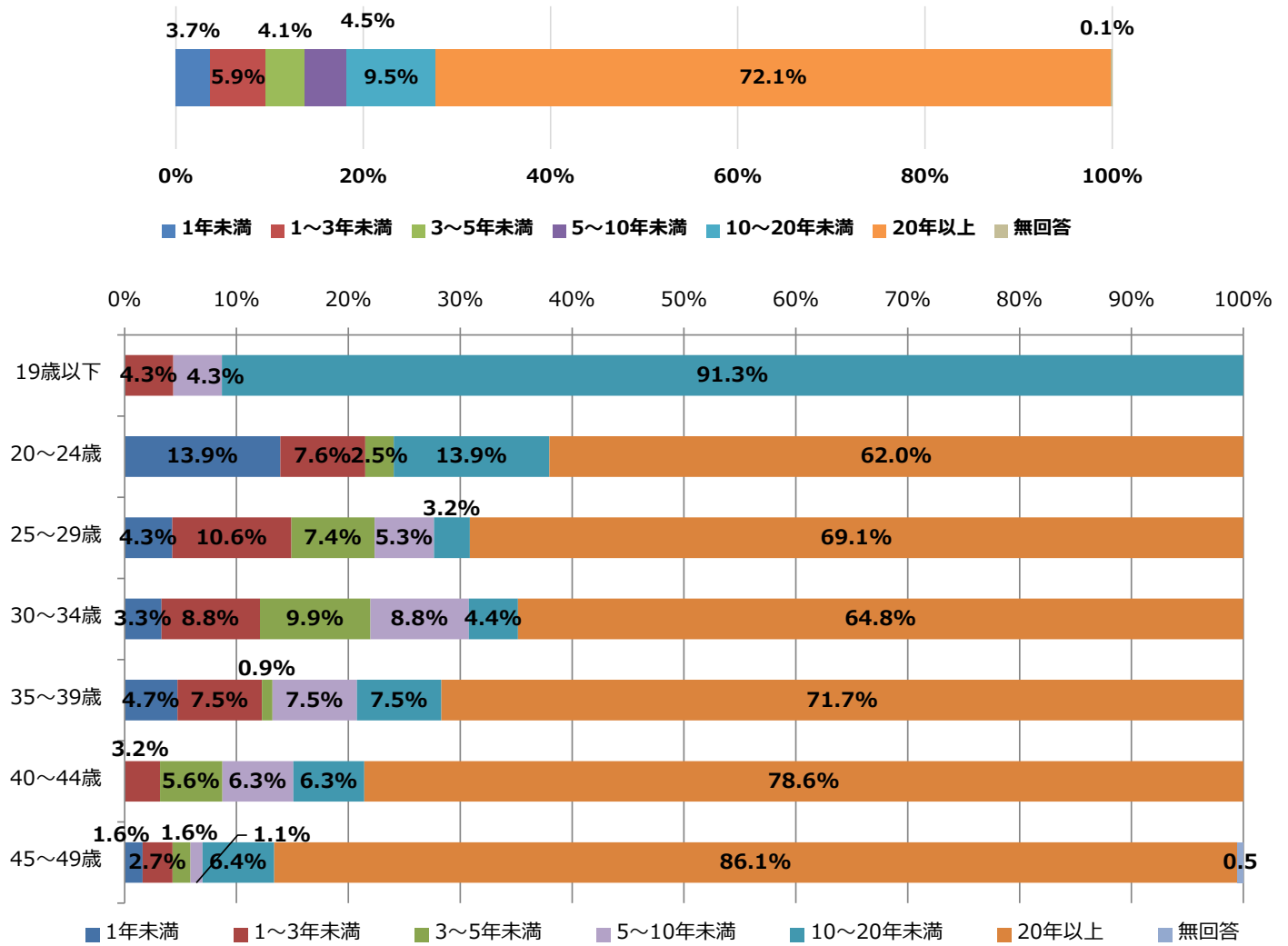
◆居住地



◆住まいのあり方

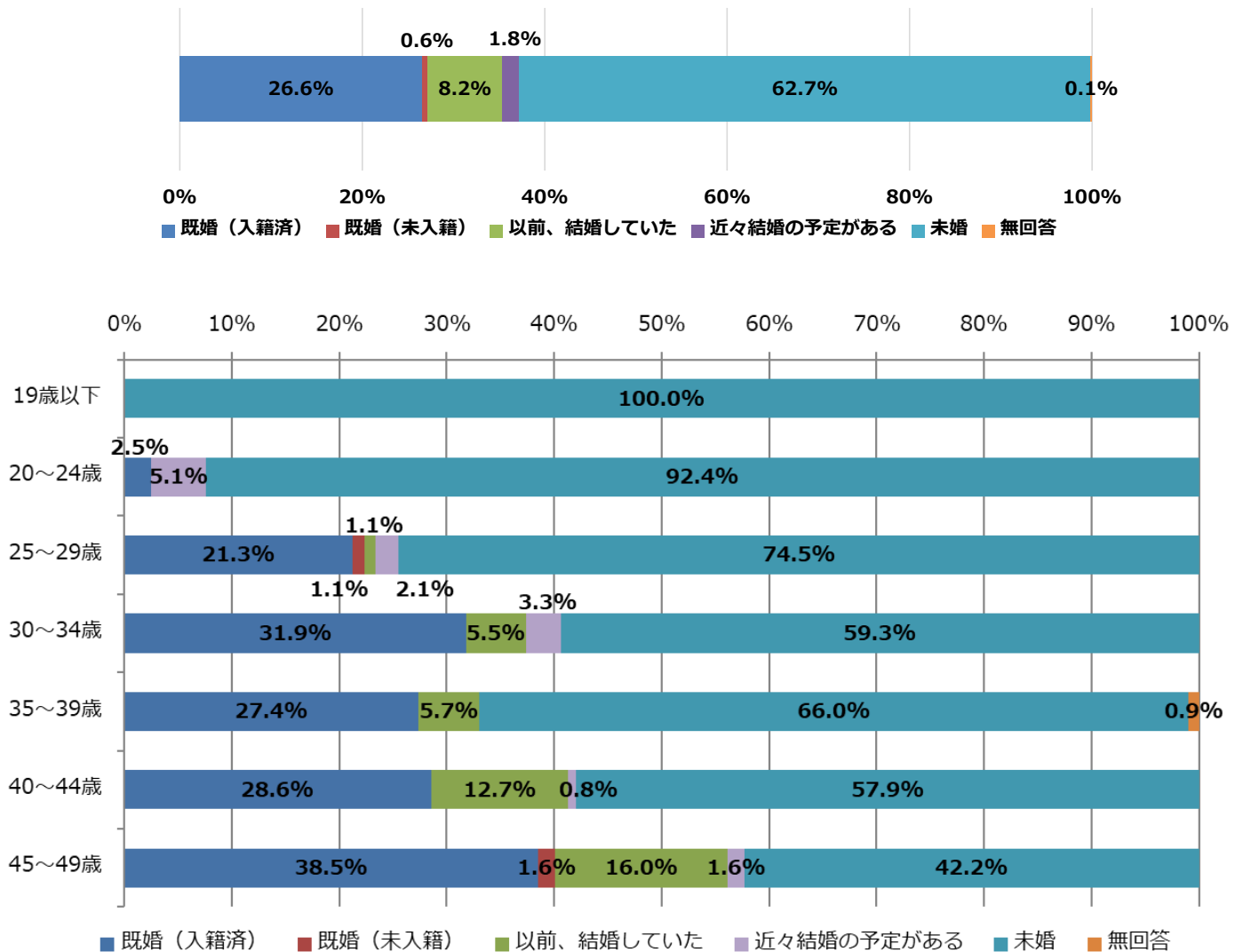


◆居住年数



②結婚・出産・子育てについて

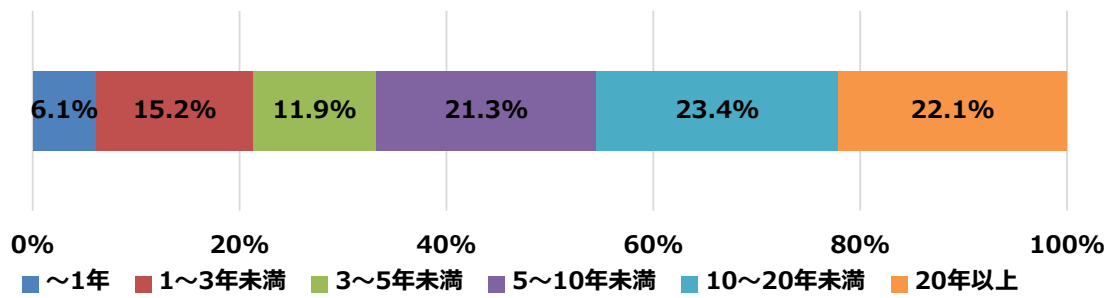
◆結婚しているか



◆考察

- ・19歳以下では「未婚」が100.0%となっており、20歳代でも「未婚」の割合が高い状況にあり、40～44歳においても「未婚」の割合が半分以上を占めており、晩婚化の傾向が読み取れる。40歳代では「以前、結婚していた」とする割合が10%以上となっている。また、「近々結婚する予定がある」の割合は年齢が高くなると減少する傾向にあるが、35～39歳では0%となっている。

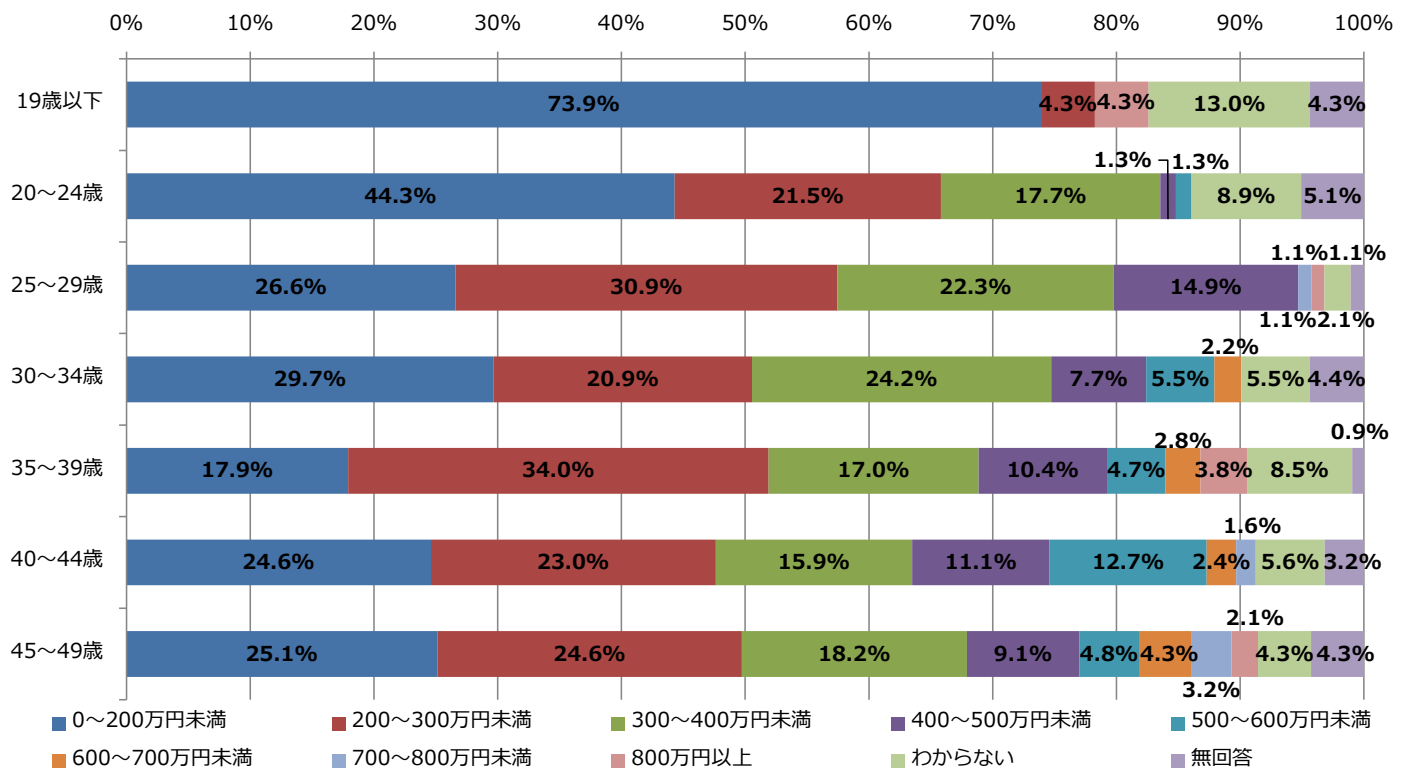
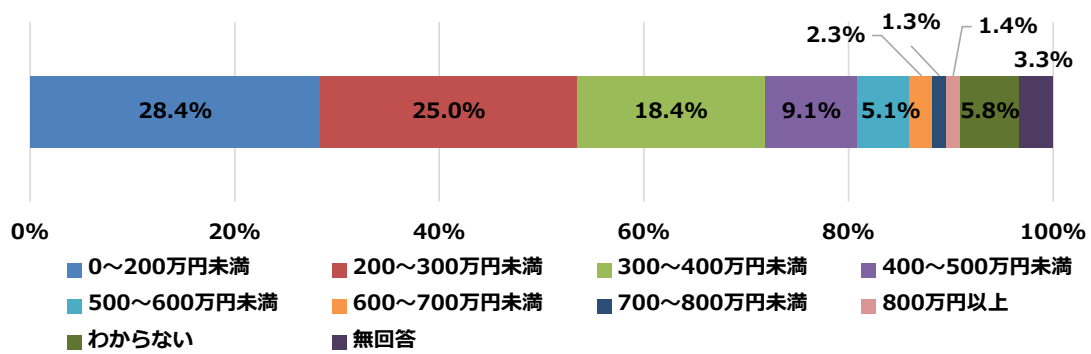
◆結婚期間は



◆考察

・「10～20 年未満」が 23.4%と最も多く、次いで「20 年以上」が 22.1%、「5～10 年未満」が 21.3%と続いている。

◆おおよその年収は

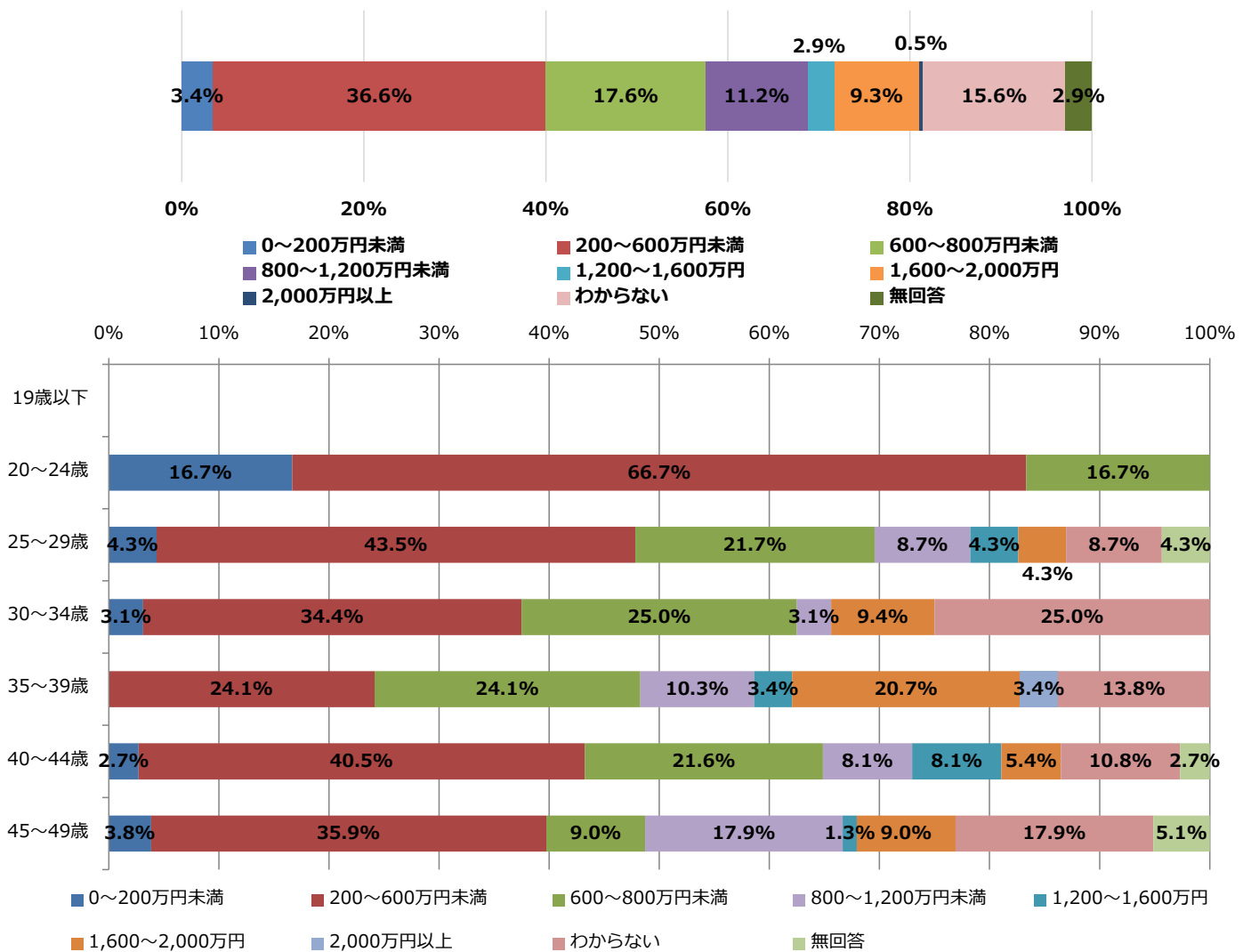


◆考察

- ・19歳以下では「0~200万円未満」が73.9%を占めており、年齢が上がり30~34歳にかけて徐々に年収も上昇しているが、それ以上の年代では概ね変動は少なく、半数前後が300万円未満となっている。

◆あなたとパートナーを合わせたおおよその年収

(「既婚 (入籍済)」 「既婚 (未入籍)」 「近々結婚の予定がある」と回答した方)

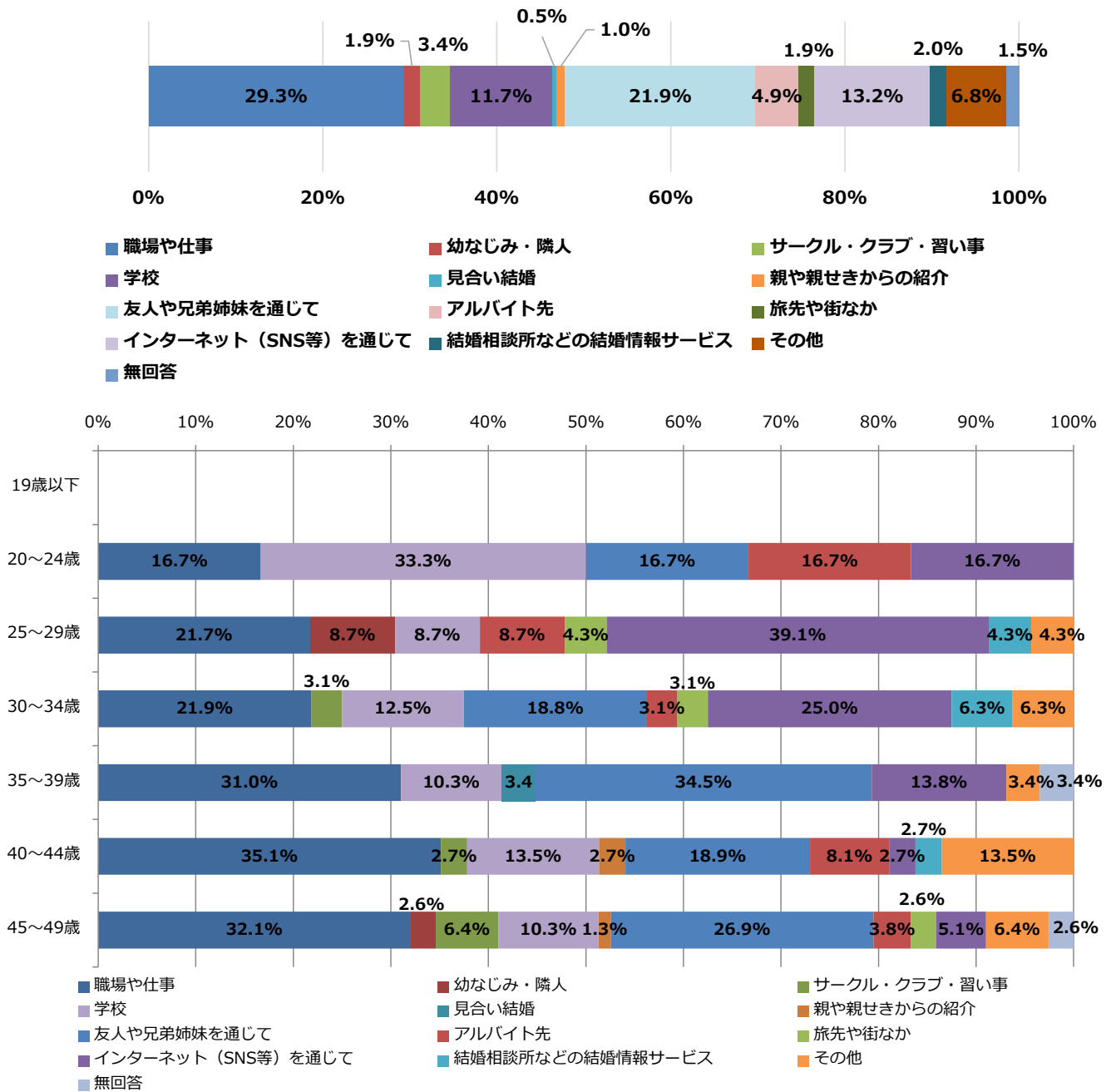


◆考察

- ・パートナーがいる20歳以上で、パートナーと合わせた年収は、いずれも「200～600万円未満」が最も多くなっており、20～24歳で66.7%、25～29歳で43.5%を占めている。年齢が上がると徐々に年収も上昇し、35～39歳では1,600～2,000万円が20.7%を占めている。

◆パートナーとどこで知り合ったか

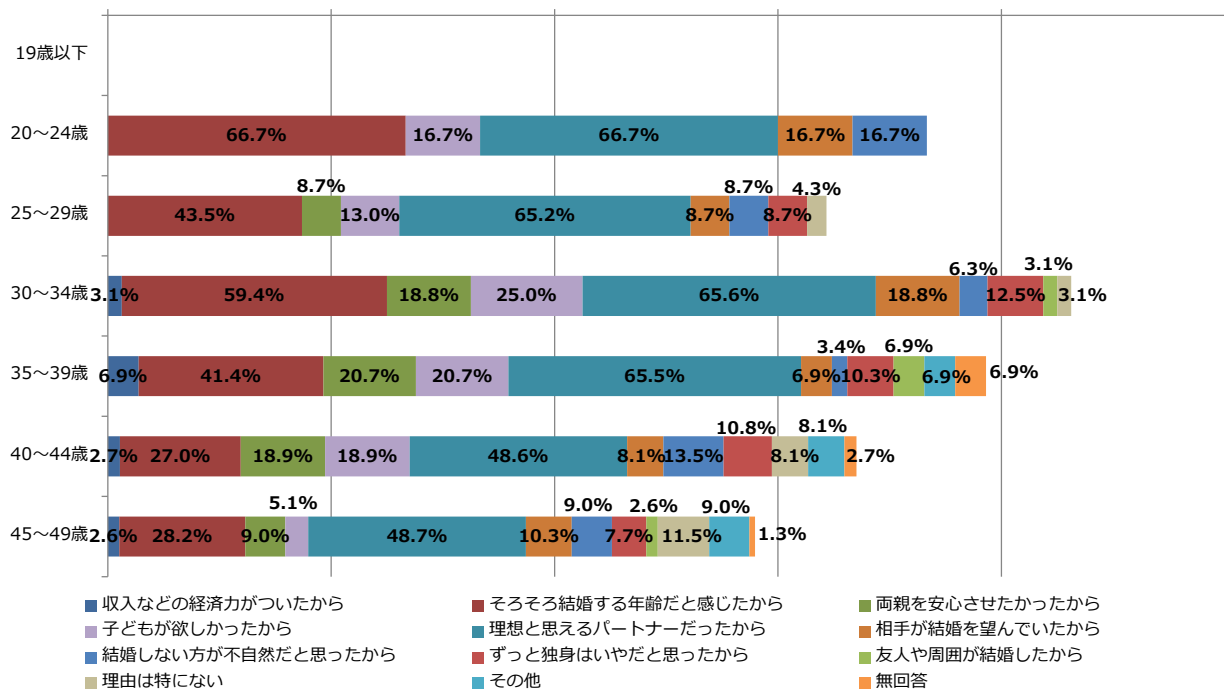
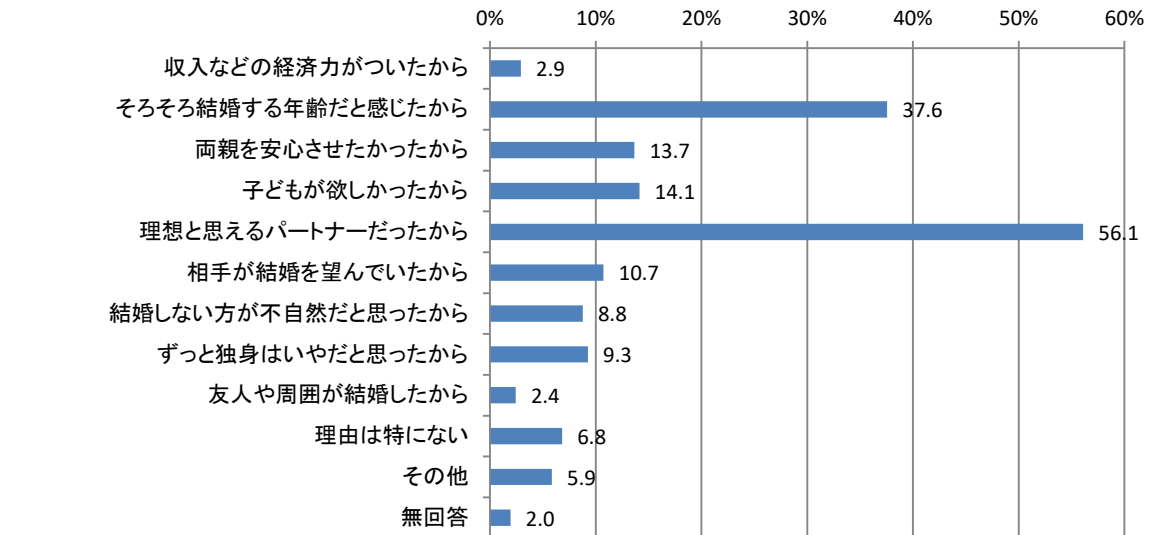
（「既婚（入籍済）」「既婚（未入籍）」「近々結婚の予定がある」と回答した方）



◆考察

・20～24 歳で「学校」33.3%、「アルバイト先」16.7%などがあるが、25～29 歳では「インターネット（SNS 等）を通じて」が39.1%と多く、35 歳以上では「職場や仕事」「見合い結婚」の割合が高くなっている。

◆パートナーと結婚を決めたきっかけは（最大3項目まで回答）
（「既婚（入籍済）」「既婚（未入籍）」「近々結婚の予定がある」と回答した方）

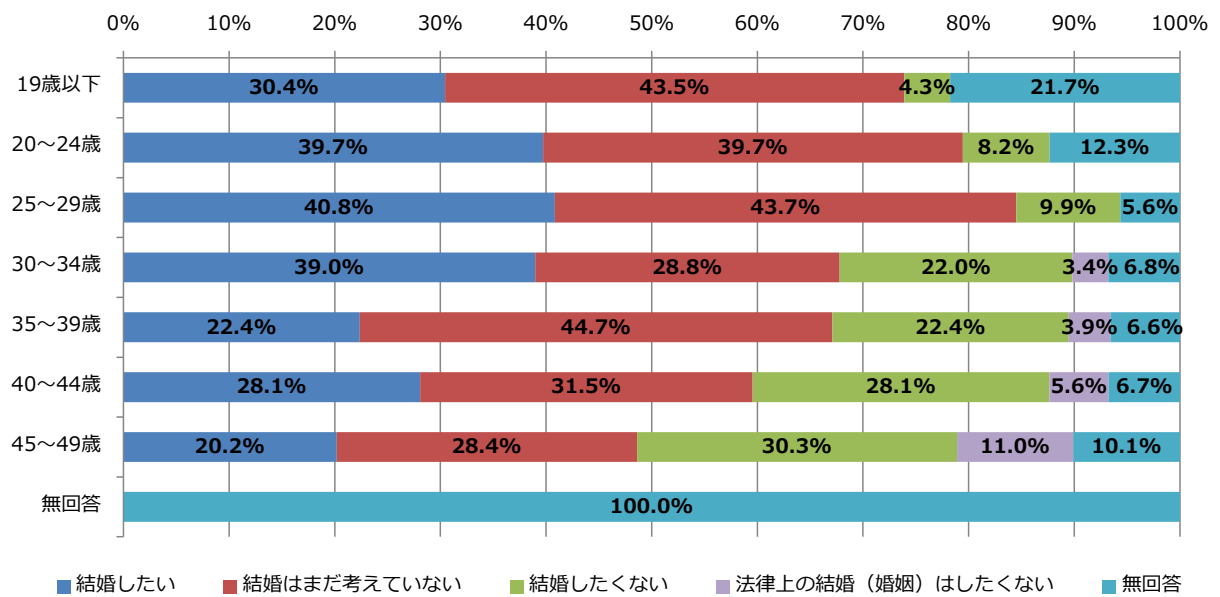
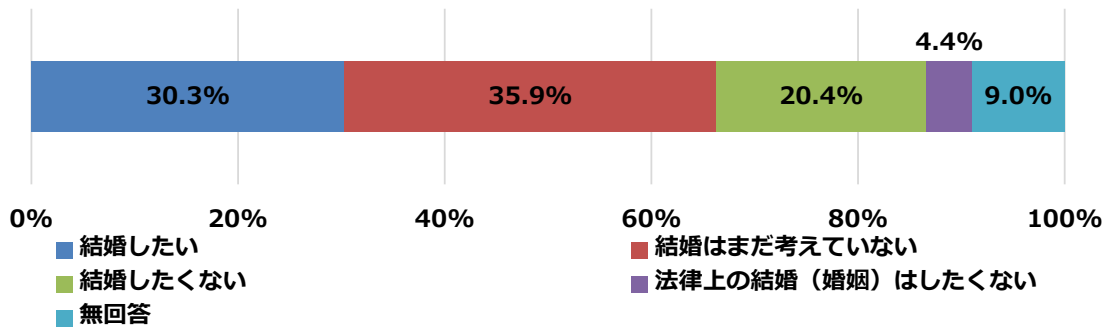


◆考察

- ・どの年代も「理想と思えるパートナーだったから」が最も多くなっているが、20～24歳と30～34歳で「そろそろ結婚する年齢だと感じたから」それぞれ66.7%、59.4%を占めている。

◆結婚の希望

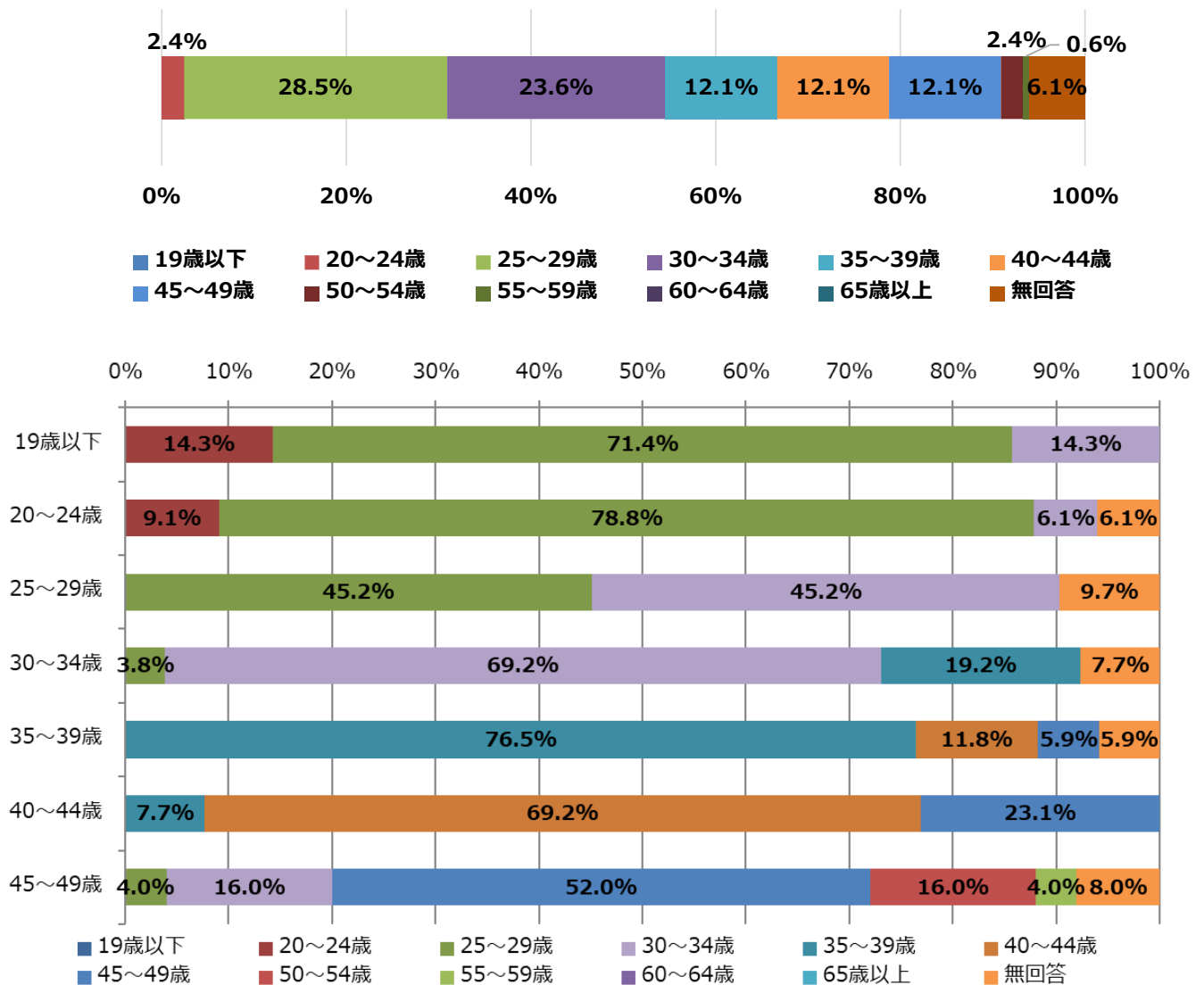
(「以前、結婚していた」「未婚」と回答した方)



◆考察

- ・ 19 歳以下から 30～34 歳までの若い世代では、「結婚したい」の割合が 40%前後あるが、それ以上の世代も含めて「結婚はまだ考えていない」も 40%前後あり、30 歳以上では「結婚したくない」が 20%以上を占めている。

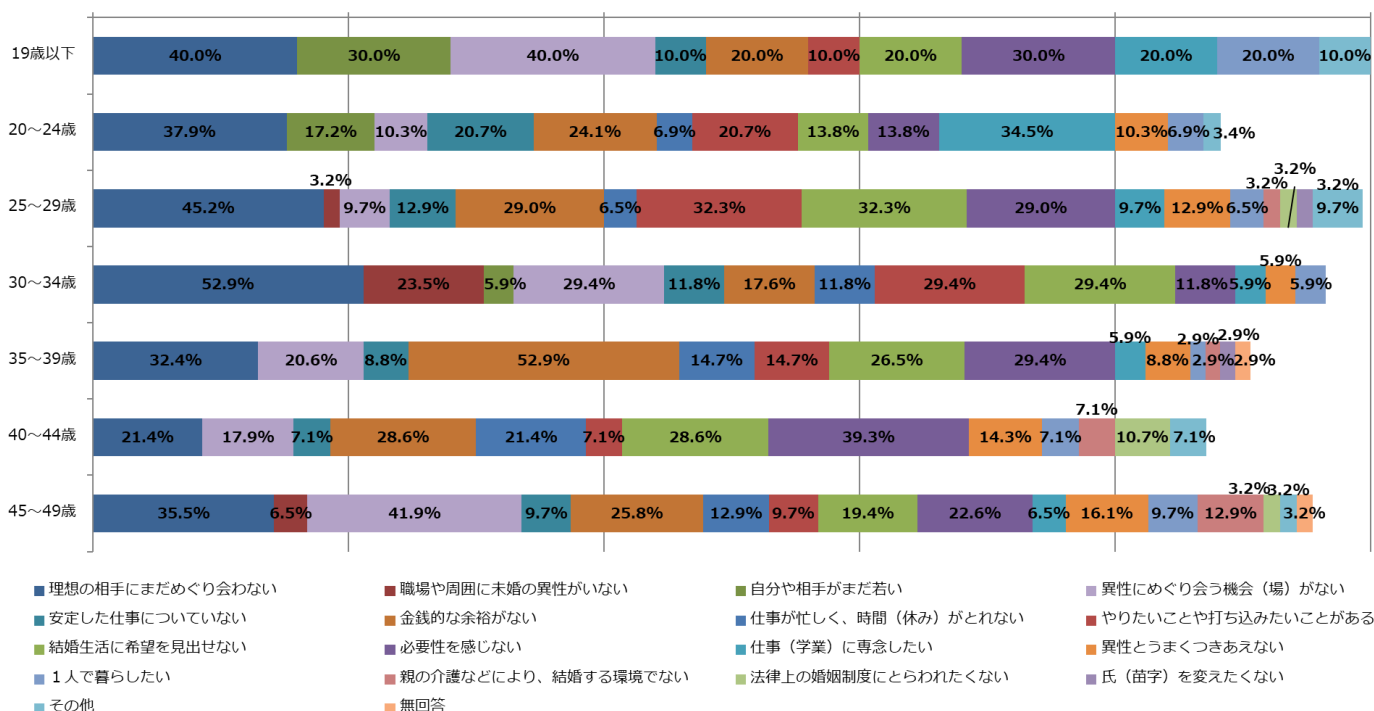
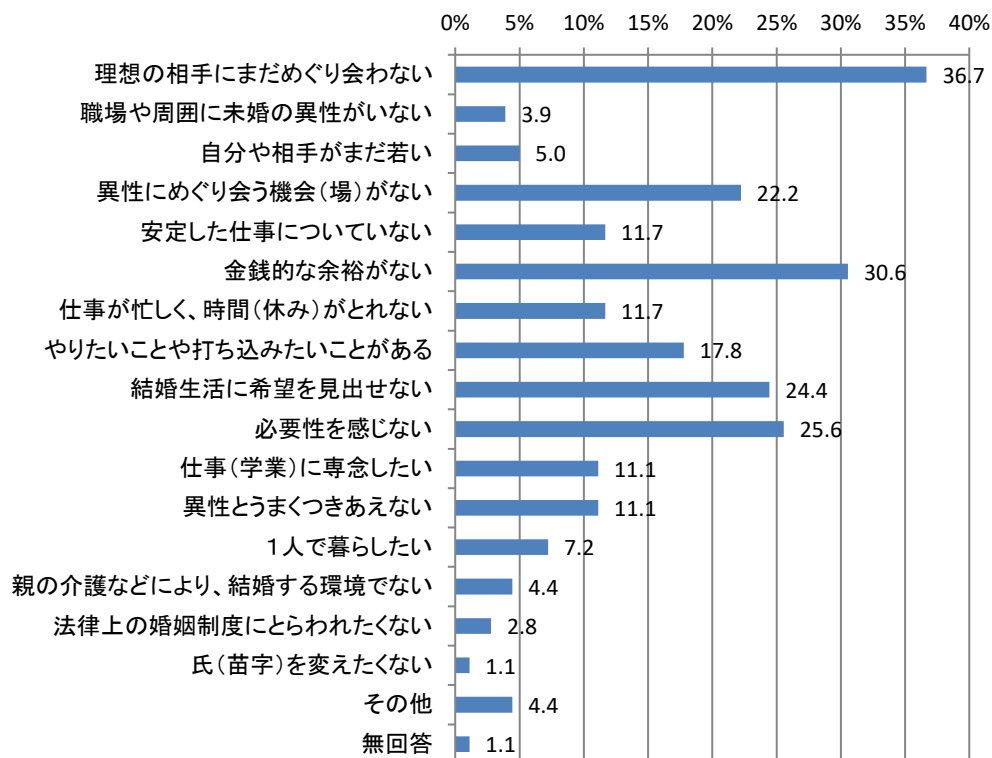
◆結婚の予定または希望する結婚年齢は
（「近々結婚の予定がある」または「結婚したい」と回答した方）



◆考察

- ・25～29歳までの若い世代では「25～29歳」とする割合が最も多いが、30～34歳以上の世代では自分の現在の年齢階層（つまり近い将来）での結婚を希望する割合が高くなっている。

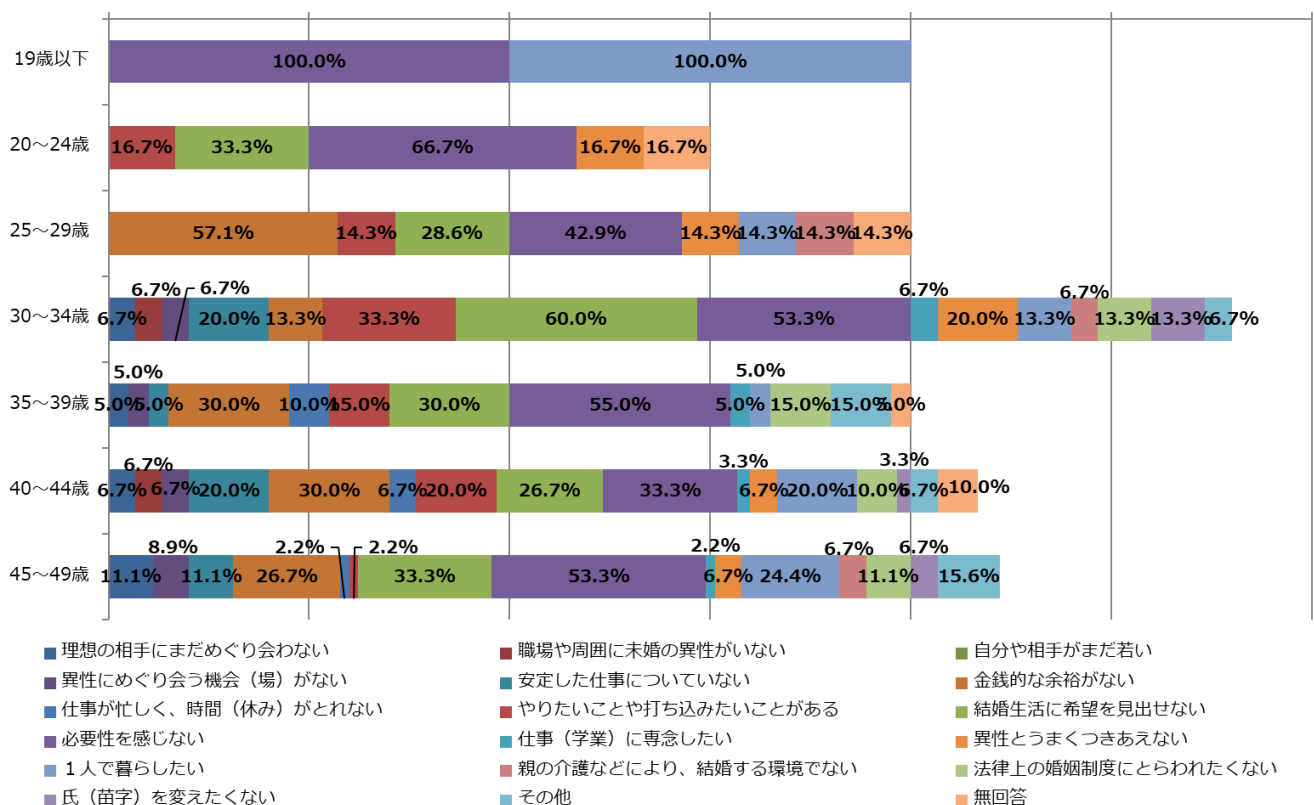
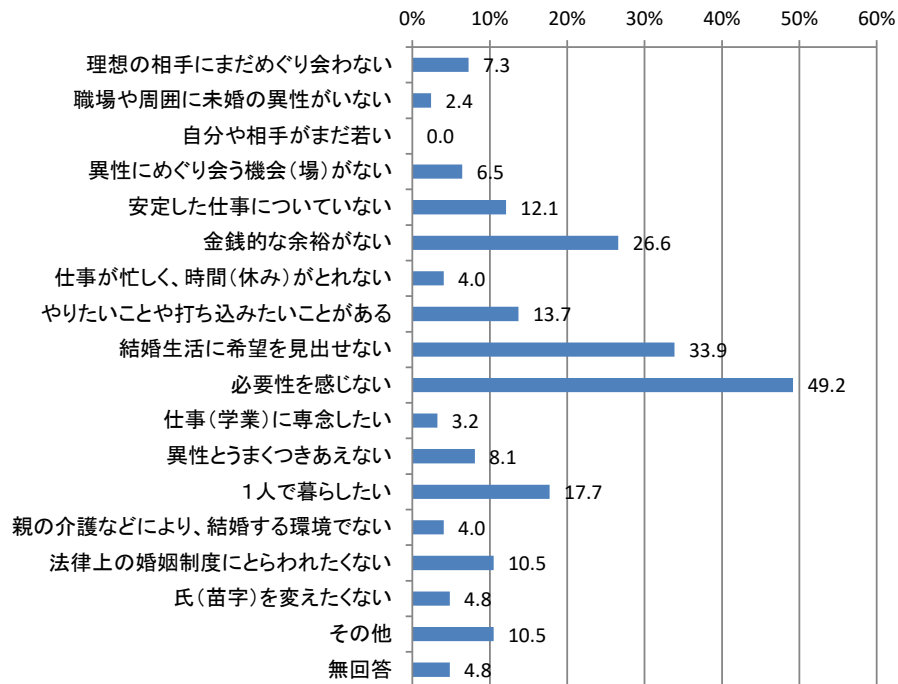
◆結婚をまだ考えていない理由は（最大3項目まで回答）
（「結婚はまだ考えていない」と回答した方）



◆考察

- ・19歳以下から30～34歳までの若い世代では、「理想の相手にまだめぐり会わない」の割合が高いが、35～39歳では「金銭的な余裕がない」が52.9%、45～49歳では「異性にめぐり会う機会（場）がない」が41.9%と最も多くなっている。

◆結婚したくない理由は（最大3項目まで回答）
（「結婚したくない」「法律上の結婚はしたくない」と回答した方）

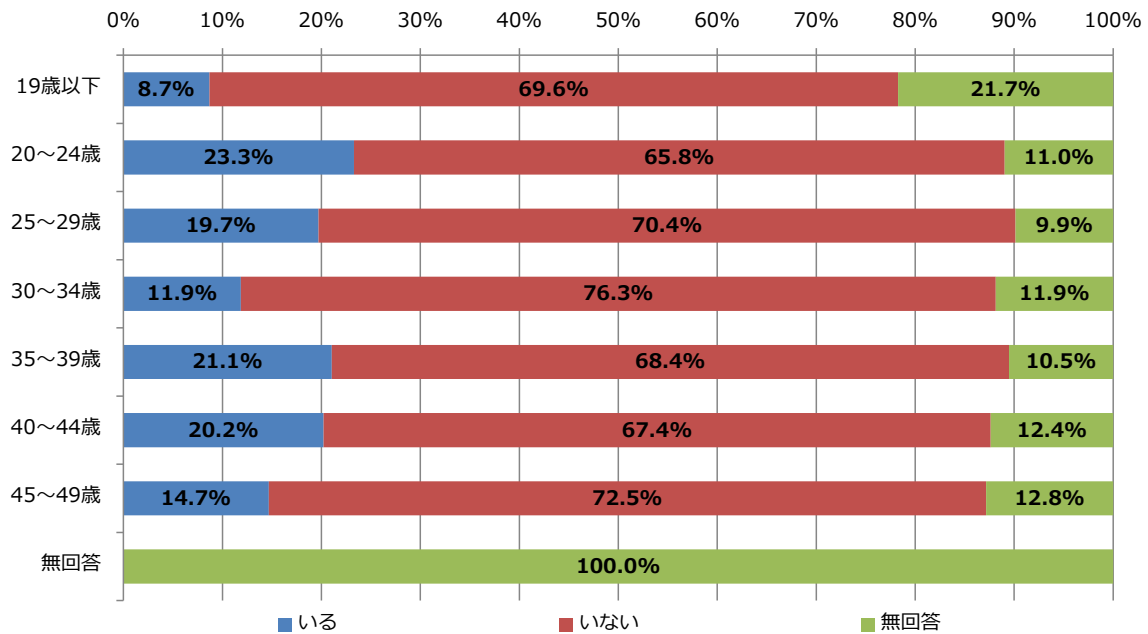
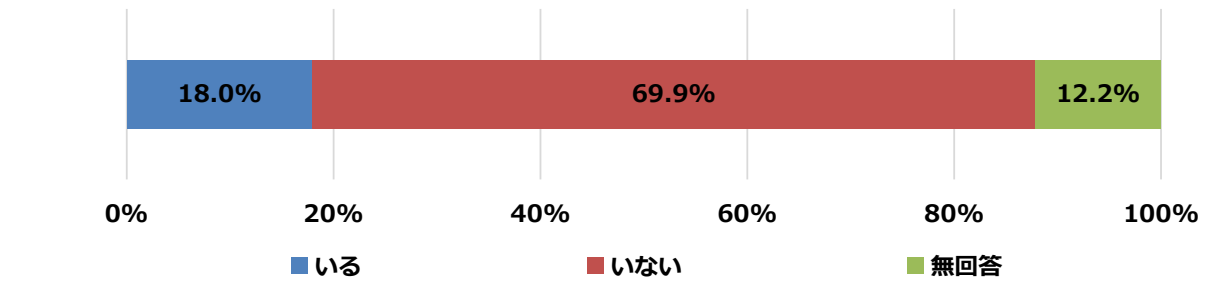


◆考察

- ・どの年代でも「必要性を感じない」が多くなっており、「金銭的な余裕がない」「結婚生活に希望を見出せない」なども多くなっている。

◆交際している人はいるか

(「以前、結婚していた」「未婚」と回答した方)

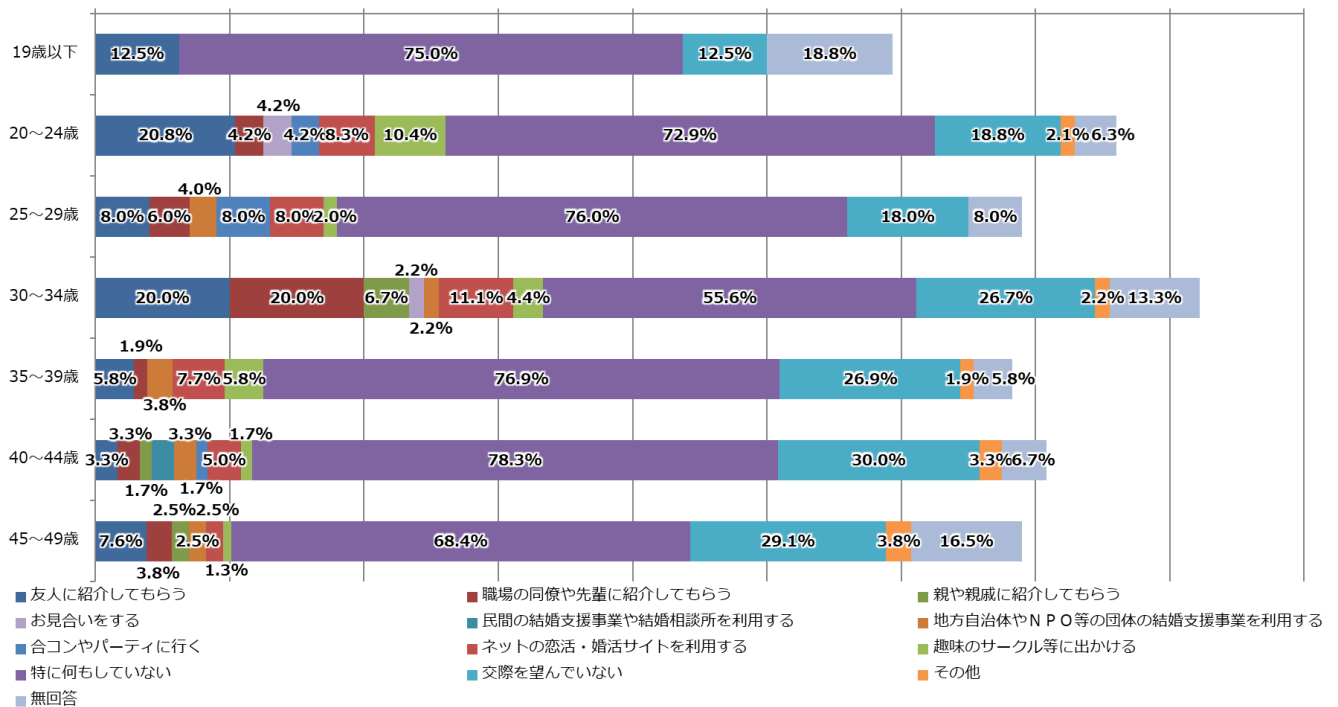
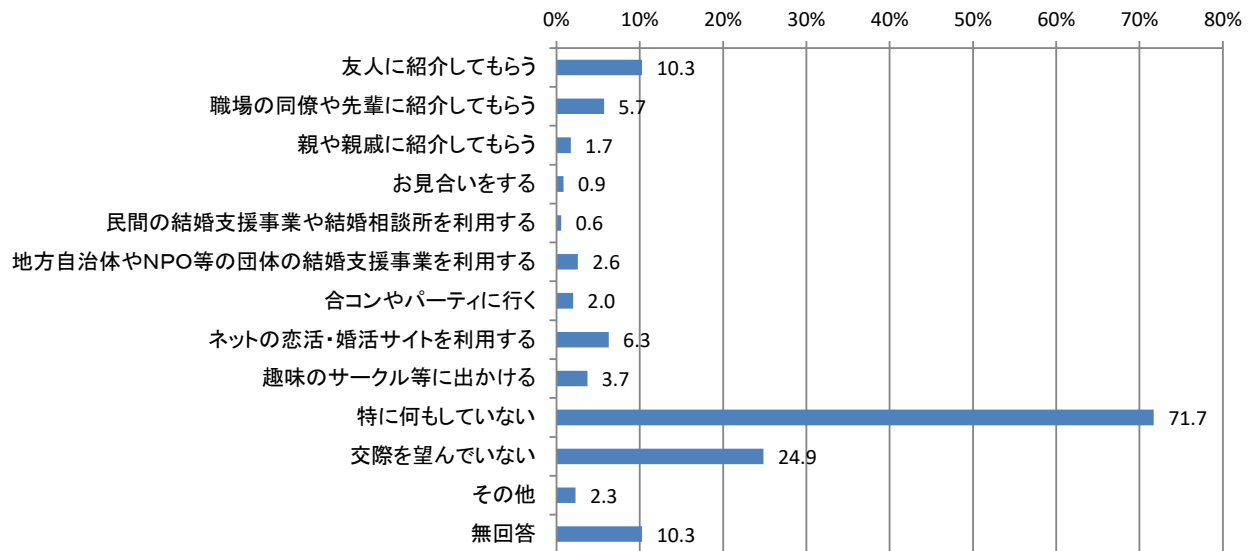


◆考察

・いずれの年代も「いない」とする回答が多く 70%前後を占めている。

◆交際相手と出会うために行っていること。また、今後行いたいことは
 (「交際されている方はいない」と回答した方)

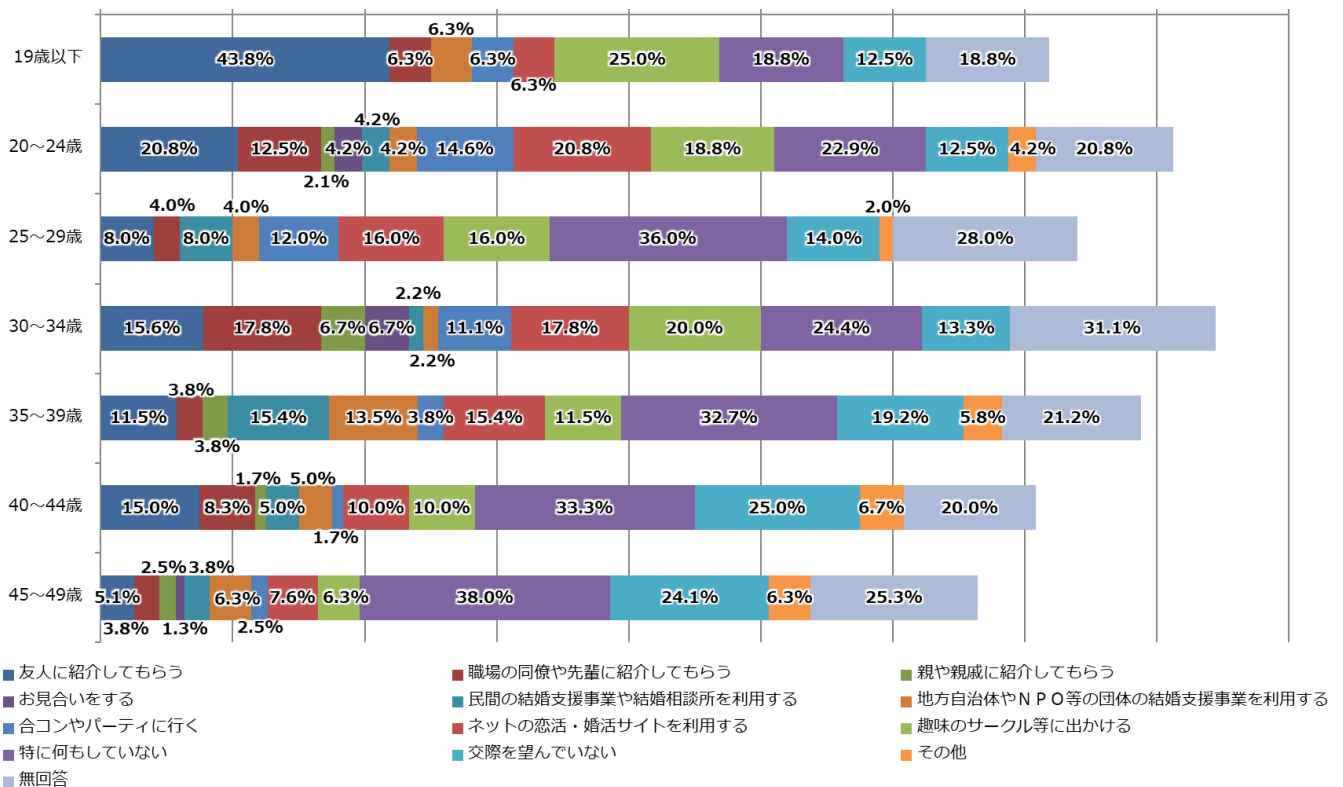
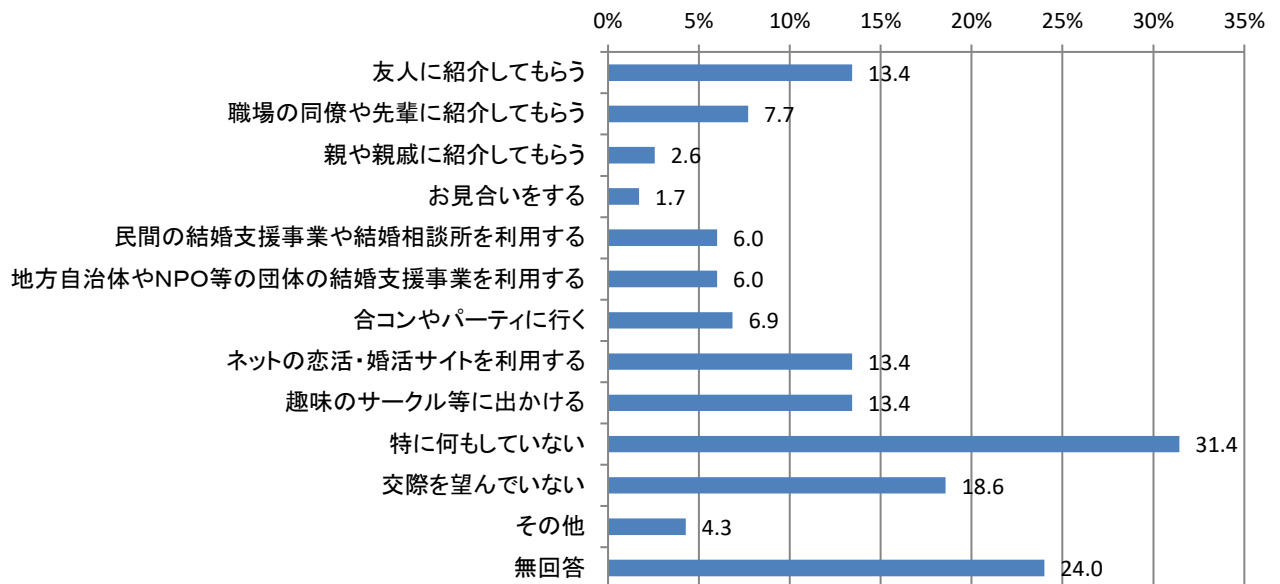
【現在行っていること】(最大3項目まで回答)



◆考察

- ・どの年代も「特に何もしていない」が最も多いが、次いで「交際を望んでいない」とする回答が続いており、若い世代では「友人に紹介してもらう」も比較的に多くなっている。

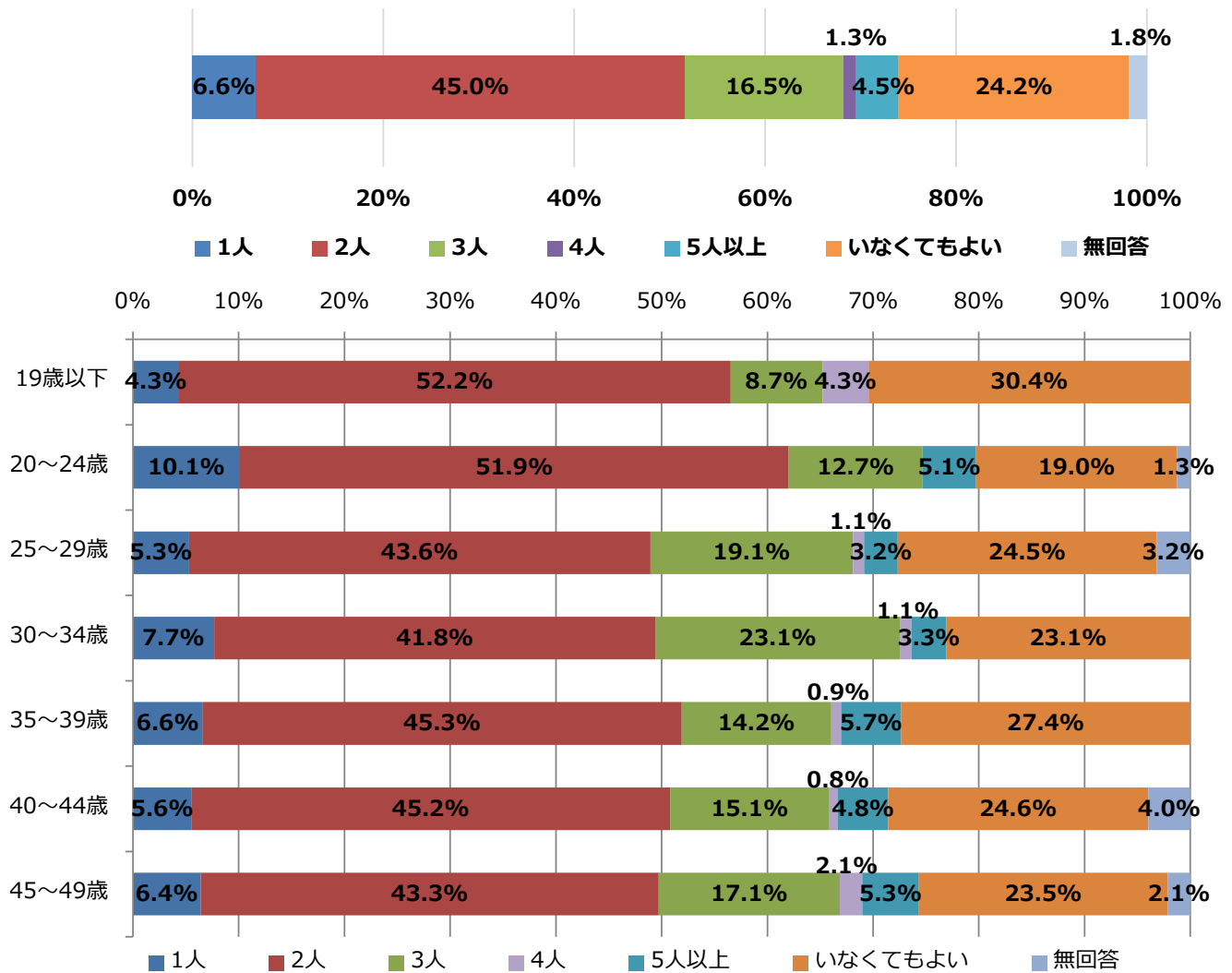
【今後行いたいこと】（最大3項目まで回答）



◆考察

- ・19歳以下では「友人に紹介してもらう」が43.8%を占めて最も多いが、他の年代では「特に何もしていない（しない）」や「交際を望んでいない」が多くなっている。

◆理想とする子どもの数

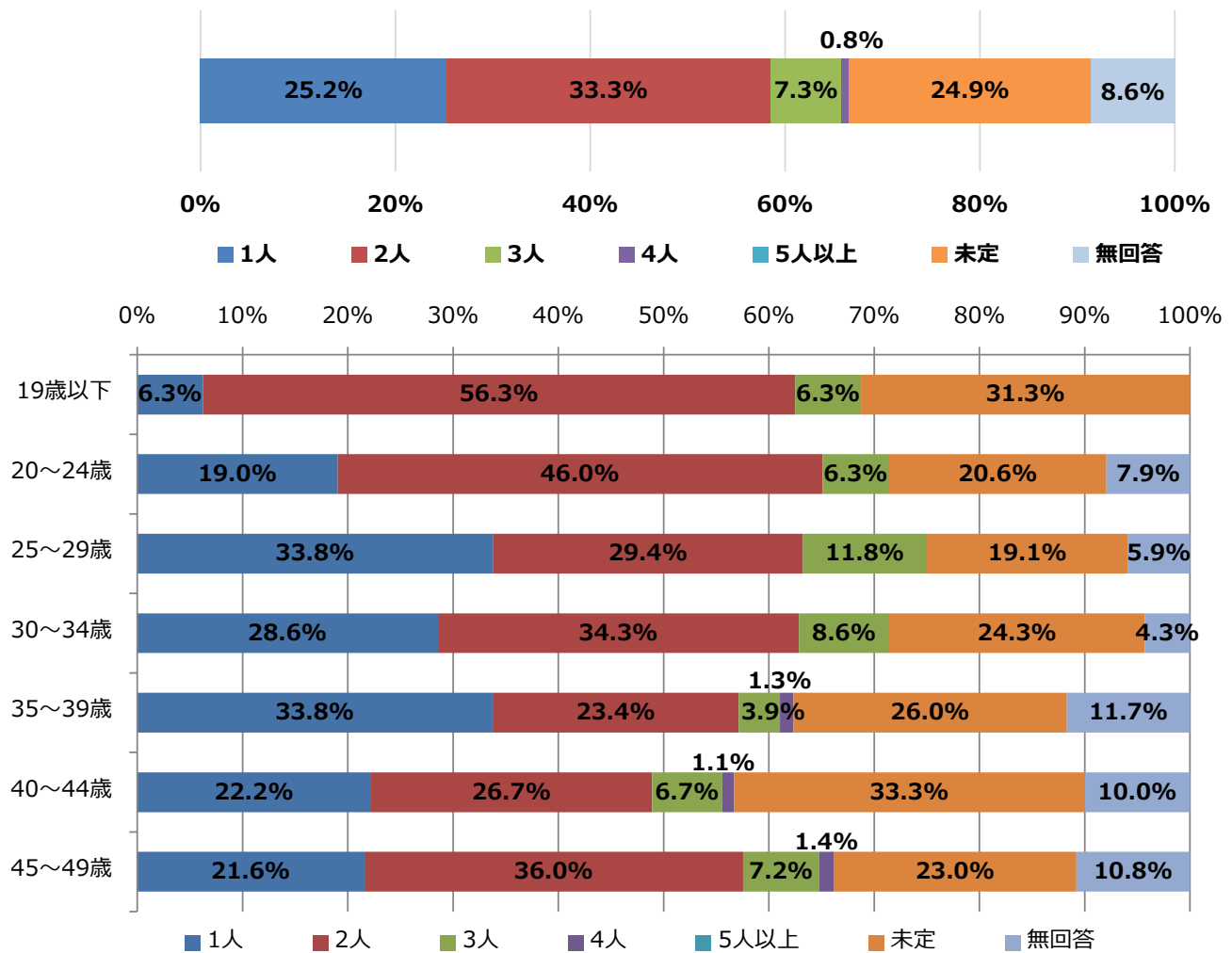


◆考察

- ・どの年代も「2人」とする回答が多いが、「いなくてもよい」が20～30%を占めている。

◆実際に持てると思う子どもの数

(理想の子どもの数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方)

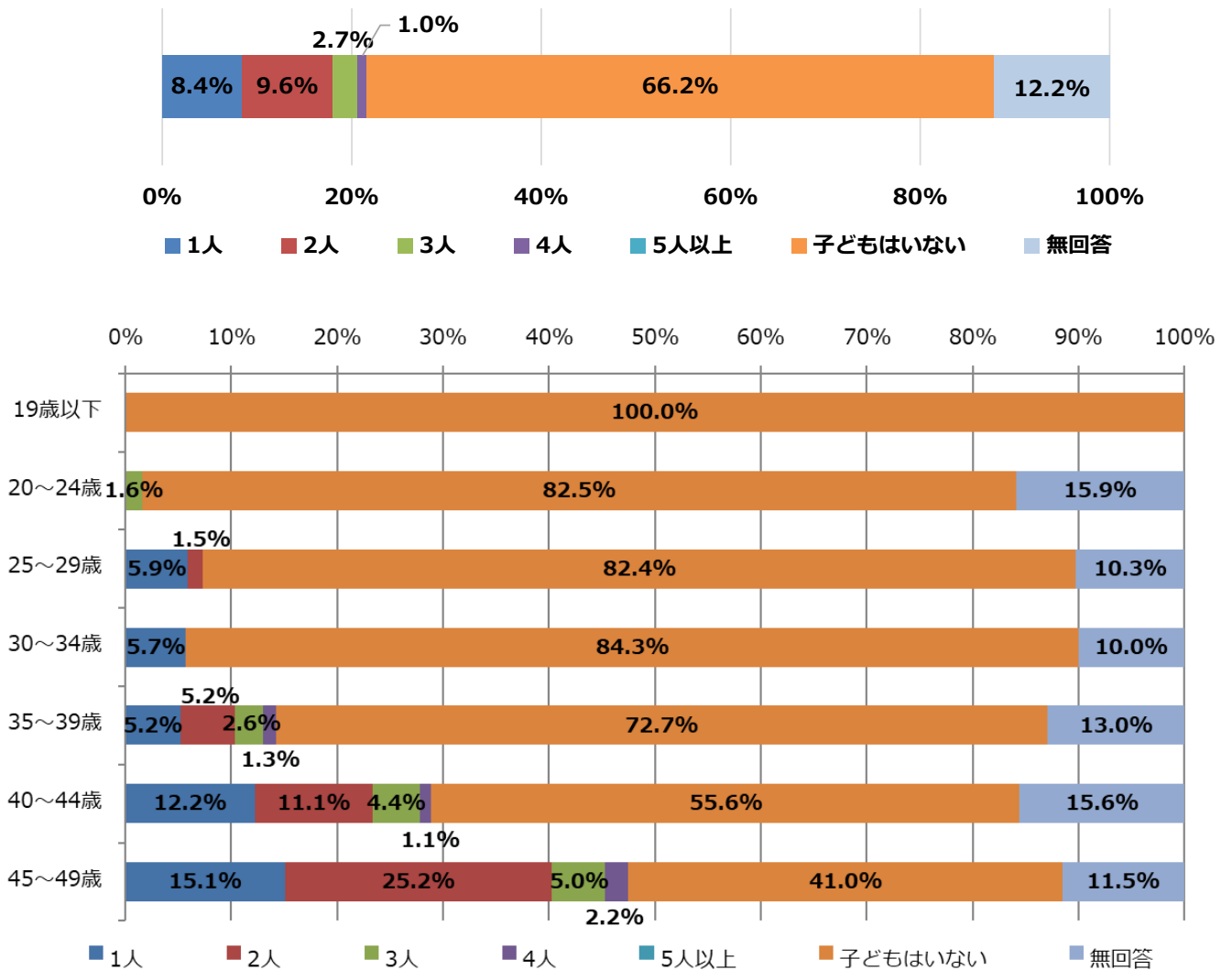


◆考察

- ・どの年代も、理想とする子どもの数での回答に比べて「1人」とする割合が多くなっている。

◆現在の子ども数

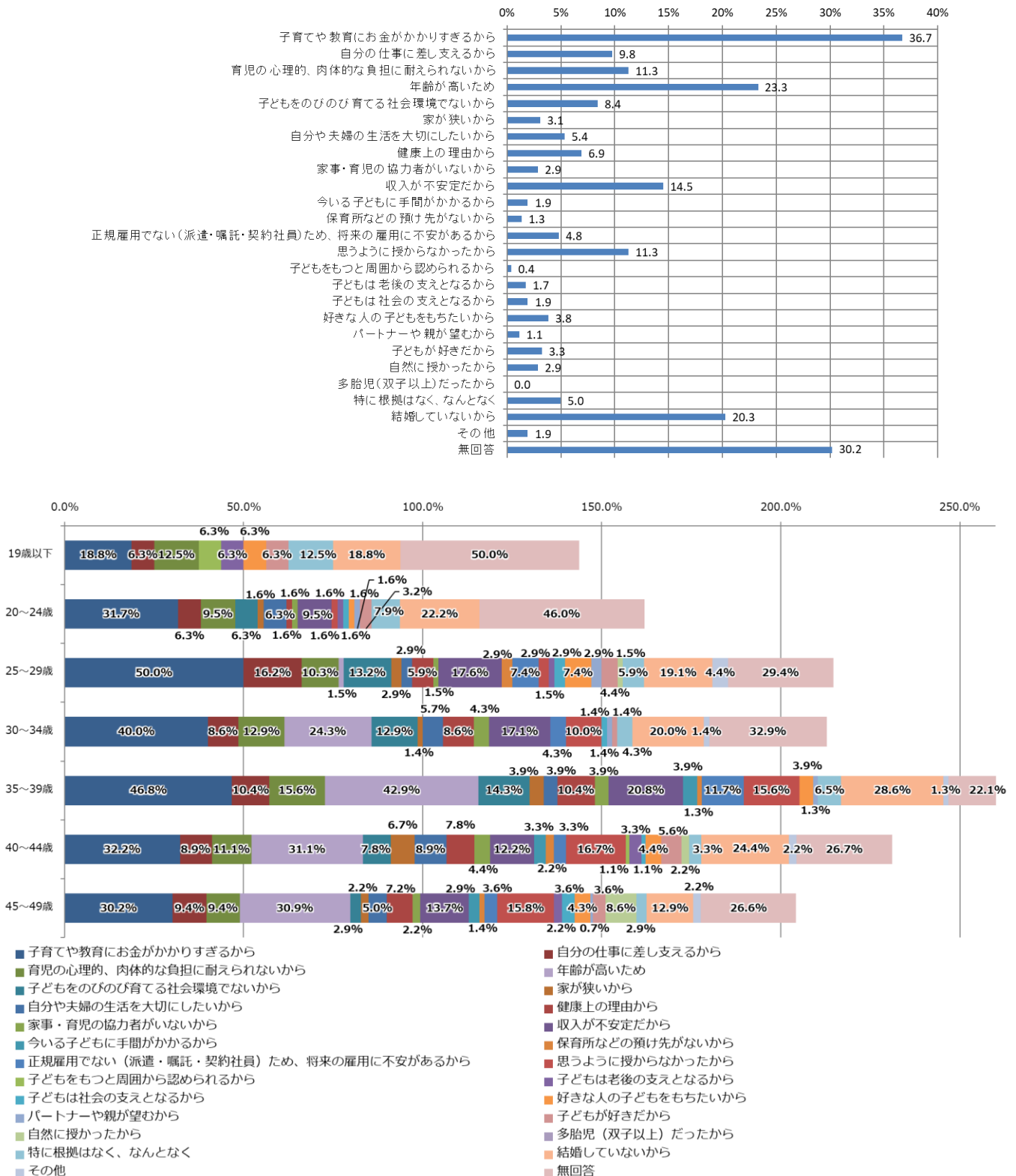
(理想の子ども数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方)



◆考察

・どの年代も「子どもはいない」が最も多くなっている。

◆「理想の子ども数」と、「実際にもてる子ども数」に違いがある理由は（あてはまるもの全て回答）
（理想の子ども数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方）

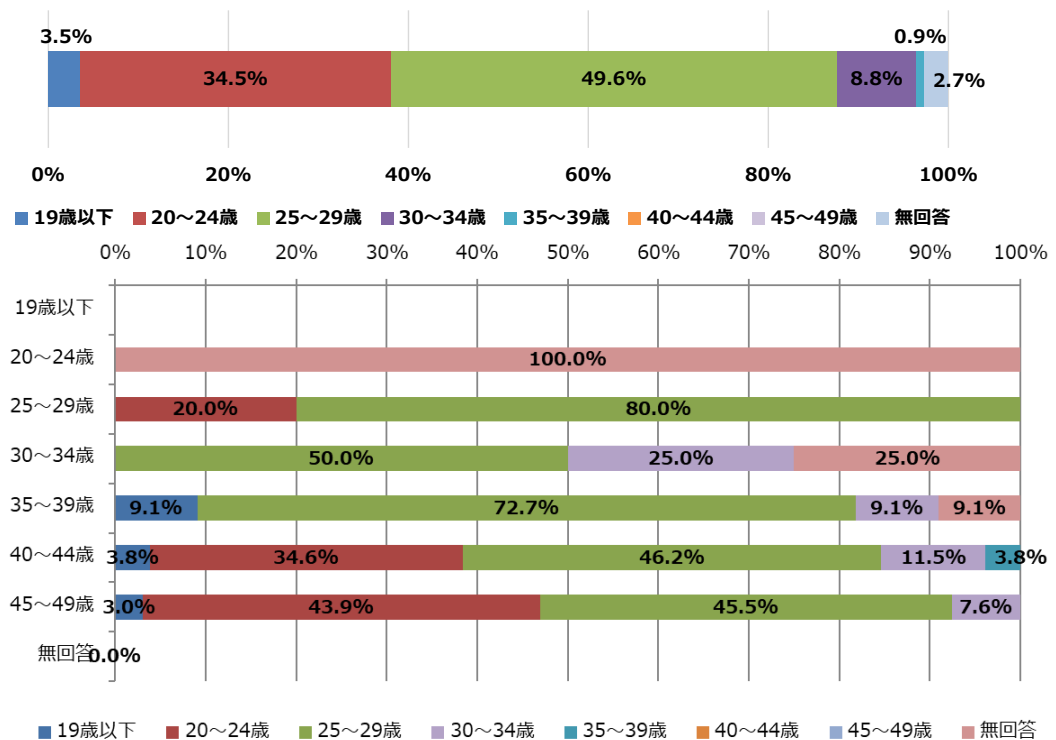


◆考察

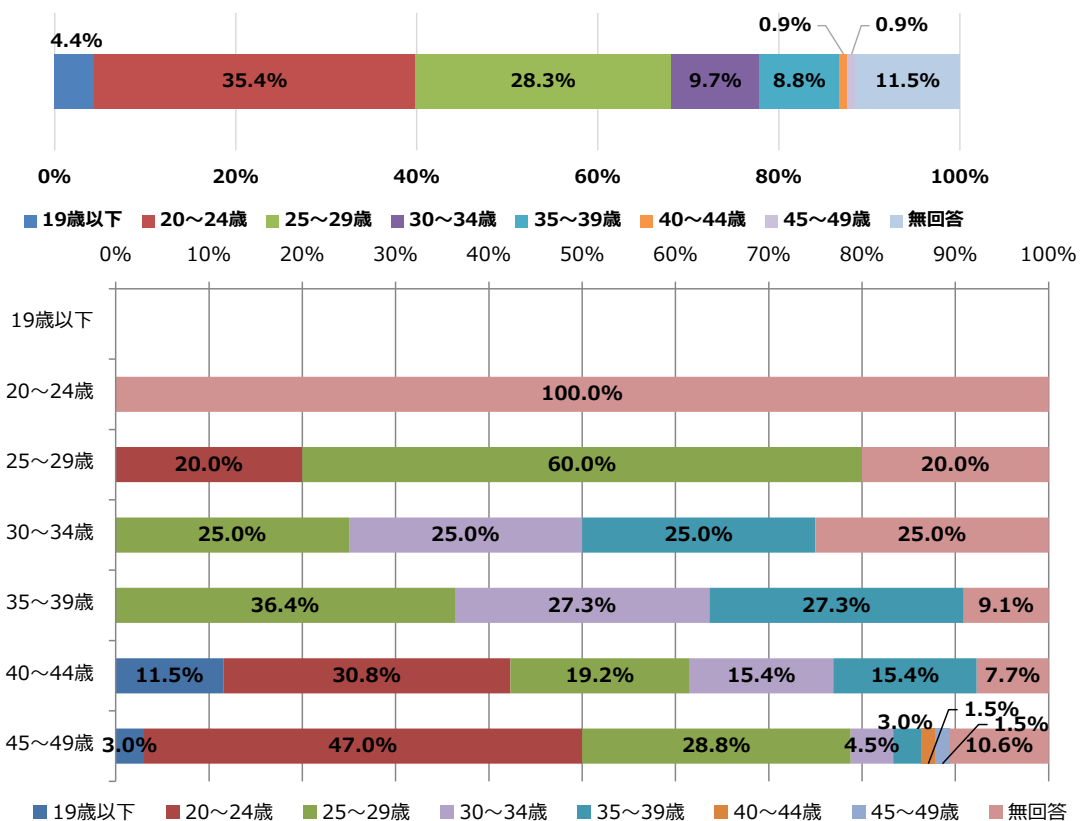
- ・どの年代も「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が多いが、35歳以上では「年齢が高いため」の割合も多くなっている。

◆ 第1子の誕生により親となった年齢の理想と実際
(子どもがいる方)

【理想】



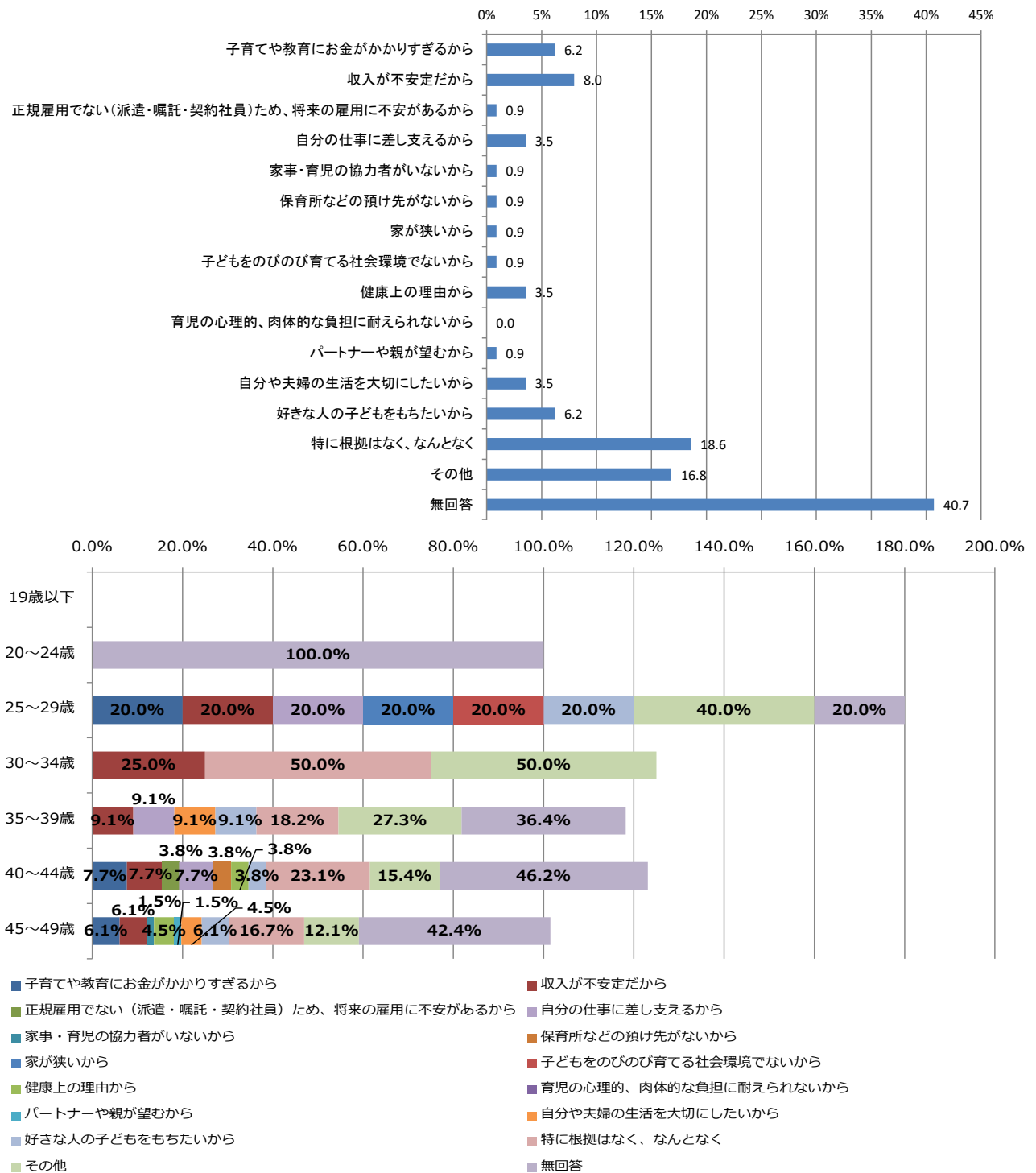
【実際】



◆ 考察

- ・ 理想は29歳までとする割合が多いが、実際は30歳以上の方では30歳を過ぎてから親になる割合が多い。

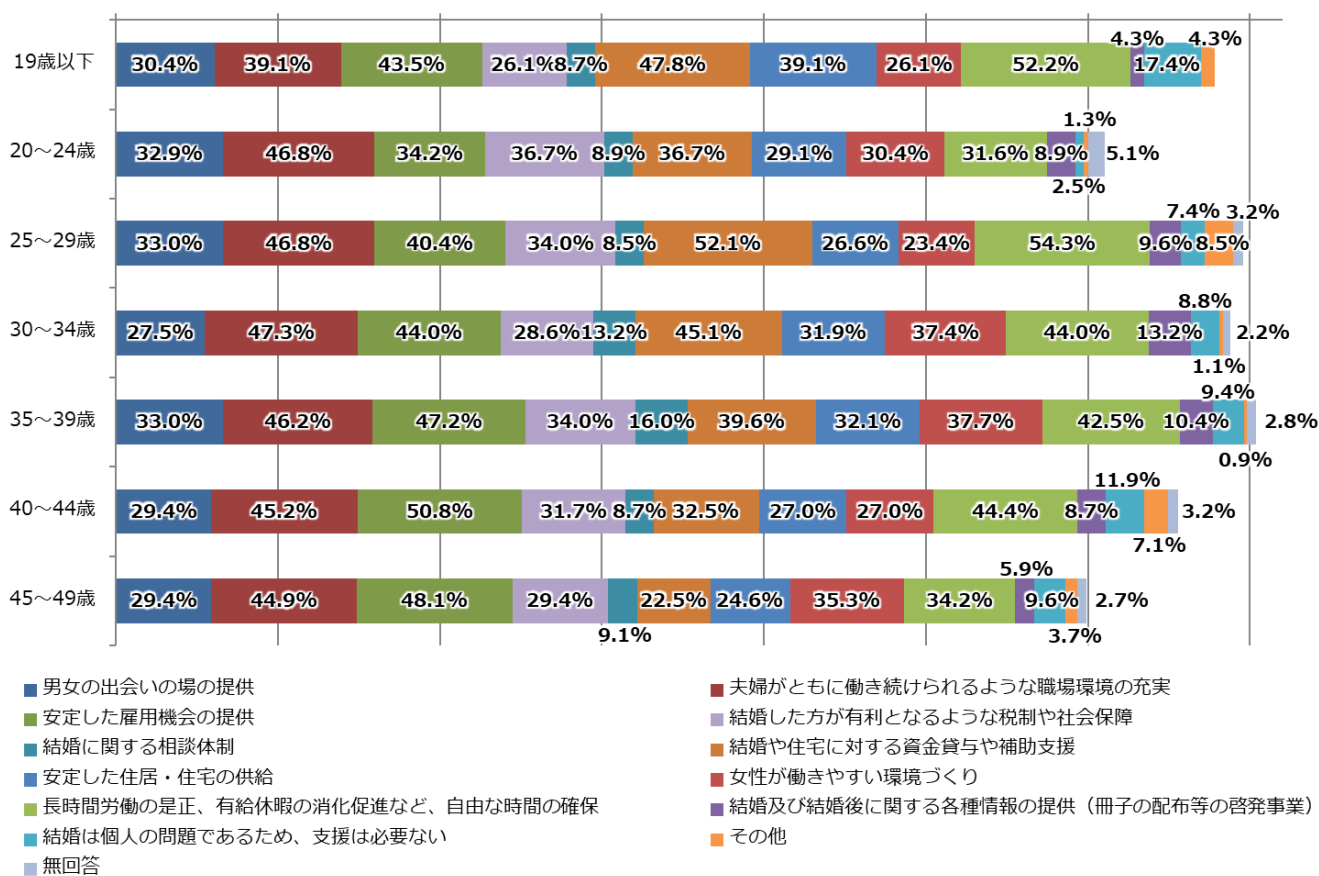
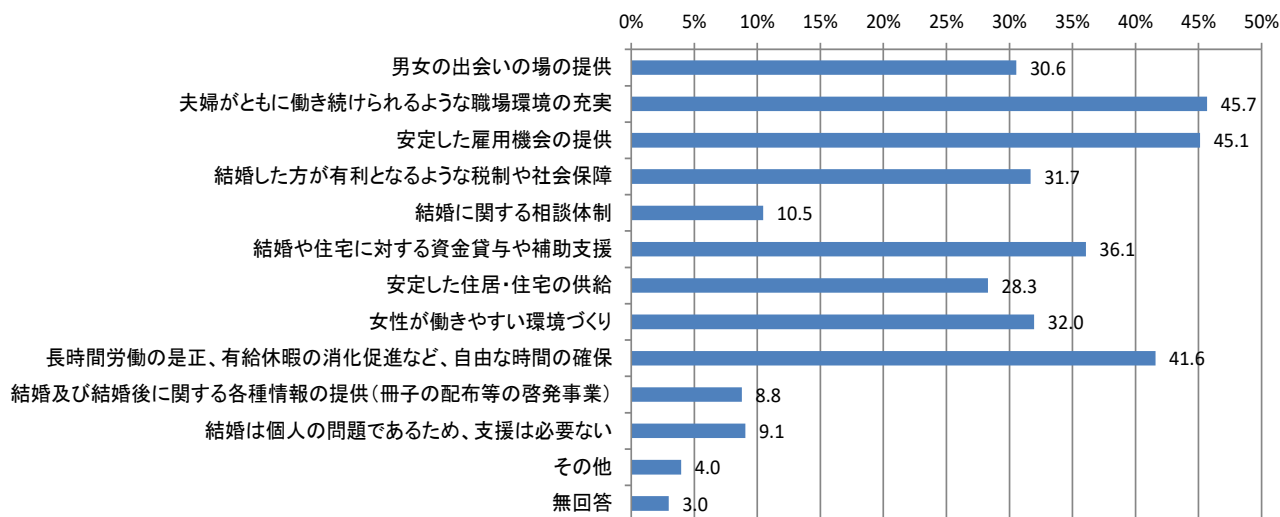
◆親となった年齢の理想と実際に違いがある理由は（あてはまるもの全て回答）



◆考察

- ・30歳以上では「特に根拠はなく、なんとなく」「その他」が多いが、30～34歳では「収入が不安定だから」とする割合も多い。

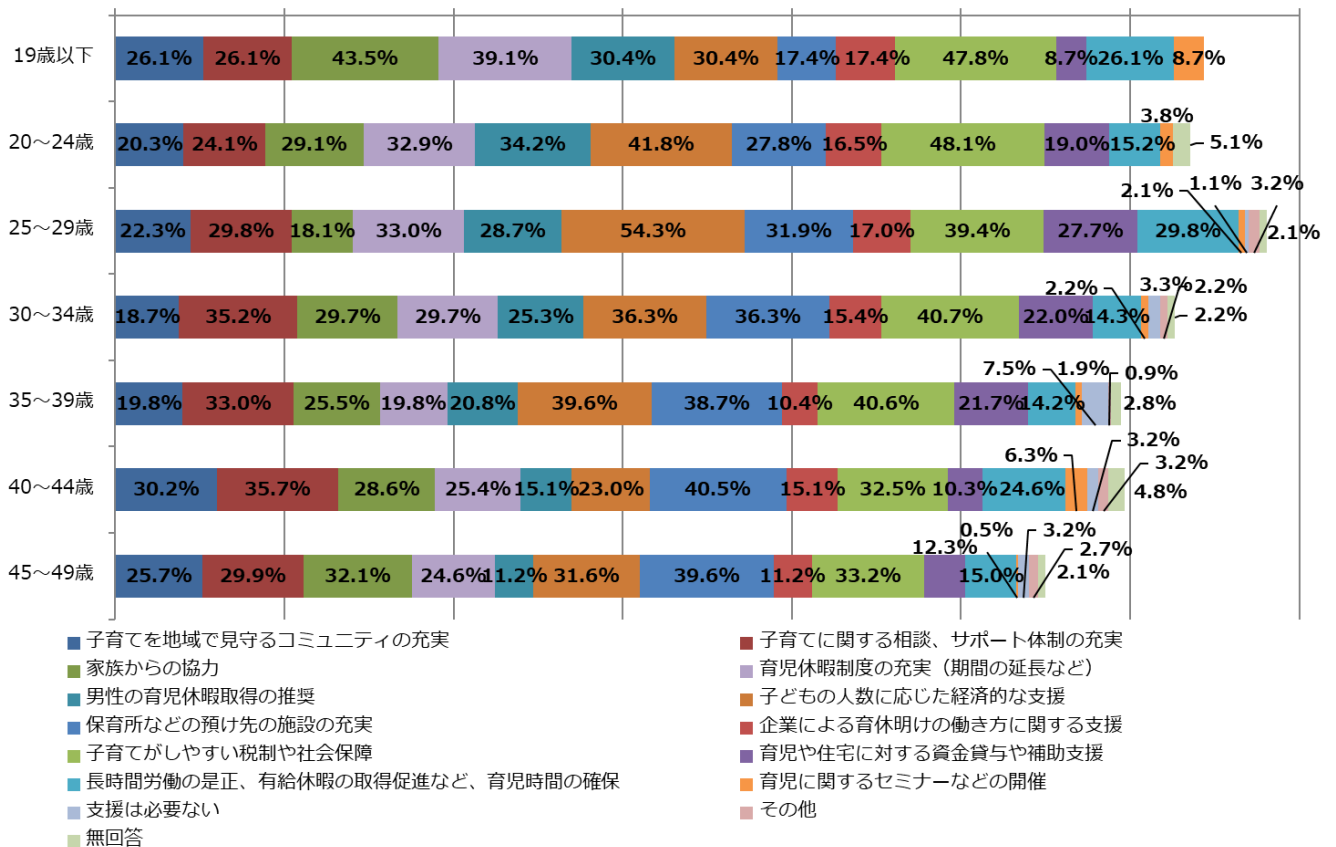
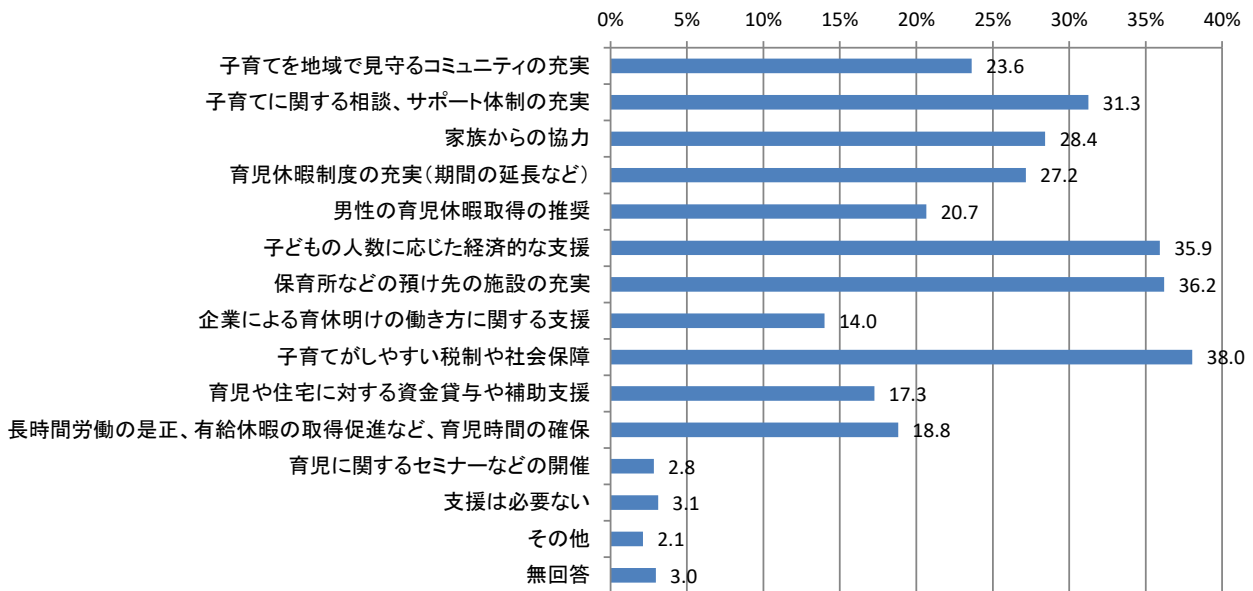
◆結婚しやすい、したいと思える環境づくりに効果的な支援は（あてはまるもの全て回答）



◆考察

- ・どの年代も支援策は多様にあげられているが、若い年代では「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が比較的に多くなっている。

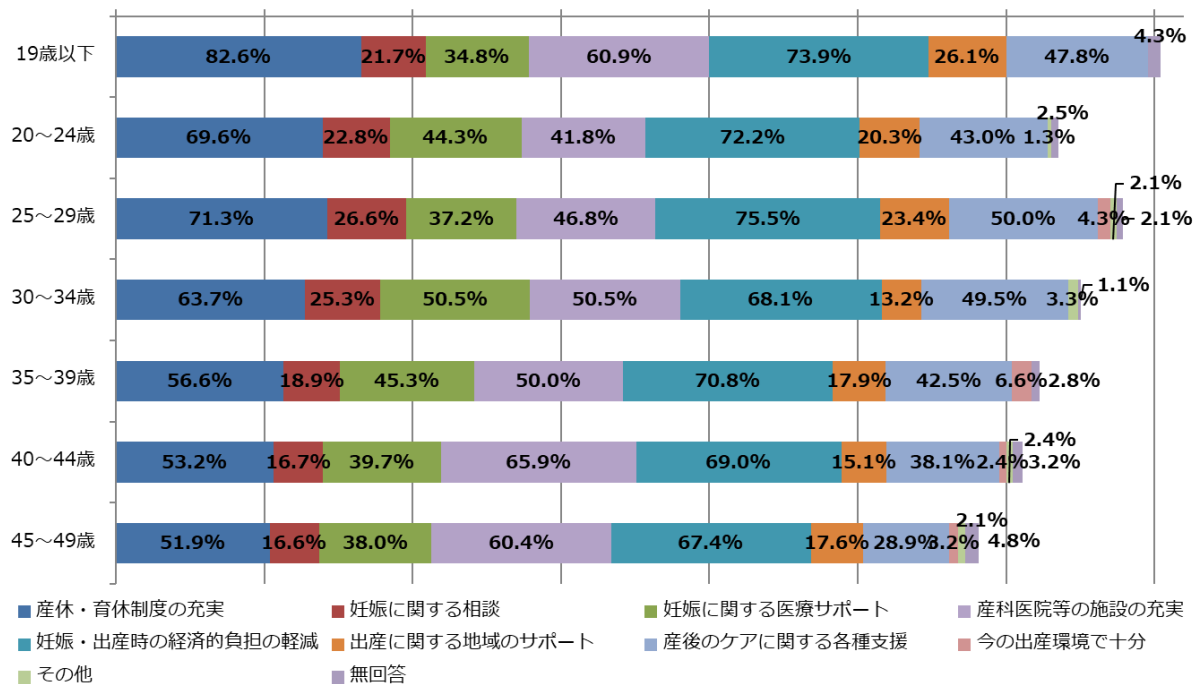
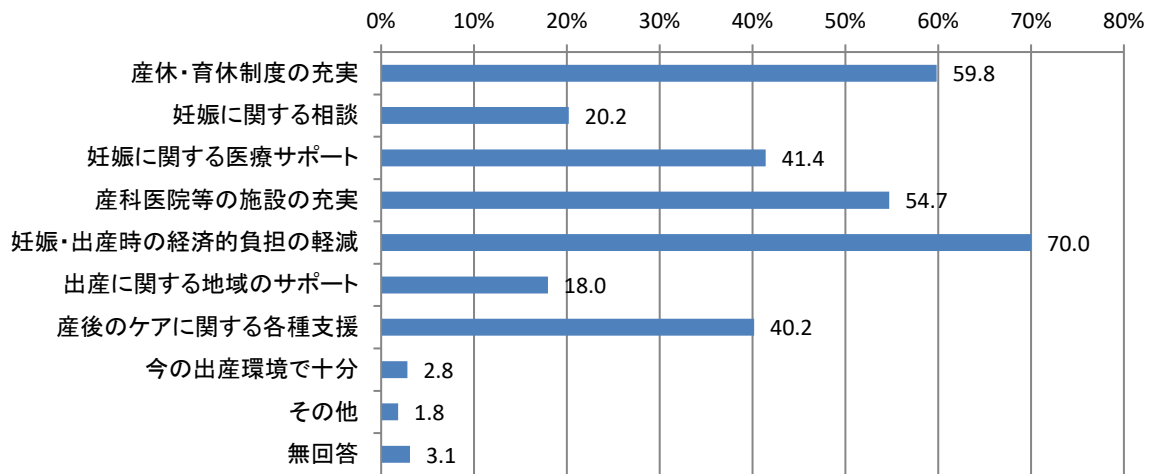
◆子育てしやすい環境づくりに必要だと思う支援は（最大3項目まで回答）



◆考察

- ・どの年代も支援策は多様にあげられており、「子育てがしやすい税制や社会保障」などが比較的によくあげられている。

◆出産しやすい環境づくりに必要だと思う支援は（あてはまるもの全て回答）

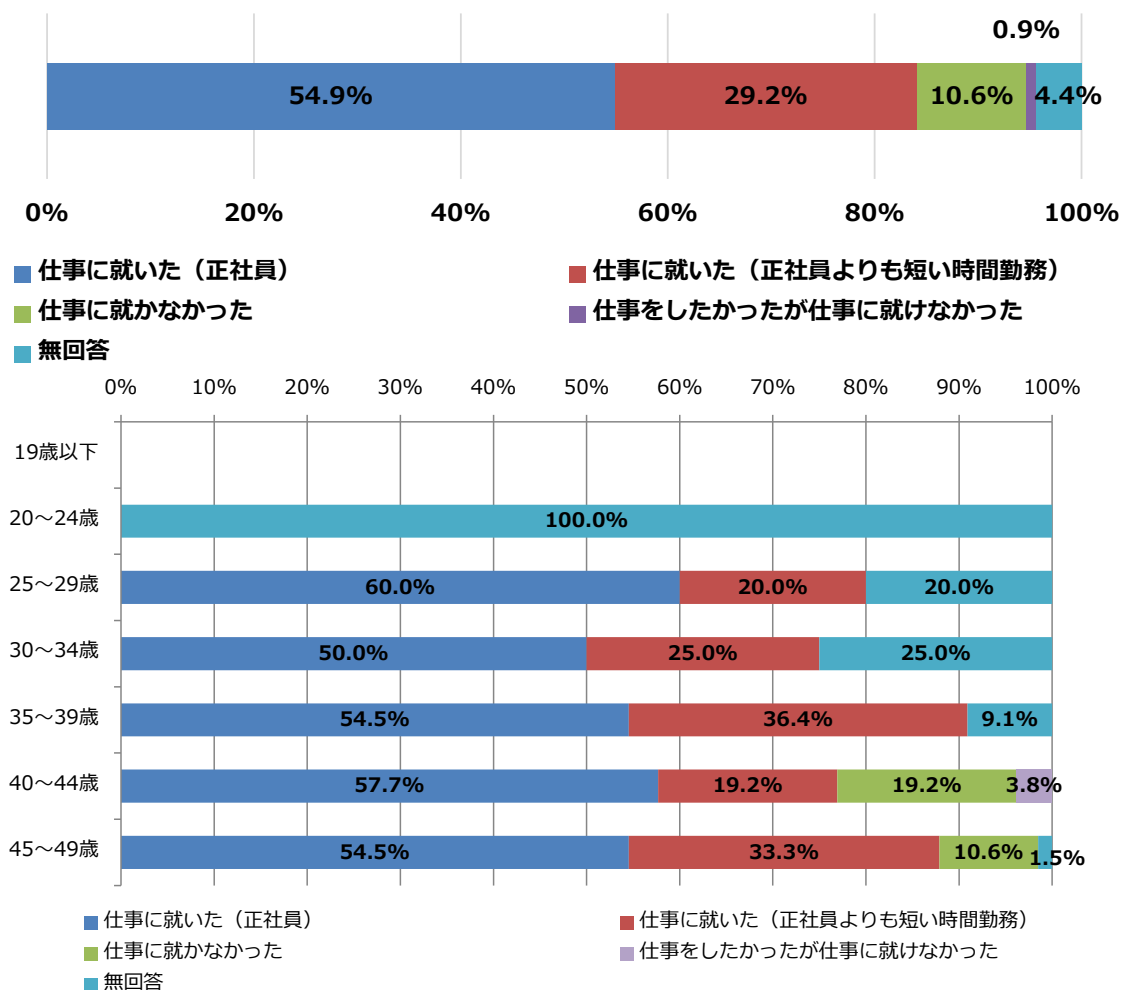


◆考察

- ・どの年代も「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が最も多くなっているが、20歳代では「産休・育休制度の充実」が、30歳代以上では「産科医院等の施設の充実」の割合が比較的に多くなっている。

③仕事のあり方について

◆出産した後の就労状況 (子どもがいる方)

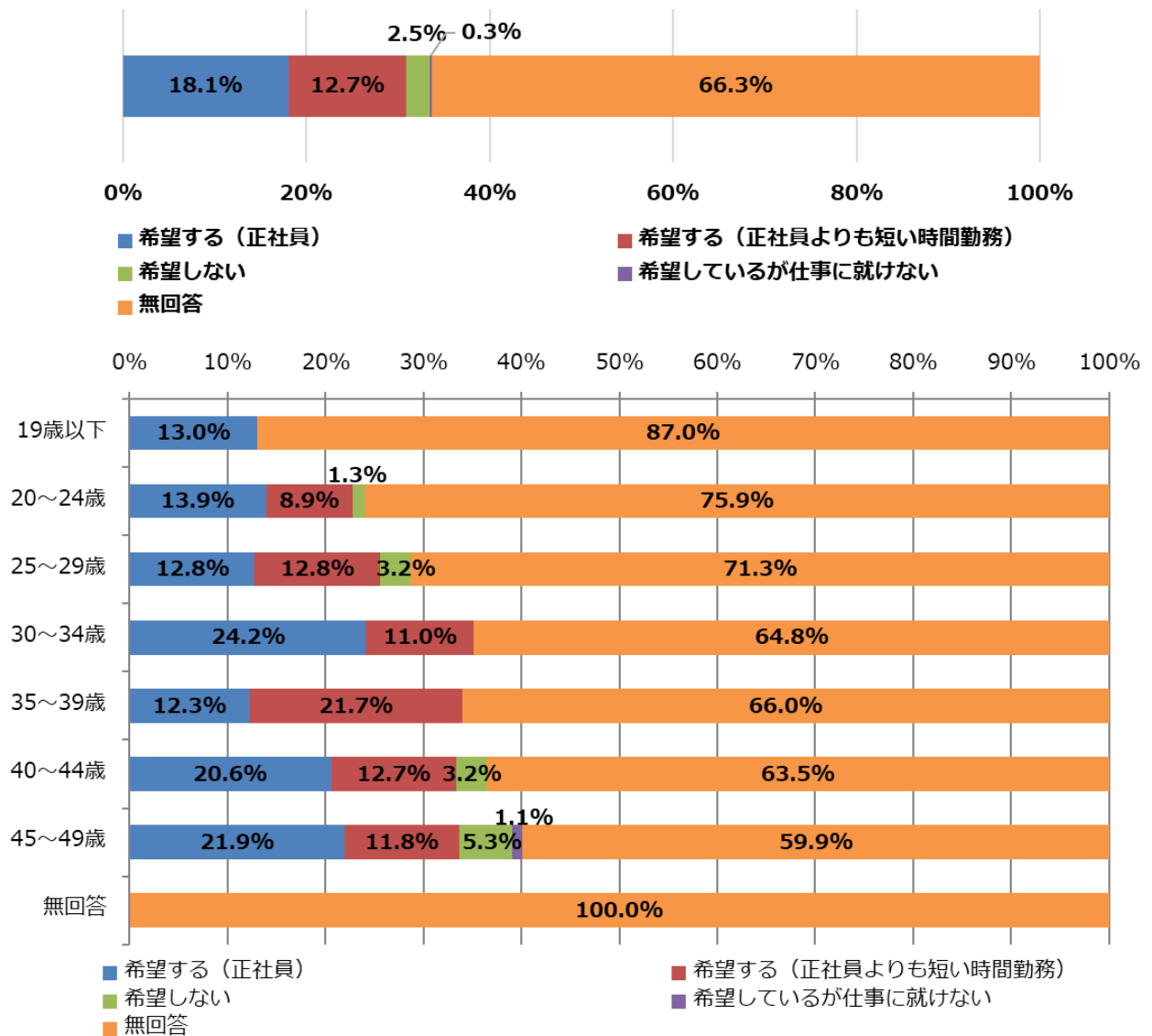


◆考察

- ・どの年代も「仕事に就いた（正社員）」が多く、次いで「仕事に就いた（正社員よりも短い時間勤務）」が続いている。

◆出産後の仕事の希望

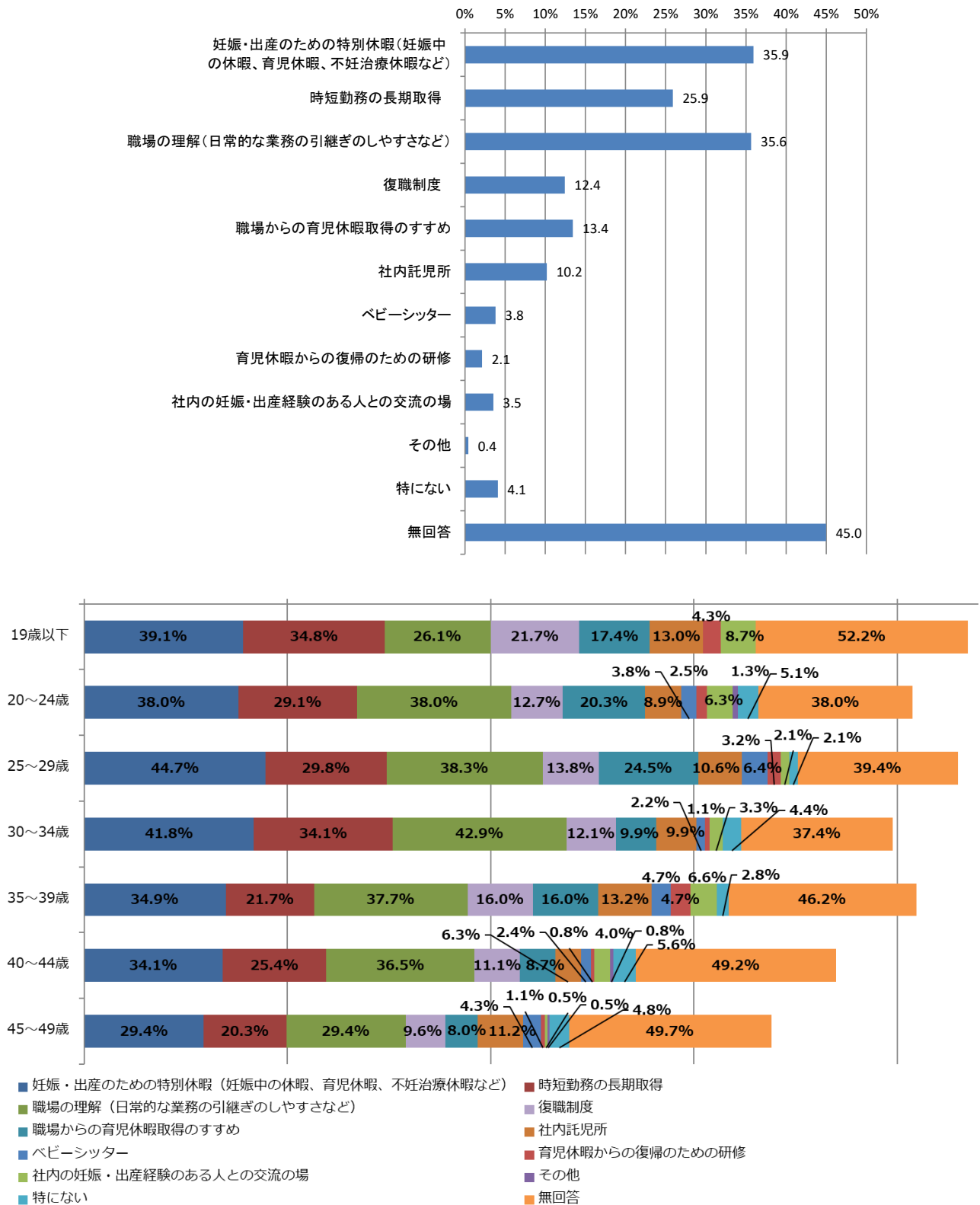
(子どもがいる方または子どもが欲しい方)



◆考察

- ・どの年代も無回答が多いが、回答の中では「仕事に就いた（正社員）」や「仕事に就いた（正社員よりも短い時間勤務）」が同程度の割合となっている。

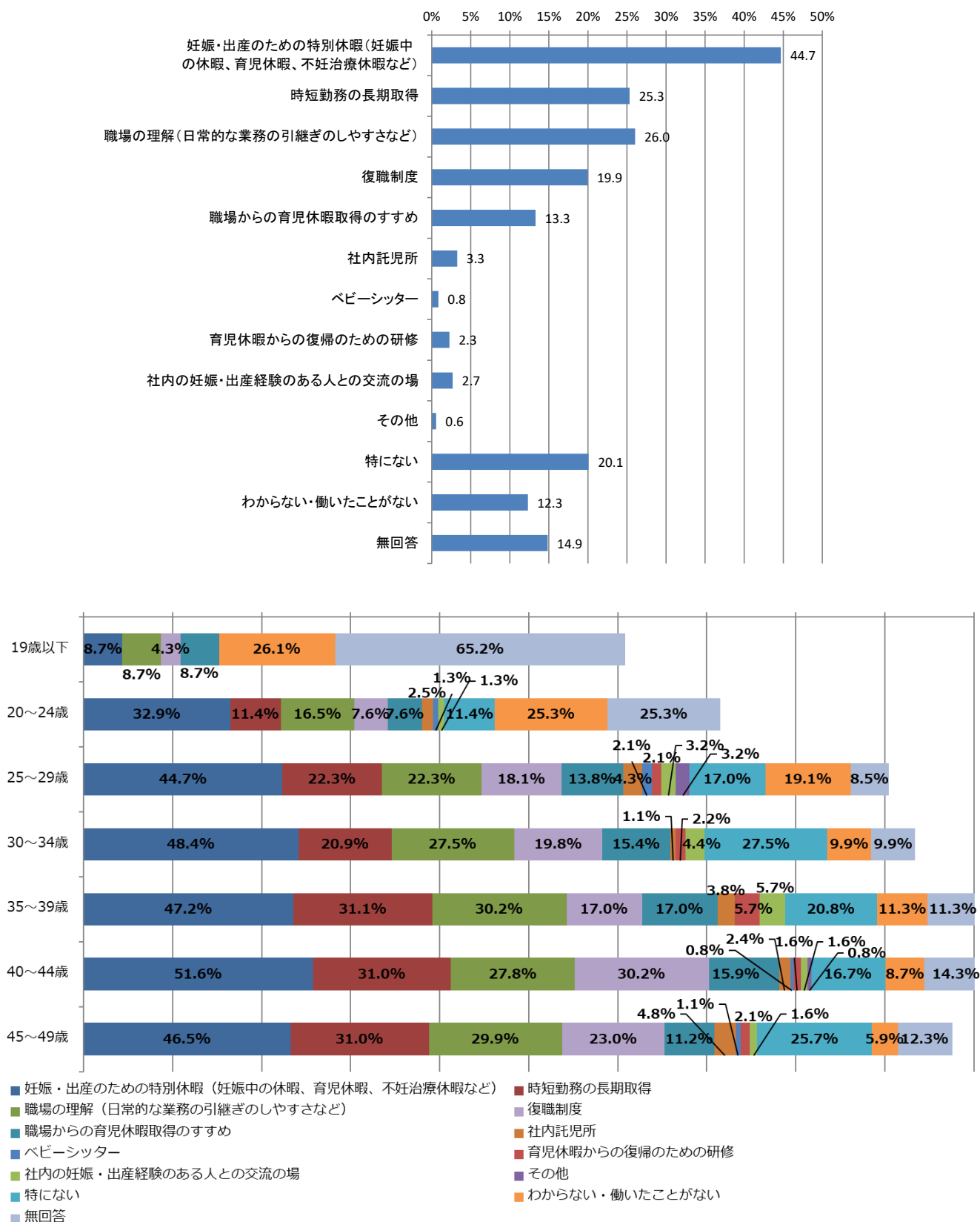
◆職場に求める出産・子育て支援の制度や取組みは（最大3項目まで回答）
（子どもがいる方または子どもが欲しい方）



◆考察

- ・どの年代も多様な回答があげられているが、若い年代では「妊娠・出産のための特別休暇（妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など）」や「時短勤務の長期取得」が比較的に多くあげられている。

◆出産・子育て支援の制度や取組みの利用状況（あてはまるもの全て回答）
（現在働いている方または働いたことのある方）

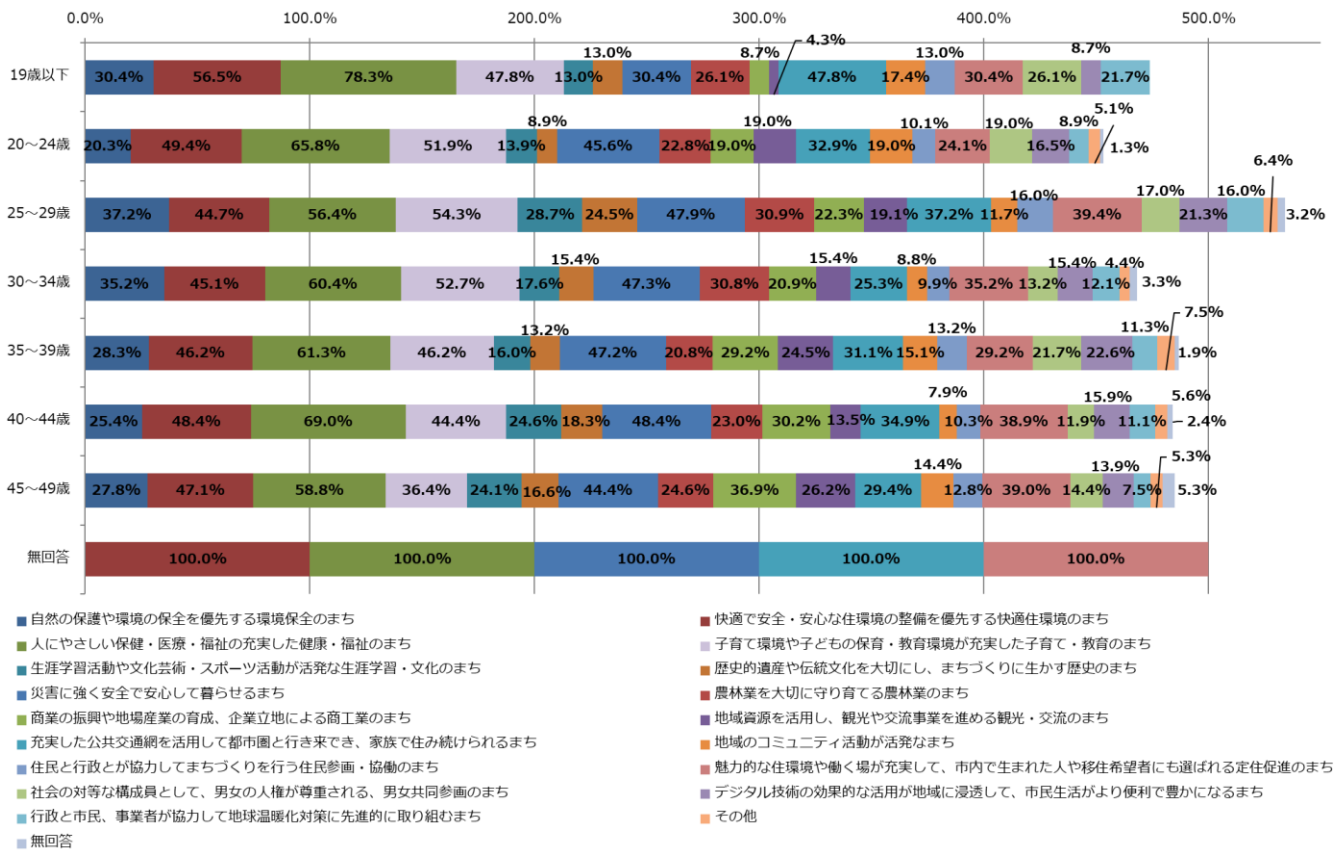
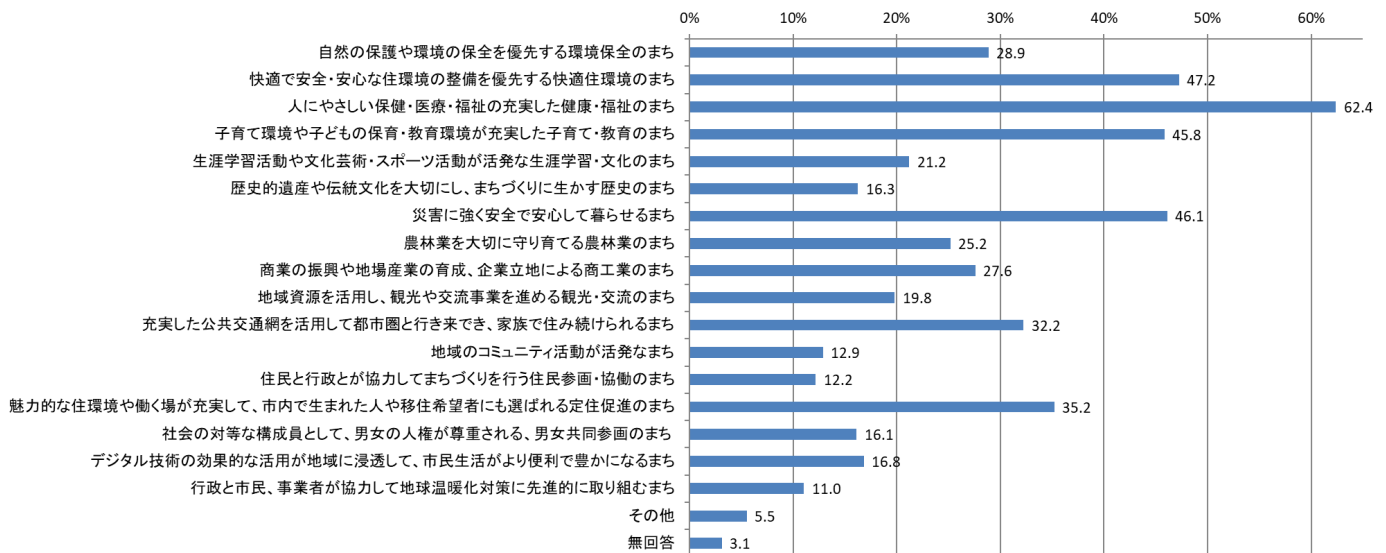


◆考察

- ・どの年代も「妊娠・出産のための特別休暇（妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など）」が最も多く、次いで「時短勤務の長期取得」が「職場の理解（日常的な業務の引継ぎのしやすさなど）」が比較的に多くあげられている。

④栗原市の施策について

◆今後栗原市がどのようなまちになってほしいか（あてはまるもの全て回答）



◆考察

- ・どの年代も「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が最も多く、次いで「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」や「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が比較的に多くあげられている。

第3次栗原市総合計画策定に関する

若者意識調査



令和7年11月
栗原市

(1) 目的

令和9年度から令和18年度までの10年間を計画期間としている「第3次栗原市総合計画」の策定にあたり、栗原市の未来を担う若い世代を対象に、自身の進路希望や将来の暮らし方への想い、栗原市のまちづくりに対して望むことなどについてご意見を伺い、基礎資料として活用するために実施したものの。

(2) 調査対象

栗原市在住の16歳から18歳までの全市民1,454人

(3) 調査方法

郵送による配布・回収、及びインターネットによる回答の併用

(4) 実施時期

配布 令和7年9月12日

回収 令和7年9月30日

(5) 回収件数及び回収率

回収件数 477件（うち紙面による回収件数229件、インターネットによる回収件数248件）

回収率 32.8%

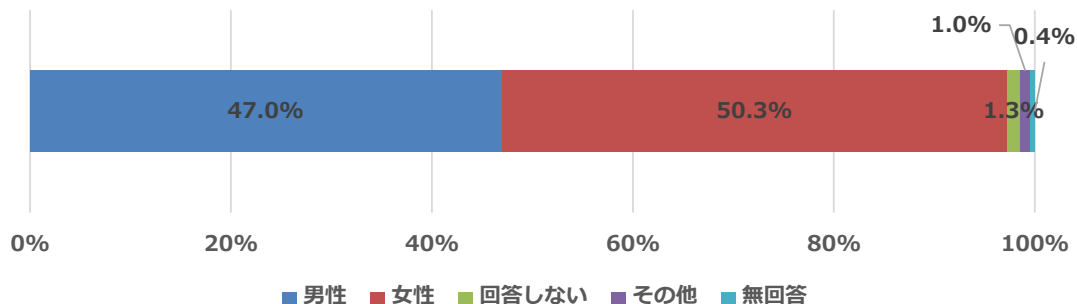
(6) 調査結果

グラフの構成比の端数処理については四捨五入の関係から合計が100.0%にならない場合があります。

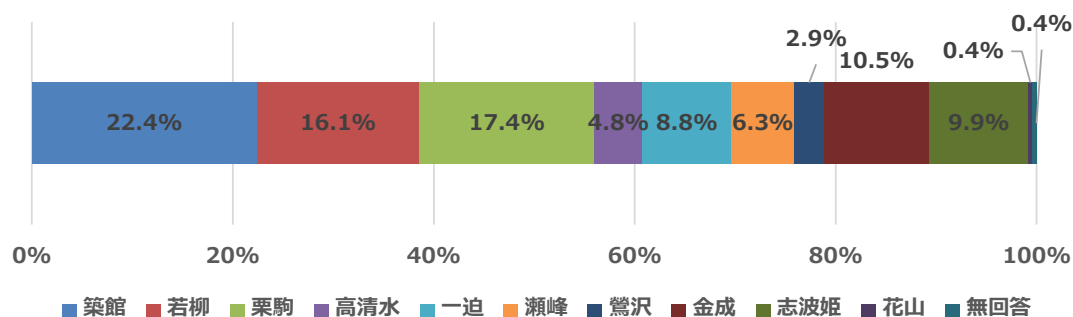
- | | |
|--------------------------|------|
| ①回答者の属性（性別・居住地・職業・通学通勤先） | P 2 |
| ②（高校生の方）今後の進路について | P 3 |
| ③暮らしやすさ・印象について | P 9 |
| ④今後のまちづくりに向けて | P 13 |

①回答者の属性（性別・居住地・職業・通学通勤先）

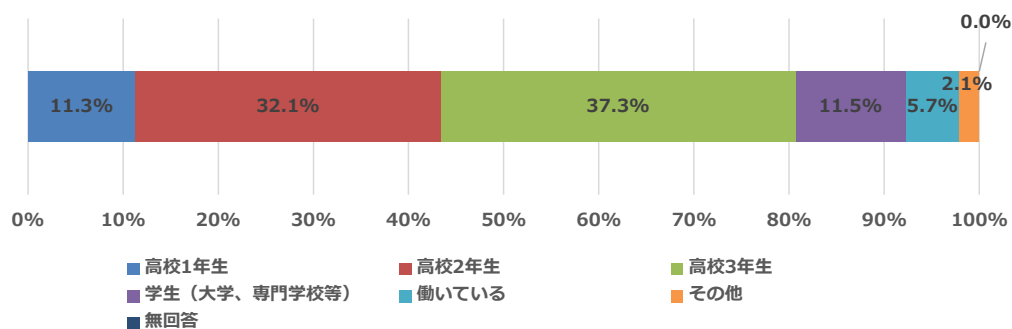
◆性別



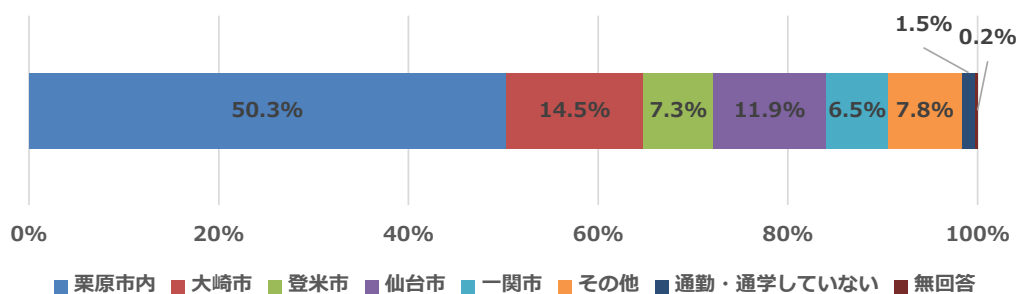
◆居住地



◆職業

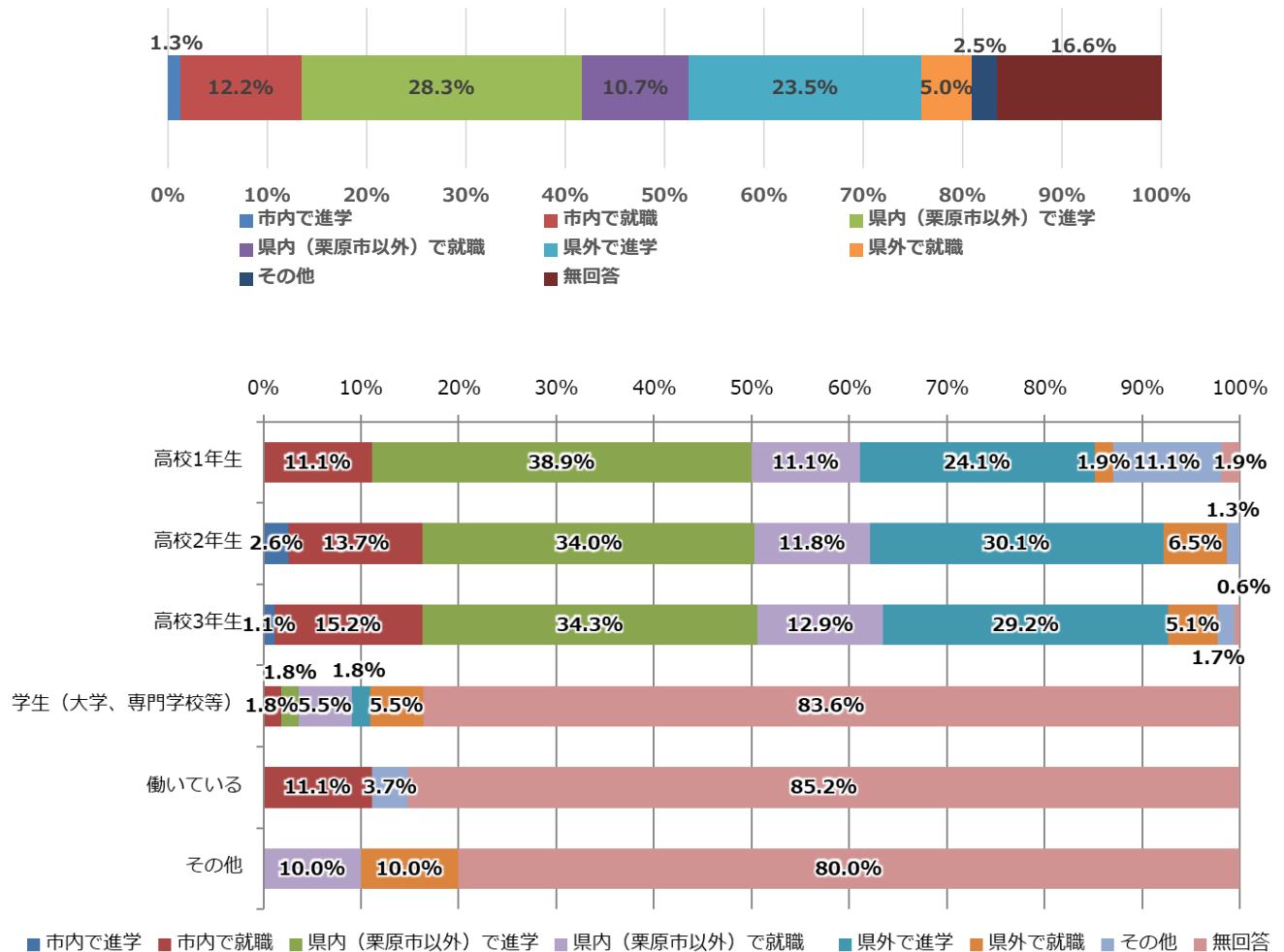


◆通学・通勤先



②（高校生の方）今後の進路について

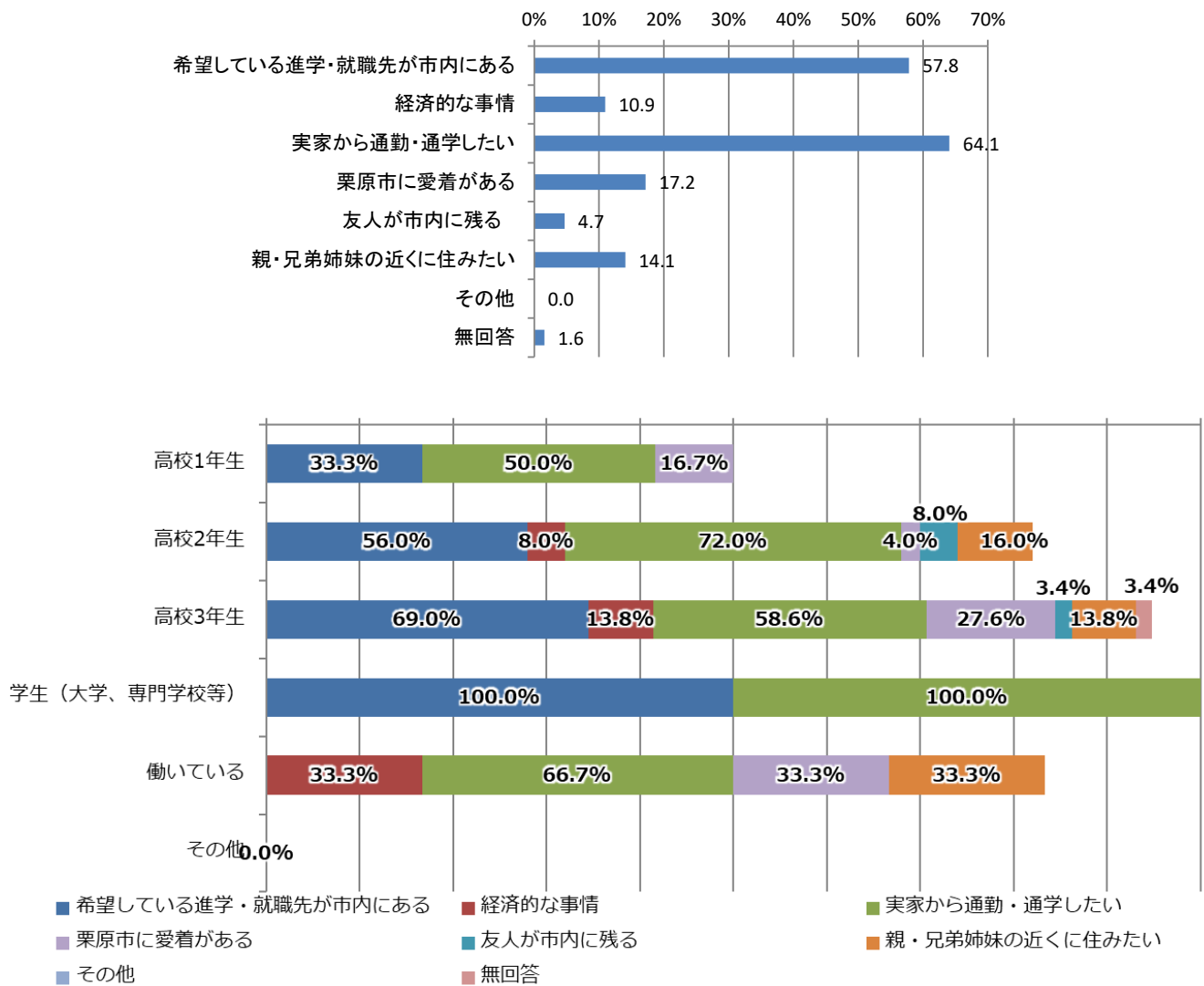
◆高校卒業後の進路希望は



◆考察

- ・全体では、県内で進学が28.3%と最も多くなっており、次いで「県外で進学」が23.5%となっている。
- ・高校生は市内での進学・就職は1～15%台と少なく、県内（栗原市以外）での進学が高1で38.9%・高2で34.0%・高3で34.3%、県外での進学が高1で24.1%・高2で30.1%・高3で29.2%と市外志向が強い傾向にある。

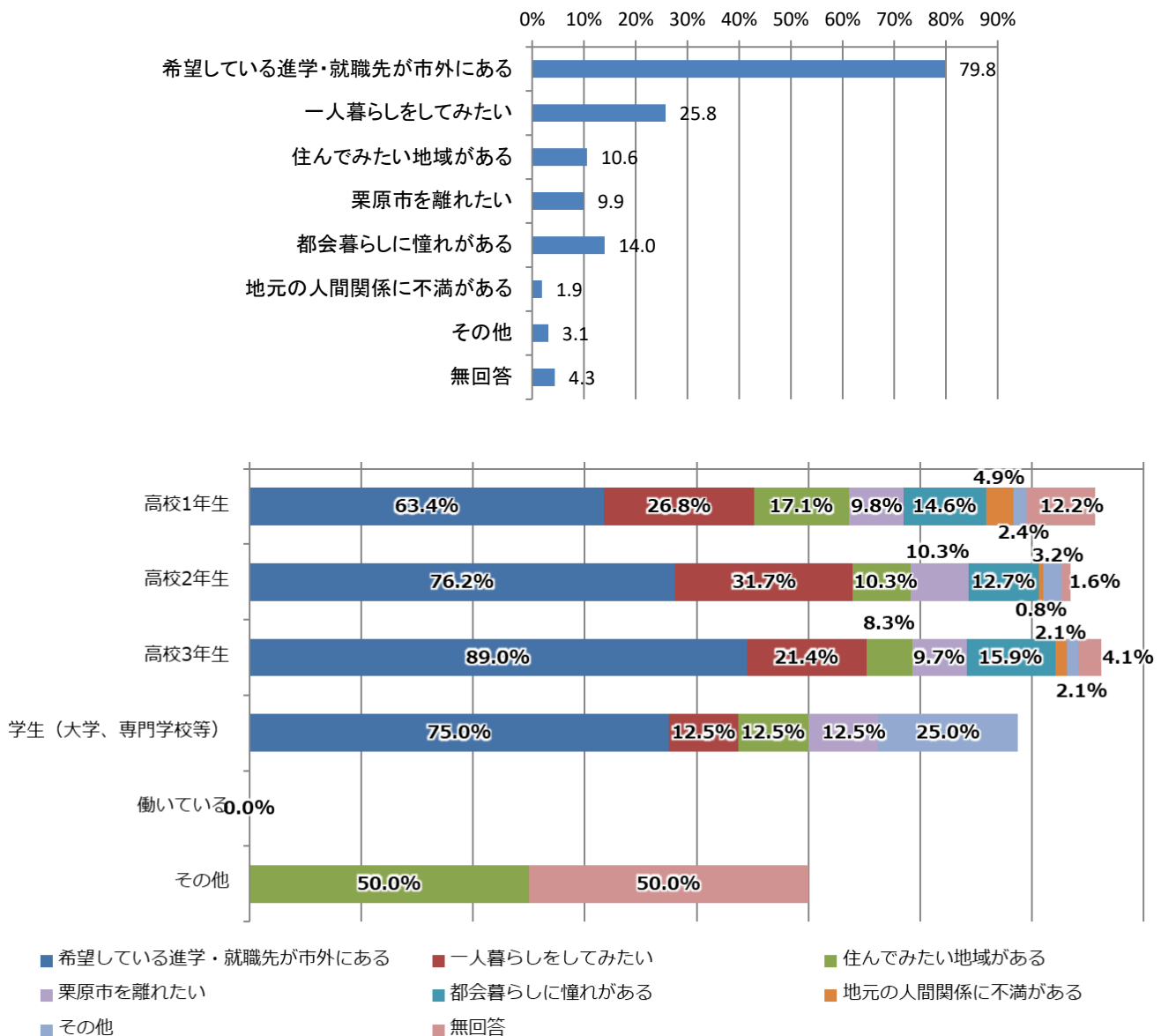
◆市内で進学・就職を選んだ理由は（最大3項目まで回答）



◆考察

- ・市内で進学・就職を選択する理由は、「実家から通勤・通学したい」が64.1%と最も多くなっており、次いで「希望している進学・就職先が市内にある」が57.8%となっている。
- ・高校生は「実家から通勤・通学したい」が高1で50.0%・高2で72.0%・高3で58.6%と最も高く、次いで「希望する進学・就職先が市内」(高1で33.3%・高2で56.0%・高3で69.0%)が多い一方、大学生等は市内希望理由が100.0%に集中し、働いている層では「実家から通勤したい」が66.7%と最多である。

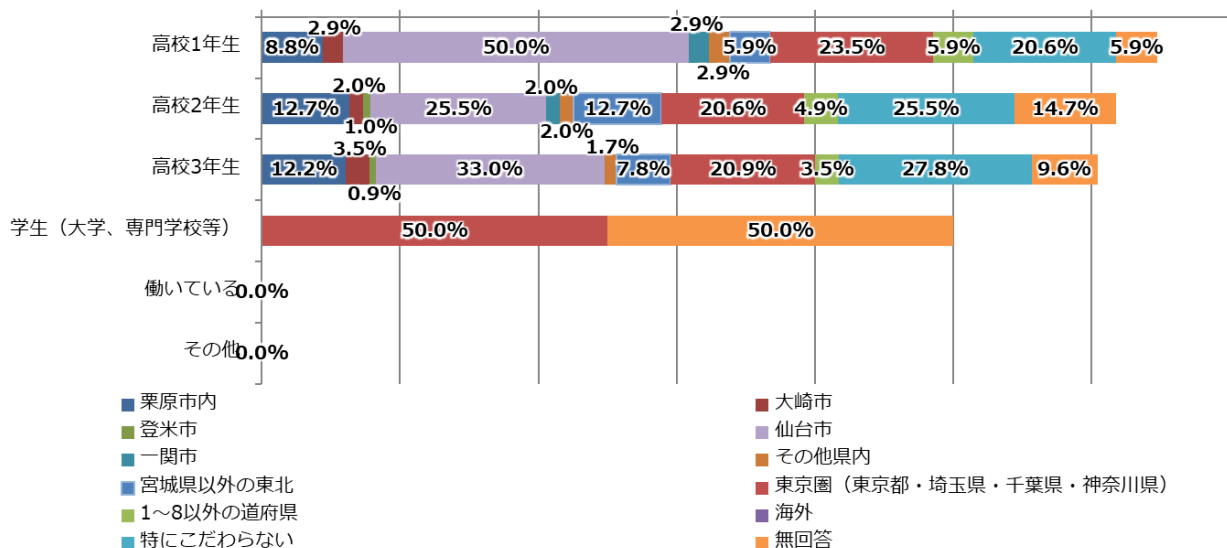
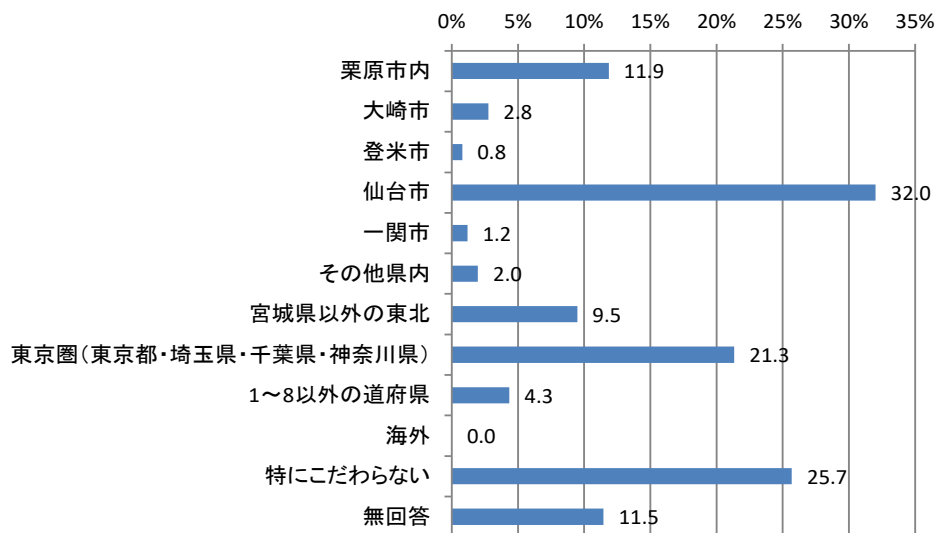
◆市外で進学・就職を選んだ理由は（最大３項目まで回答）



◆考察

- ・市外で進学・就職を選択した理由は、「希望している進学・就職先が市外にある」が79.8%と最も多くなっている。
- ・高校生はいずれの学年も「希望している進学・就職先が市外にある」が最多で高1は63.4%、高2は76.2%、高3は89.0%と学年が上がるほど突出して高く、次いで「一人暮らしをしてみたい」が高1で26.8%・高2で31.7%・高3で21.4%、「住んでみたい地域がある」が高1で17.1%・高2で10.3%・高3で8.3%と続き、大学生等でも市外希望理由の75.0%が「希望先が市外」である一方で、働いている層は該当回答がほぼない。

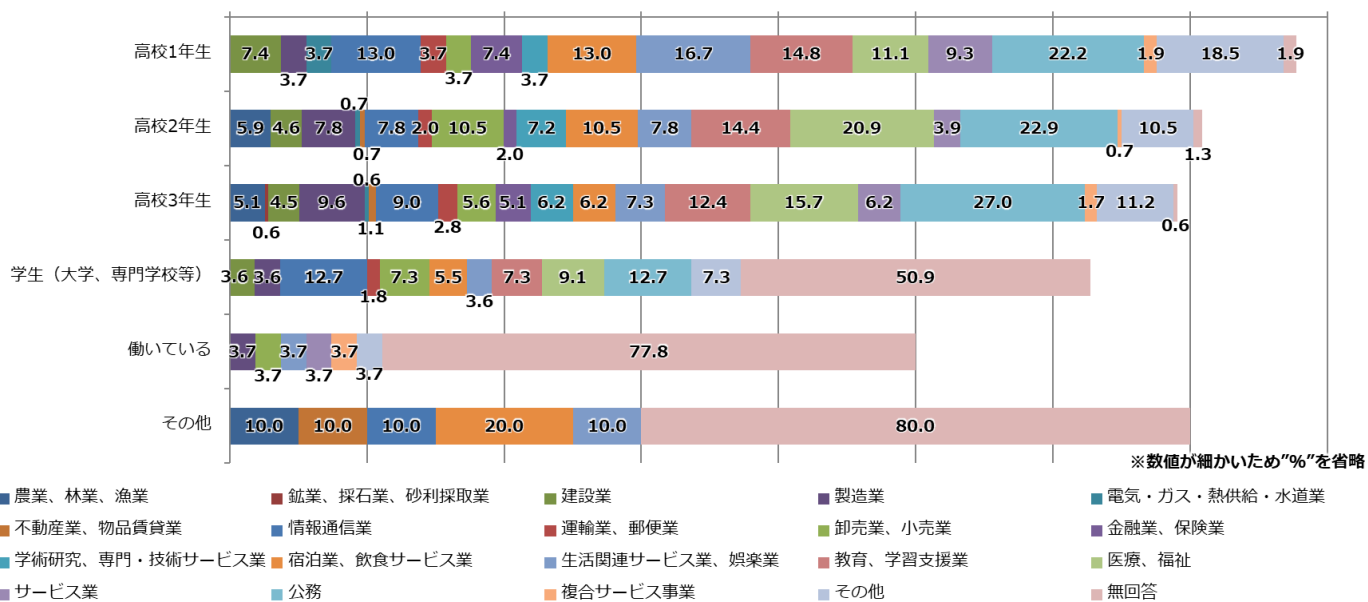
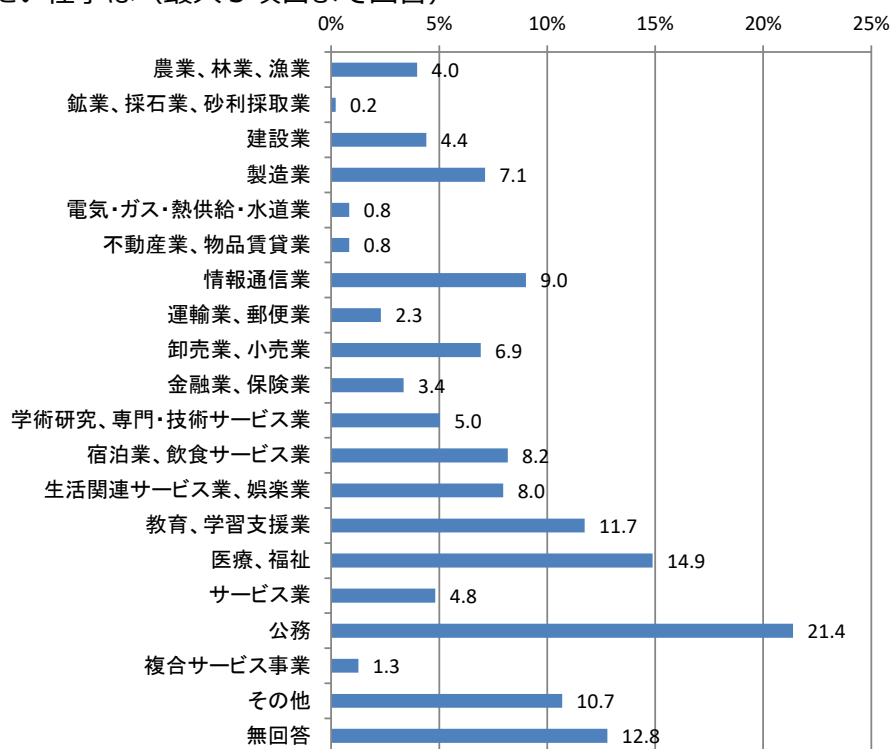
◆進学先を卒業後に希望する就職先の地域（最大２項目まで回答）



◆考察

- ・進学先を卒業後に希望する就職先の地域は、仙台市、東京圏の順で多くなっており、この２つで約半数を示す結果となっている。
- ・高校生は、仙台市への希望がどの年代でも最も多く高１で 50.0%・高２で 25.5%・高３で 33.0%と最も多く、次いで東京圏（高１で 23.5%・高２で 20.6%・高３で 20.9%）となっている。栗原市内希望は高１で 8.8%・高２で 12.7%・高３で 12.2%と１割前後にとどまり、大学生等は仙台市 50.0%・東京圏 50.0%に二分され、進学後の若者は県内中核都市や首都圏志向が強く、地元就職志向は限定的である。

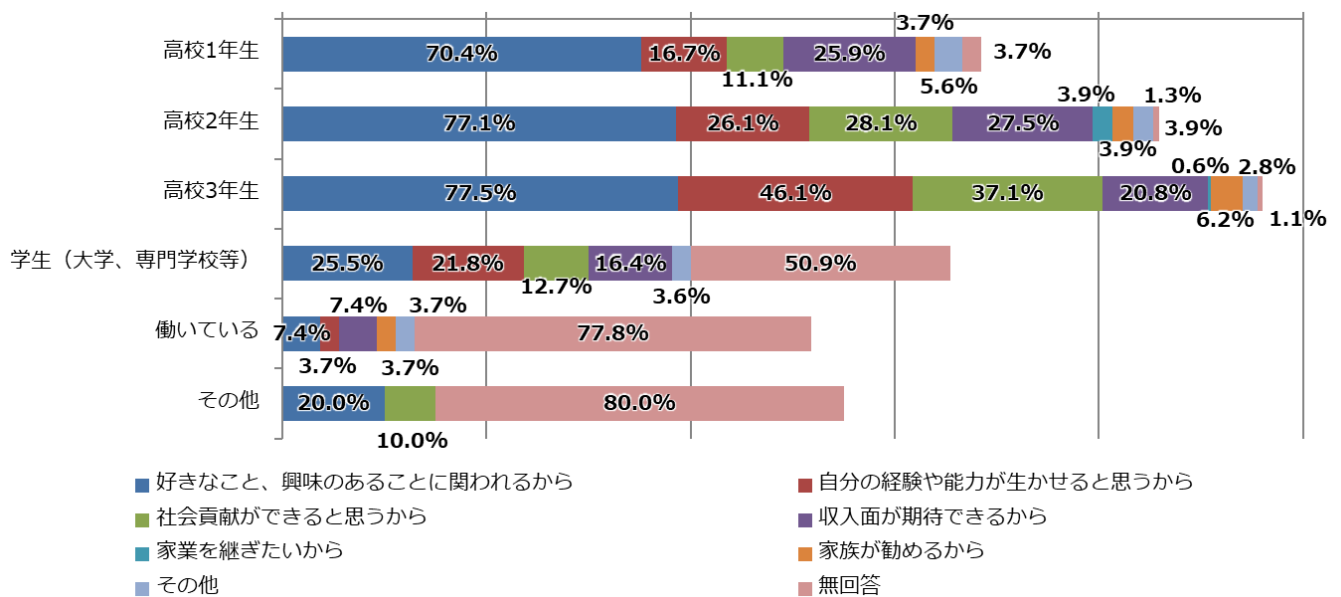
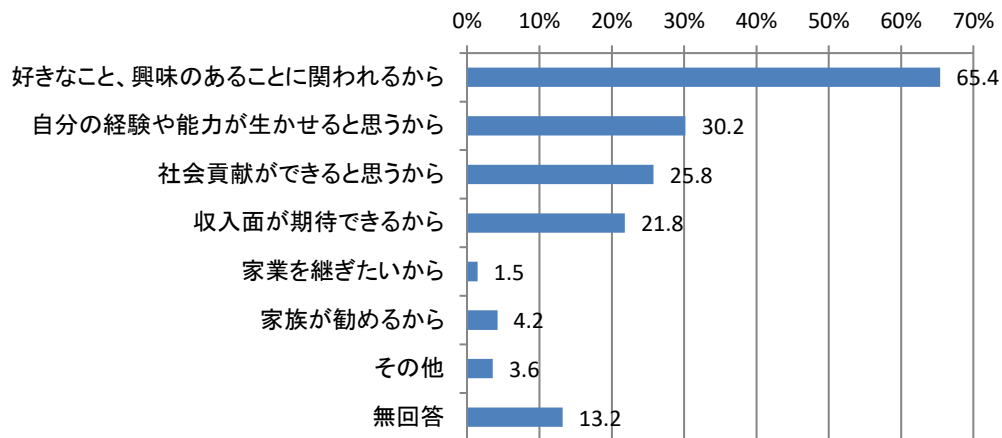
◆将来つきたい仕事は（最大3項目まで回答）



◆考察

- ・高校生は高1で公務が22.2%、生活関連サービス業、娯楽業が16.7%、教育・学習支援業が14.8%、高2では公務が22.9%、医療・福祉が20.9%、教育・学習支援業が14.4%、高3では公務が27.0%、医療・福祉が15.7%、教育・学習支援業が12.4%と多くなっている。大学生等では公務や情報通信業が多くなっている。どの世代も公務や教育・学習支援業、医療・福祉への志向が強くなっている。

◆その仕事を選んだ理由は（あてはまるもの全て回答）

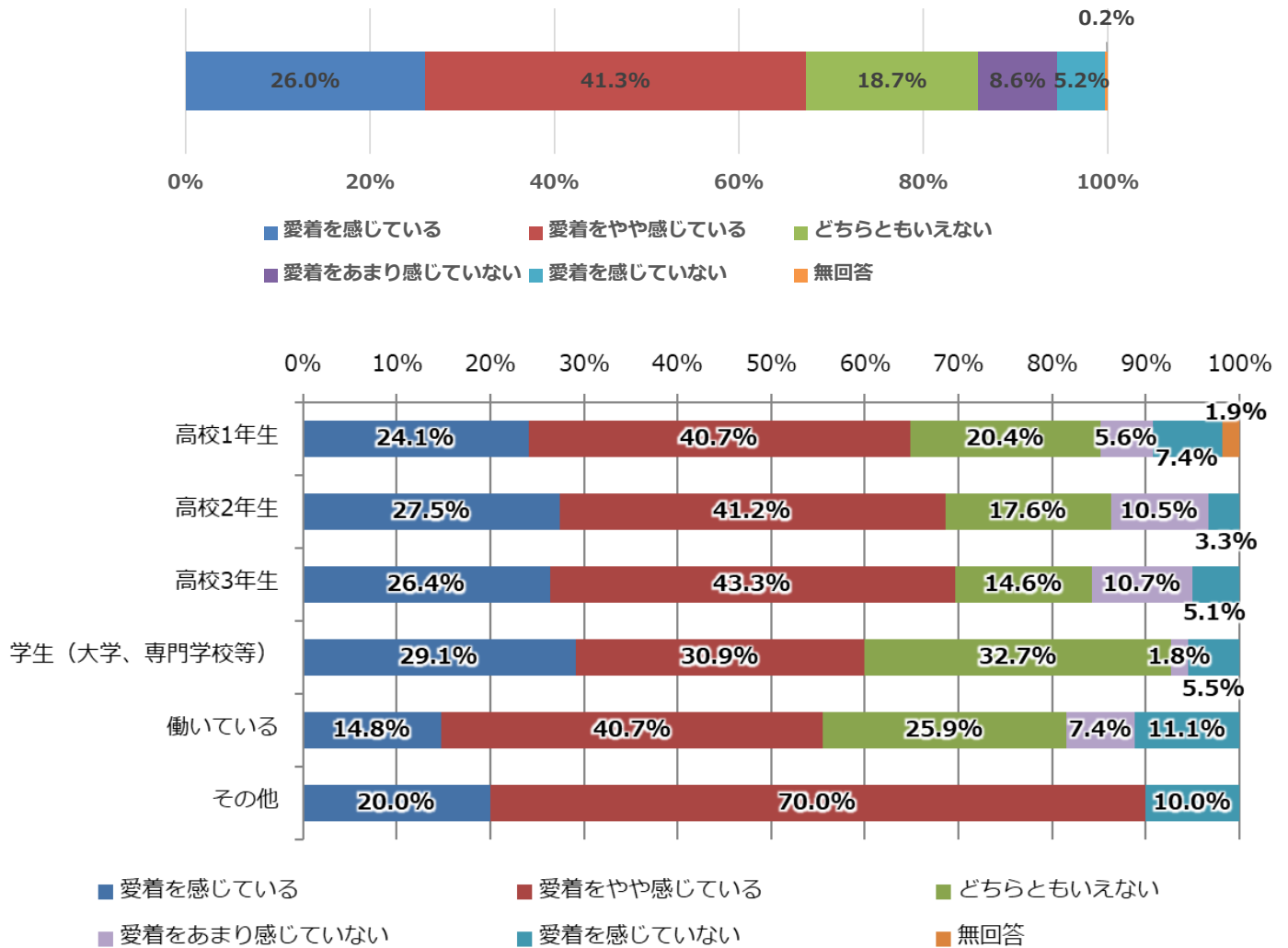


◆考察

- ・高校生はいずれの学年も「好きなこと・興味のあることに关われるから」が最多で、高1は70.4%、高2は77.1%、高3は77.5%と強い傾向を示し、次いで「自分の経験や能力が生かせる」が高1で16.7%・高2で26.1%・高3で46.1%、「社会貢献ができると思う」が高1で11.1%・高2で28.1%・高3で37.1%と増加する一方、大学生等は「好きなこと」25.5%と高校生と比較すると低くなっている。

③暮らしやすさ・印象について

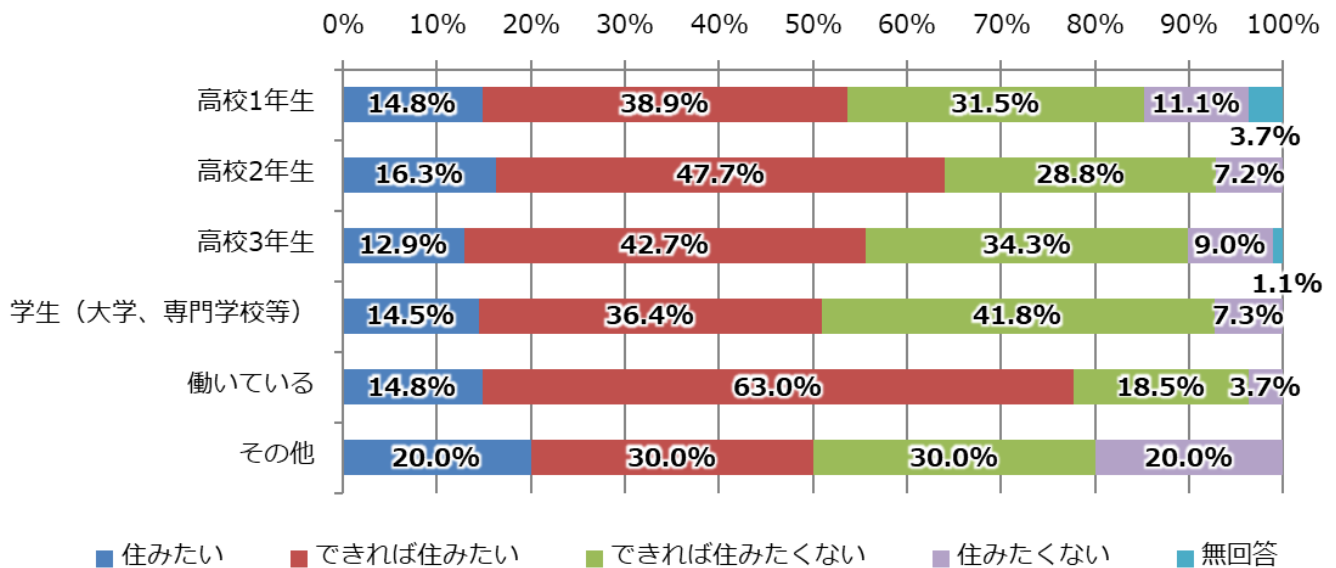
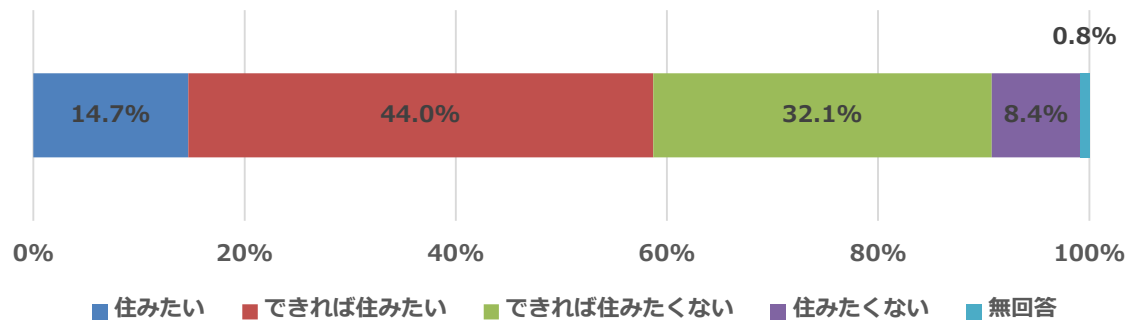
◆栗原市にどの程度愛着を感じているか



◆考察

- ・高校生はいずれも「愛着をやや感じている」が最多で高1は40.7%・高2は41.2%・高3は43.3%を占め、「愛着を感じている」も高1で24.1%・高2で27.5%・高3で26.4%と一定割合みられる一方、大学生等は「どちらともいえない」が32.7%で最も多く、働いている層では「愛着をやや感じている」が40.7%、「どちらともいえない」が25.9%、「愛着を感じていない」が11.1%となり、若年層は学年が上がるほど愛着度合いがやや減少し、中立傾向が強まる構造がみられる。

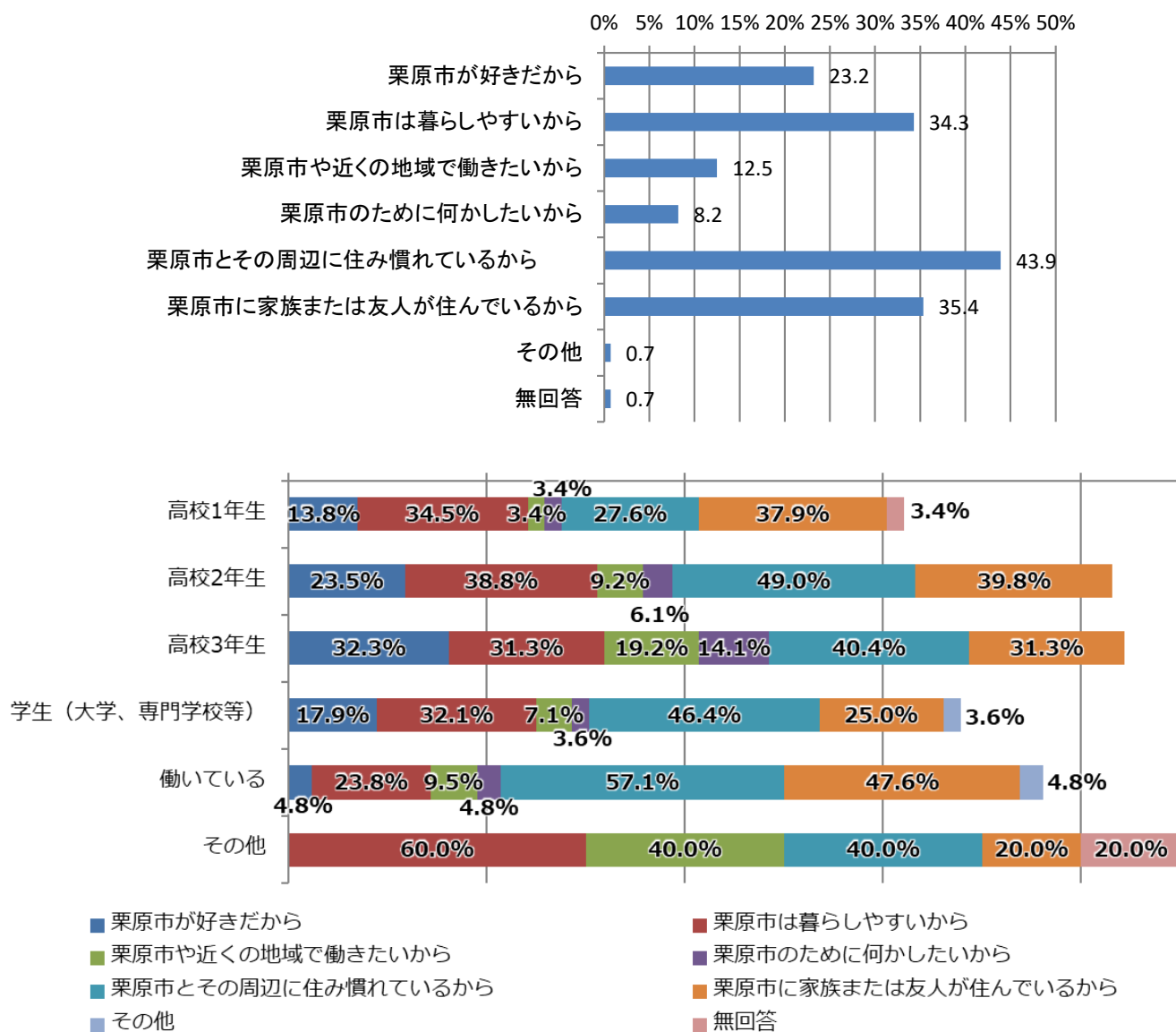
◆将来栗原市に住みたいと思うか



◆考察

- ・高校生は「住みたい」と回答した割合が高1で14.8%・高2で16.3%・高3で12.9%にとどまる一方、「できれば住みたい」は高1で38.9%・高2で47.7%・高3で42.7%と最も多く、「できれば住みたくない」は高1で31.5%・高2で28.8%・高3で34.3%と3割前後を占め、大学生等では「できれば住みたくない」が41.8%で最多となり、働いている層では「できれば住みたい」が63.0%と突出するなど、“積極的移住志向は強くないが条件次第で居留意向が左右される層”が中心である。

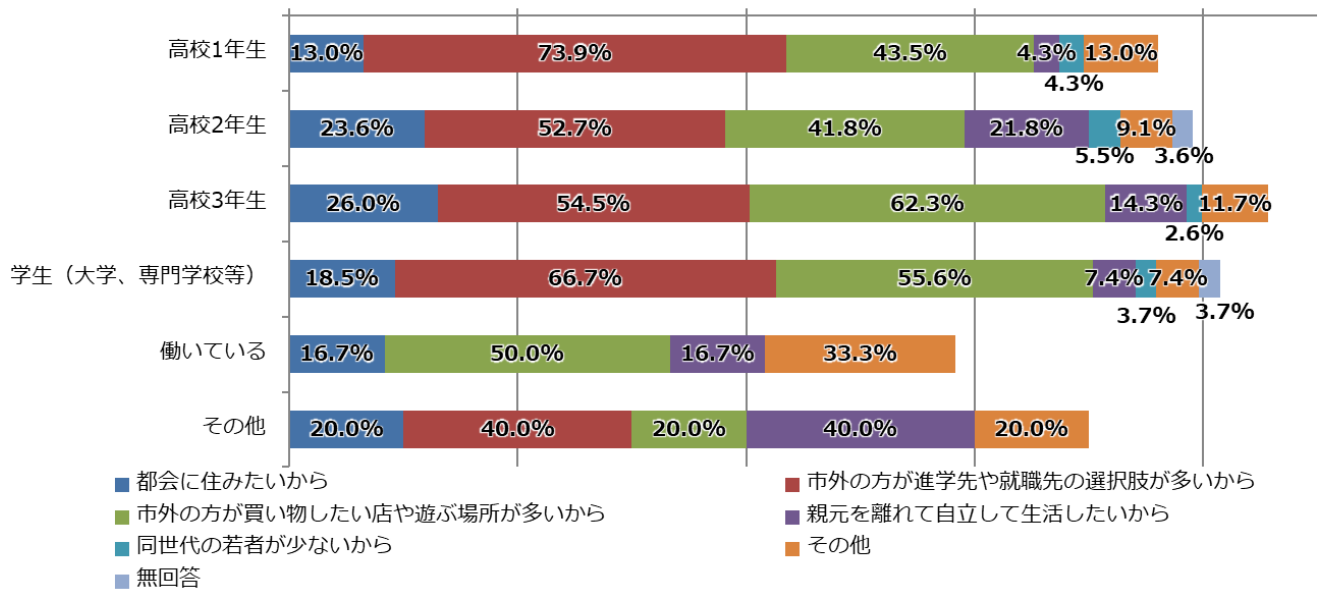
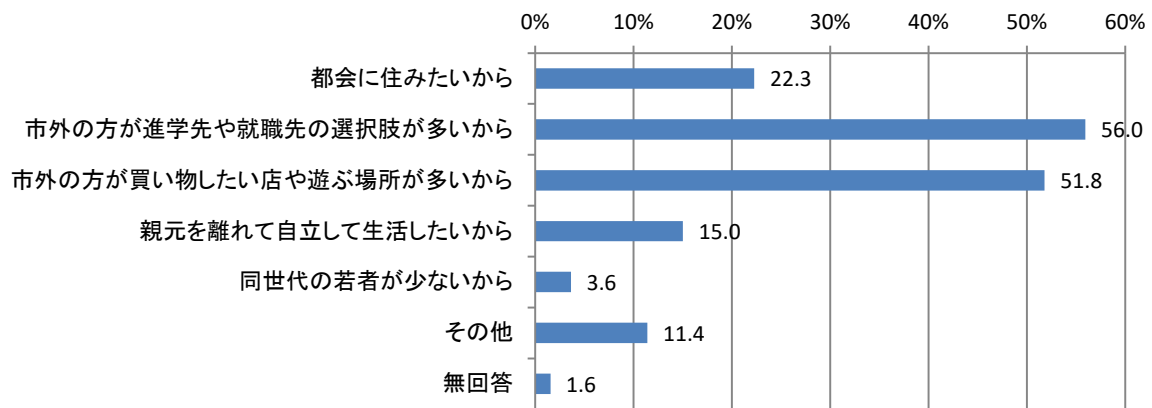
◆住みたいと思う理由は（最大２項目まで回答）



◆考察

- ・ 高校生は「栗原市が好きだから」が高１で 13.8%・高２で 23.5%・高３で 32.3%と学年が上がるほど増加し、「栗原市は暮らしやすいから」も高１で 34.5%・高２で 38.8%・高３で 31.3%と安定して高く、加えて「栗原市とその周辺に住み慣れているから」が高１で 27.6%・高２で 49.0%・高３で 40.4%と多くを占め、大学生等では同理由が 46.4%で最多となり、働いている層では「家族または友人が住んでいるから」が 47.6%と突出するなど、若者の居住意向は“愛着・住み慣れ・暮らしやすさ”が主であり、就労層は家族・人的つながりを重視する傾向が鮮明である。

◆住みたくなと思う理由は（最大２項目まで回答）

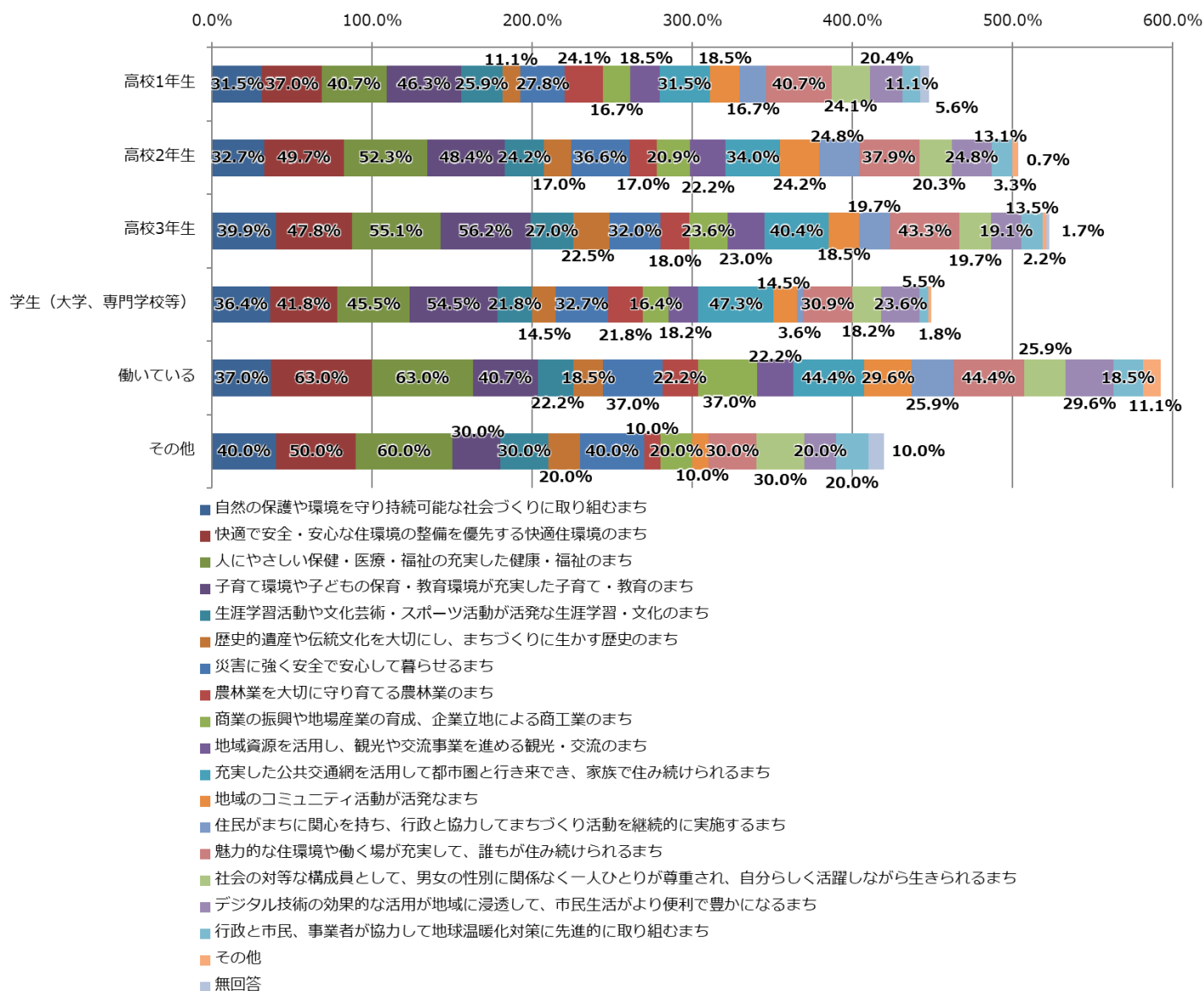


◆考察

・高校生はいずれも「市外の方が進学先や就職先の選択肢が多い」が最多で高１で 73.9%・高２で 52.7%・高３で 54.5%を占め、次いで「市外の方が買い物したい店や遊ぶ場所が多い」が高１で 43.5%・高２で 41.8%・高３で 62.3%と高く、大学生等でも同様に 66.7%・55.6%と市外選択肢の豊富さが主因となる一方、「都会に住みたい」は高１で 13.0%・高２で 23.6%・高３で 26.0%と学年とともに増加し、働いている層では「市外の方が買い物や遊ぶ場所が多い」50.0%となっており、“市外への魅力＝選択肢の広さ・楽しめる場所の多さ”という構造が明確である。

④今後のまちづくりに向けて

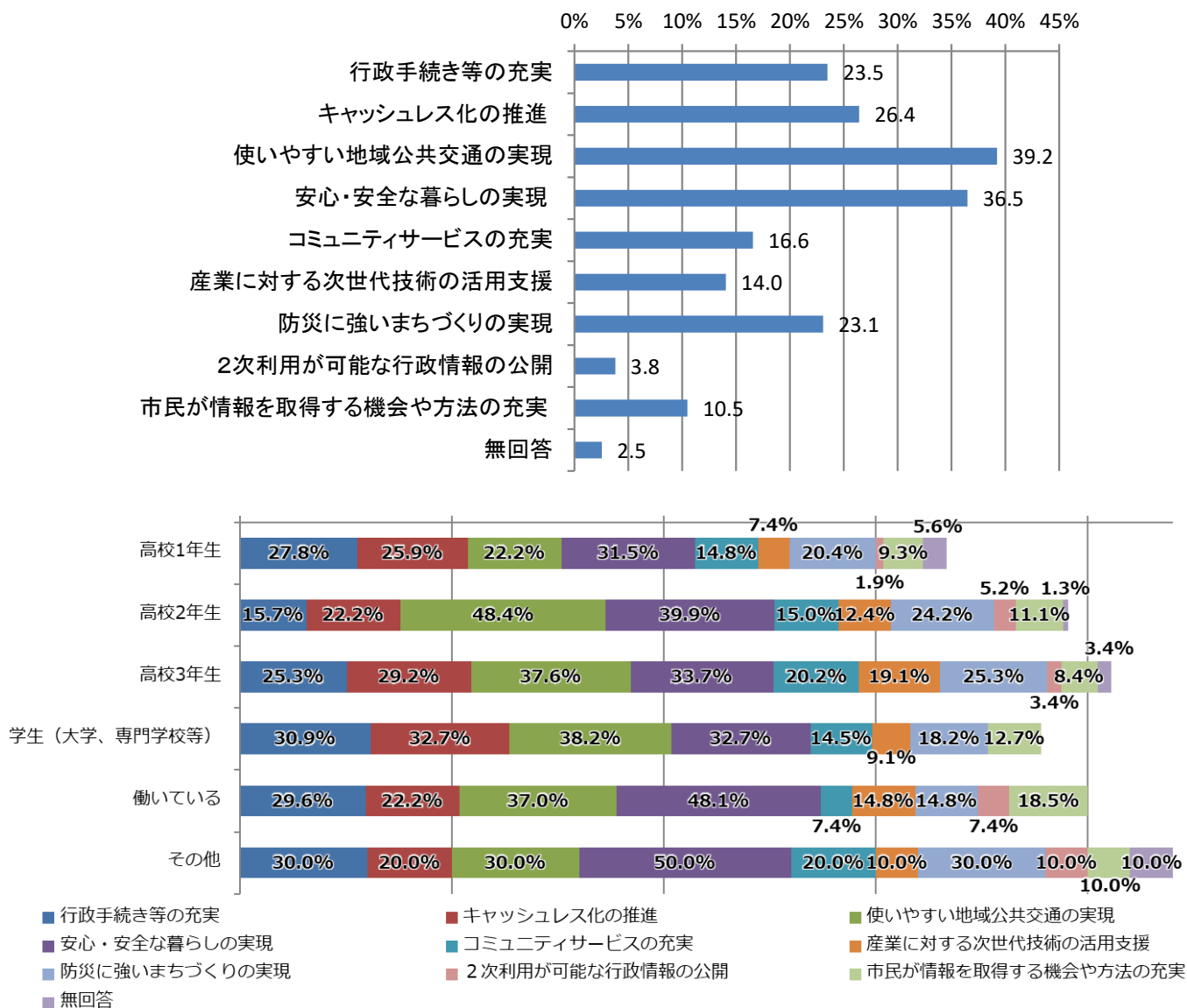
◆今後どのようなまちになることを望むか（あてはまるものすべて回答）



◆考察

- ・高校生は、高1では子育て・教育のまち→健康・福祉のまち→働く場が充実したまち、高2は健康・福祉のまち→快適住環境のまち→子育て・教育のまち、高3は子育て・教育のまち→健康・福祉のまち→快適住環境のまちの順番で多くなっている。大学生等は、子育て・教育のまち→都市圏との行き来ができるまち→健康・福祉のまちの順に多くなっており、働いている層は快適住環境のまち／健康・福祉のまち→働く場が充実したまち／都市圏との行き来ができるまちの順に多くなっており、どの年齢層も子育て・教育、健康・福祉、働く場といった生活基盤の基礎となる部分への希望が多い一方で、年代が高くなると都市圏との行き来といった項目を重視する傾向にあり、生活基盤に加え、交通利便の改善を求める傾向が明確である。

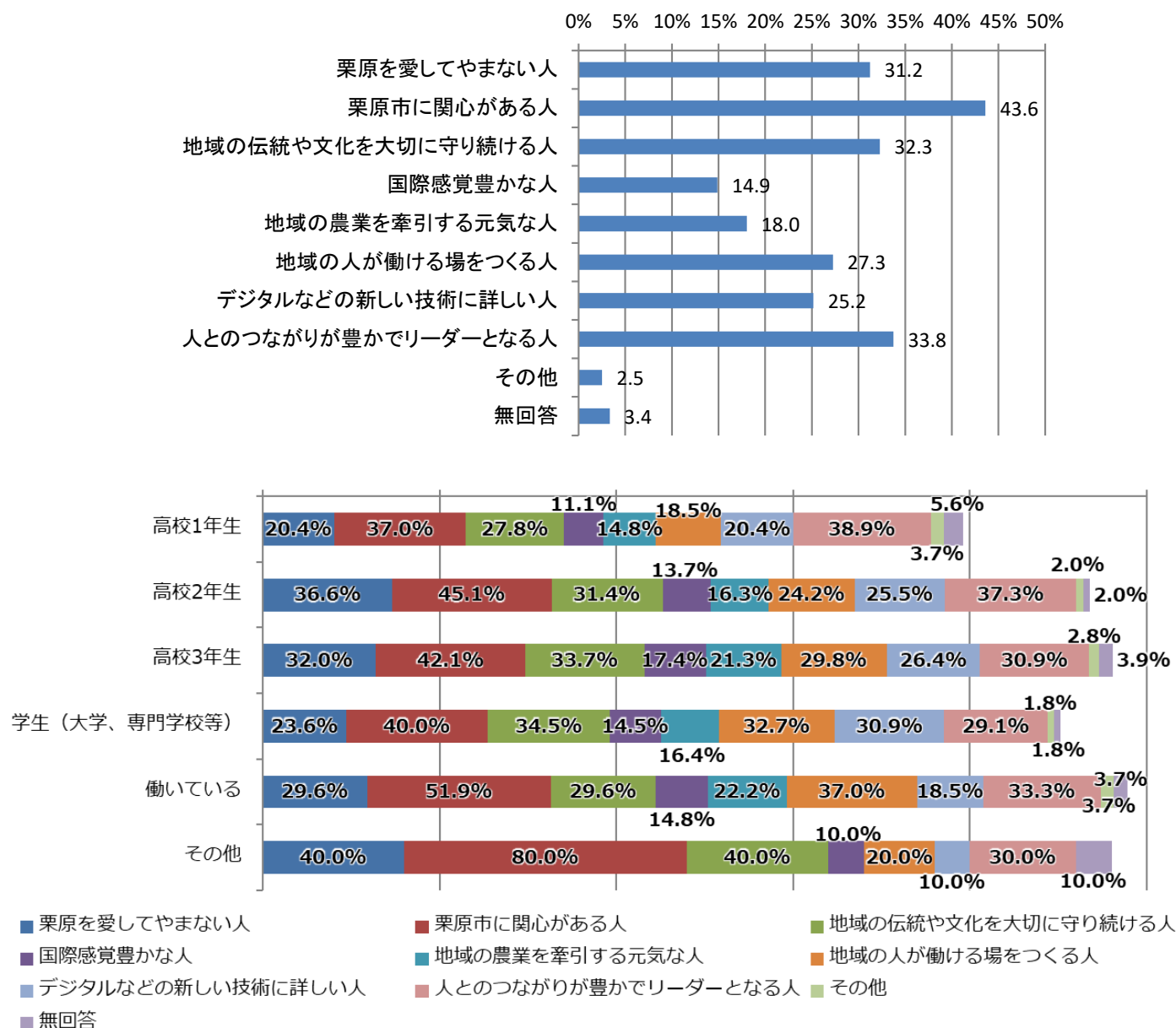
◆デジタル技術で重点的に進めるべきと思う施策は（最大2項目まで回答）



◆考察

- ・ 高校生は、高1は「安心・安全な暮らしの実現」で31.5%、高2・高3は「使いやすい地域公共交通」で48.4%・37.6%と最も多くなっている。また、高1は「行政手続きの充実」、高2・高3は「安心・安全な暮らしの実現」が2番目に多くっており、高1・高3は「キャッシュレス化の推進」が25.9%・29.2%、高2は「防災に強いまちづくりの実現」が24.2%と3番目に多くなっている。大学生等では「使いやすい地域公共交通」が38.2%と「キャッシュレス化の推進」／「安心・安全な暮らし」が32.7%と上位を占め、働いている層では「安心・安全な暮らし」が48.1%、「使いやすい地域公共交通」が37.0%となっており、年代にかかわらず“安全・安心の確保”と“デジタルによる移動の利便性向上”が最も重視されている。

◆今後の栗原市を盛り上げるとしたら、どんな人と一緒に取り組みたいか
(最大3項目まで回答)



◆考察

- ・高校生は「栗原市に関心がある人」(高1: 37.0%、高2: 45.1%、高3: 42.1%)や「デジタルなどの新しい技術に詳しい人」(高1: 20.4%、高2: 25.5%、高3: 26.4%)、「人とのつながりが豊かでリーダーとなる人」(高1: 38.9%・高2: 37.3%・高3: 30.9%)が多く、大学生等も関心がある人で40.0%・リーダーとなる人で29.1%、農業を牽引する人で30.9%と上位を占め、働いている層では「栗原市に関心がある人」が51.9%で突出するなど、年代を問わず“地域に関心があり行動できる人”や“地域の産業を新しい技術で支える人”、“人を巻き込めるリーダー的人材”との協働志向が強いことが特徴である。

第3次栗原市総合計画策定に係る事業報告

まちづくり若者ワークショップ 全3回 実施

1 開催概要

「第1回 ～くりはらの「いいね」さがし！～」

開催日時：令和7年11月16日(日) 午前10時～午後0時

開催場所：市役所 205・206 会議室

参加者：市内高校生10名、

ファシリテーター（ランドブレイン㈱）2名、企画部職員3名

2 開催内容

(1)説明

- ①栗原市総合計画について
- ②まちの状況について
- ③若者アンケート速報値について
- ④本日のワークの進め方



(2)ワークショップ

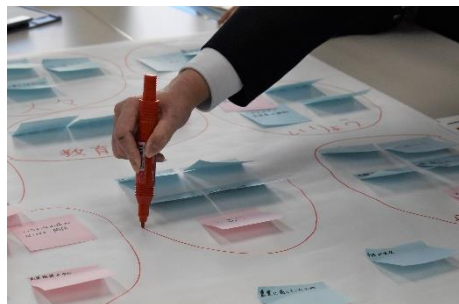
- ①メンバー自己紹介
- ②ワーク1（まちのおすすめスポット、自慢、よくないところ）

・2つのグループに分かれ、栗原市について良いところや問題点などを付箋紙に書き、模造紙に貼り出しながら話し合いを行いました。



・「同じ」「似ている」付箋どうしを貼り直し、グループ化し、意見を集約化しました。

※KJ法：類似する意見をグループ化しながら、一つの方向性を導き出す手法。



③ワーク2（より良いまちとなっていくためのアイデア）

- ・ワーク前半で整理した栗原市の良い点・悪い点を踏まえ、まちの将来を考えた時に、今後どのような課題に取り組むべきか検討しました。



④ワークの成果発表

- ・ワーキングで整理された栗原市の良い点・悪い点などを各グループの代表者より、発表してもらいました。



3 今後予定

第2回 令和7年12月 7日(日) ～未来のくりはらは、どんなまち～

第3回 令和7年12月21日(日) ～意見提案をまとめよう～